

海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面リスト								
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
No. A - 00	表紙・図面リスト	—	No. A - 20	短計図 2 (改修)	1 / 30	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書	—
No. A - 01	特記仕様書 1	—	No. A - 21	1階天井伏図 (既存)	1 / 100	No. E - 02	分電盤結線図・器具姿図	—
No. A - 02	特記仕様書 2	—	No. A - 22	1階天井伏図 (改修)	1 / 100	No. E - 03	電灯設備 1階平面図	1 / 100
No. A - 03	特記仕様書 3	—	No. A - 23	2階天井伏図 (既存)	1 / 100	No. E - 04	電灯設備 2階平面図	1 / 100
No. A - 04	特記仕様書 4	—	No. A - 24	2階天井伏図 (改修)	1 / 100	No. E - 05	火災報知設備 1階平面図	1 / 100
No. A - 05	案内図・配置図	1 / 400	No. A - 25	展開図 (既存)	1 / 100	No. E - 06	火災報知設備 2階平面図	1 / 100
No. A - 06	計画概要・外部仕上表・内部仕上表	—	No. A - 26	展開図 (改修)	1 / 100	No. E - 07	電灯設備 1階平面図 (撤去図)	1 / 100
No. A - 07	1階平面図 (既存)	1 / 100	No. A - 27	建具キープラン、建具表 1	1 / 50	No. E - 08	火災報知設備 1階平面図 (撤去図)	1 / 100
No. A - 08	1階平面図 (改修)	1 / 100	No. A - 28	建具表 2	1 / 50	No. E - 09	火災報知設備 2階平面図 (撤去図)	1 / 100
No. A - 09	2階平面図 (既存)	1 / 100	No. A - 29	詳細図 1	1/10 1/20 1/50			
No. A - 10	2階平面図 (改修)	1 / 100	No. A - 30	詳細図 2	1/20 1/30 1/50 1/100	No. M - 01	特記仕様書	—
No. A - 11	屋根伏図 (既存)	1 / 100	No. A - 31	床フローリング改修図	1/5 1/10 1/20 1/100	No. M - 02	空調設備 1階平面図 (改修)	1 / 100
No. A - 12	屋根伏図 (改修)	1 / 100	No. A - 32	コートライン図	1 / 100	No. M - 03	空調設備 2階平面図 (改修)	1 / 100
No. A - 13	立面図 (既存)	1 / 100	No. A - 33	前方吊上式バスケットゴール姿図	1 / 30	No. M - 04	換気設備 1階平面図 (改修)	1 / 100
No. A - 14	立面図 (改修)	1 / 100	No. A - 34	収納台車、アルミ製移動式階段詳細図	1/5 1/20 1/50	No. M - 05	換気設備 2階平面図 (改修)	1 / 100
No. A - 15	断面図 (既存)	1 / 100	No. A - 35	仮設計画図	1 / 200	No. M - 06	衛生設備 1階平面図 (改修)	1 / 100
No. A - 16	断面図 (改修)	1 / 100						
No. A - 17	短計図 1 (既存)	1 / 30						
No. A - 18	短計図 1 (改修)	1 / 30						
No. A - 19	短計図 2 (既存)	1 / 30						



特記仕様書	
I 工事概要	1 工事番号・名称 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事 2 工事場所 大谷小学校 海老名市国分寺台2丁目13番1号 3 用途地域等 都市計画区域(○内・外) 用途地域(第1種住居地域) 防火地域等(・防火○準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区() 4 主要用途 屋内運動場 5 延床面積 742.40㎡ 6 工事の概要 直接仮設工事 一式 外壁改修工事 一式 建具改修工事 一式 内装改修工事 一式 塗装改修工事 一式 その他改修工事 一式 環境配慮工事 一式 電気設備改修工事 一式 機械設備改修工事 一式 7 別途工事 8 その他 9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ○ 機械設備改修工事特記仕様書 ○ 電気設備改修工事特記仕様書
II 建築工事仕様	1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
I 一般 共 通 事 項	① 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
	② 適用基準等	○ 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官庁営繕部監修 最新版) ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁営繕部監修 最新版) ○ 海老名市公共工事共通事項書
	③ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4> 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	④ 発生材の処理等	発生材の処理 <1.3.12> ・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物() 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの() ○ 再生資源化を図るもの
II 共 通 事 項	○その他の廃棄物(安定型)	種 類 受入施設名 所在地(Km) 備考
	○ アスベスト含有成形板等	種 類 受入施設名 所在地(Km) 備考

・その他の廃棄物(管理型)	
種 類	受入施設名 所在地(Km) 備考
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること	
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・ 有 [5.4.3] ・ 無
PCB含有シーリング材	・ 有 [5.4.4] ・ 無
PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。	
アスベストの処理	吹き付けアスベスト除去工事 ・ 有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト含有保温材除去工事 ・ 有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト成形板除去工事 ○有(図示) ・ 無 受け入れ施設名・所在地(km)
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理	ヒ素又はカドミウムボード ・ 有(図示) ・ 無
・ 適用する ※ 適用しない <1.3.3>	
○ 1.3.10	工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
<1.4.2>	材料の品質等
<1.4.1>	※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
<1.4.1>	環境への配慮
<1.4.1>	※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
<1.7.9>(1.5.9)	※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合 該当する建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
<1.7.9>(1.5.9)	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100µg/m3・0.08ppm) ※ スェン(濃度指針値 220µg/m3・0.05ppm) ※ トルエン(濃度指針値 260µg/m3・0.07ppm) ※ エチルベンゼン(濃度指針値 3,800µg/m3・0.88ppm) ※ キロル(濃度指針値 870µg/m3・0.20ppm) ※ ハリジカロベンゼン(濃度指針値 240µg/m3・0.04ppm) 測定する室等:(体育室 みんなのトイレ 外部)
	採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 ・ 測定結果 ・ 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) ・ 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
	測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。
	・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。
	※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。
9. 特別な材料の工法	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

10. 建築基準法による風圧力等の指定	<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3) 適用工事 建築基準法の指定 ・ 合成高分子系ルーフィングシート 風速(V0) ※34 ・ アルミニウム笠木 ・ 金属板屋根葺 ・ II ・ III ・ 折板屋根葺 ・ ガラスブロック 多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無
11. 設計GL	※ 図示 ・ 現状平均地盤高
12. 施工調査	施工数量調査 <1.6.2> ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.6.3> 調査項目 調査範囲 調査方法 成果品
13. 技能士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 <1.7.2> ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事	・ とび(とび作業)
防水改修工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質777(ドット)防水工作業 ・FRP防水工作業)
外壁改修工事	・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工作業) ・ 塗装(建築塗装作業)
建具改修工事	○ サッシ施工(ビル用サッシ工作業) ○ ガラス施工(ガラス工作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア工作業)
内装改修工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工作業 ・鋼製下地工作業) ・ 表装(壁装作業)
塗装改修工事	○ 塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)
コンクリートブロック・組立ブロック 押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工作業) ・ ALCPパネル施工(ALCPパネル工作業)
石工事	・ 石材施工(石張り作業)
排水工事	・ 配管(建築配管作業)
舗装工事	・ 路面表示施工(・溶融ペイント(ドマカ)工作業 ・ 加熱ペイント(マシカ)作業)
植栽工事	・ 造園(造園工作業)
屋根及びびとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工作業)
⑭ 完成時提出書類	※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図 3部 ※ 完成図面電子データ(JWW形式及びPDF形式) 1式 ※ 本工事内容説明事項書に基づく工事書類 1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料 1式 ※ その他監督職員が指示したもの 1式
⑮ 工事写真	※ 作成する ・ 作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。
⑯ 設備工事との取合い	施工範囲 各工事図面による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
⑰ 火災保険等	工事的目的及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事的物引き渡し日まで

2 ① 仮囲い	※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○ ガードフェンス(H=1800) ・ 波形鉄板(H=) ・ 単管シート(H=) ・ シートゲート(H= , W=) × 箇所
② 交通誘導員	※ 配置する ・ 配置しない
③ 工事表示板	※ 設置する ・ 設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
④ 足場その他	内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ <2.2.1> 防護シート ○ 設ける ・ 設けない 材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <表2.2.2> ○ D種 ・ E種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
⑤ 養生	家具の移動 ○ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1> 既存プラインド・カーテン等の養生及び保管 ○ 行う ・ 行わない
6. 仮設間仕切り	養生の方法 保管場所 ・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1>
7. 監督職員事務所	※ 設けない(請負者事務所)に打合せ会議室を確保する) <2.4.1> ・ 設ける(規模 m程度 請負者事務所と同棟 ・ 可 ・ 否)
⑧ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない
⑨ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない
⑩ 工事用通路	※ 指定しない ○ 指定する(図示)
11. その他の仮設	
3 1. アスファルト防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3~10> 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所
	・
	・
	・ E-1 屋内(便所・浴室)
	アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 <3.2.2>
	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.3.3> 種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
2. 伸縮調整目地	※ 成型伸縮目地(天端 EPTゴム、サイド プチルゴム製) <3.3.2><3.3.5>
3. 改質アスファルトシート防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1~2> 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ A-S-T ※ カラー ・ A-S-J ・ シルバー ・ A-S-I
	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.4.3> 種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
4. 合成高分子系ルーフィングシート防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1> 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ S-F ※ カラー ○ S-M S4S工法 1階屋上 ・ シルバー ・ S-I
	脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない <3.5.3> 種類 ○ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
5. 塗膜防水	改修工法の種別 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1> 新規防水層の種別 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ X-1 ※ カラー ○ X-2 外部庇 ・ シルバー ・ Y-2
	脱気装置 ・ 設ける ○ 設けない <3.6.3> 種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型 施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
6. シーリング材料の種別及び施工箇所	※ 被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。 <3.7.2><表3.7.1> ・ <表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料 <表3.7.1>によらない箇所 シーリング材料
7. シーリング改修工法	改修工法の種別 <3.1.4><3.7.4~8><表3.1.2> 改修工法の種類 施工箇所 ・ シーリング充てん工法 金属屋根取合い ・ シーリング再充てん工法 ・ 拡幅シーリング充てん工法 ・ フリッジ工法()
8. とい	<3.8.2><表3.8.1><表3.8.3~4> 材 種 防 露 ・ 配管用鋼管(SGP) ※ <表3.8.3~4>により行う ○ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き <3.8.3><表3.8.4> ※ <表3.8.5>による。

海老名市



Ebina City

図面名称	特記仕様書(1)	図面番号	
縮尺	S=NS		A-01
工事件名	海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事		

5	14. ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。	6	内装改修工事
	15. ガラスブロック (中空)	表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 長方形 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金属枠 耐火性能		
6	①. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示の範囲		
	②. 既存床の撤去・下地補修	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法		
	③. 改修後の床の清掃範囲	当該室全体 図示の範囲		
	④. 既存壁の撤去・下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ 〈4.4.9〉による		
	⑤. 木材	含水率 下地材 ※ A種 造作材 ※ A種 造作材の材面の品質 ※ A種		
6	集成材	見付け材面等級 単材の樹種 単材の厚さ(mm)		
7	床張り用合板	床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上		
8	防腐・防蟻・防虫処理	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 K2・K3・K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1		
9	軽量鉄骨天井下地材	野縁などの種類 屋内 ※ 19型 屋外 ※ 19型 インサート 既存インサートを使用する あと施工アンカーの引抜き試験 耐震性を考慮した補強 ※ 行わない 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない		
10	軽量鉄骨壁下地材	スタッド、ランナーなどの種類は〈表6.7.1〉による。		
11	体育館の鋼製床下地	※ JIS A 6519のJIS表示認証製品		
12	ビニル床シート張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※ FS ※ 無し ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ 熱溶接 ※ 発泡層のあるもの ※ TS ※ マーブル ※ 2.5 ※ 帯電防止 ※ 突付け ※ HS ※ ※ ※ ※ ※ ※ KS		
13	ビニル床タイル張り	JIS A5705のJIS表示認証製品 種類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ KT ※ 300×300 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ ビニル床タイル ※ ※ ※ ※ ※ ※ 帯電防止 ※ ホモジニアス ※ FT ※ 300×300 ※ 2.0 ※ 帯電防止 ※ ビニル床タイル ※ ※ ※ ※ ※ ※ 帯電防止		
14	ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能	帯電防止 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1×1010オーム未満 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1×107オーム未満		

15	視覚障害者用床タイル	耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験 (発泡層のあるビニルシートのみ) およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。	6	内装改修工事
16	ビニル幅木	材質 寸法 (mm) 塩化ビニル系 セツ器質タイル系 300×300		
17	カーペット敷き	タフテッドカーペット 施工箇所 バイル形状 バイル長さ (mm) 工法 品質 帯電性 ※全面接着工法 ※グリッパー工法		
18	合成樹脂塗床	材料の種類 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 平滑仕上げ 防滑仕上げ		
19	フローリング張り	単層フローリング 種類 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 フローリング ※ナラ ※15幅 7.5 ボード ※ナラ ※長さ500以上 フローリング ※ナラ ※15 303×303 ブロック モザイク ※ナラ ※6・8・9 パーケット		
20	畳敷き	畳の種類 A種 B種 C種 D種		
21	石こうボード	種類又は記号 種別など 厚さ (mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK 壁 6(不燃) 10(不燃) 12(不燃) 天井 6(不燃) 12(不燃)		
22	壁紙張り	グラスウール吸音ボード (吸音材料) GW-B トラパーチン模様色 ※白 ※黄 ロックウール化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ※ 軒天用 せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R 壁 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 15(不燃) 19(不燃) 天井 9.5(準不燃) 12.5(不燃)		
23	遮音シート	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S 木目模様 壁 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 天井 9.5(準不燃) 12.5(不燃)		
24	壁紙張り	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D 木目模様 (裏棧付き) 特殊模様 壁 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 天井 9.5(準不燃) 12.5(不燃)		

23	タイル張り	タイルの種類 施工箇所 形状寸法 (mm) きじ 磁器せつ器陶器無釉施釉ありなし 標準注文 役物 色 再生材 備考 利用 タイルの見本焼き ※ 行わない 行う 内装タイルの工法 積上げ張り 施工箇所 () 接着剤張り 施工箇所 ()	6	内装改修工事
24	セルフレベルリング材塗り	種別 石こう系 セメント系 塗厚 ※ 10mm		
7	1. 防火材料	防火材料 ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 次の箇所を除き防火材料とする。		
8	2. 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗り 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ) ※A種 ※B種 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種 ※C種 ※節の場合 亜鉛めっき鋼面 新規 ※RA種・RB種 ※RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種 ※C種 ※節の場合	8	1. 鉄骨製作工場
9	3. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 木部 新規 RA種 ※RB種・RC種 ※A種(外部) ※B種(内部)・C種 ※1種 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2種 亜鉛めっき鋼面 建具塗替 RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2種 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2種	8	2. 鋼材の種類
10	4. 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 コンクリート面 A.L.C.パネル面 新規 RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 押出成形セメント板面 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 モルタル面 新規 RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 プラスター面 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 石こうボード 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 その他のボード等の面 塗替え ※RA種(継目処理工法) ※A種 ※B種 ※C種 ※RB種(その他)・RC種	8	3. 高力ボルト
11	5. 耐水性塗料塗り (DP)	耐水性塗料塗り (DP) 下地 種別 下地調整 塗装種別 塗料種別 鉄鋼面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1級 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2級 ※3級 亜鉛めっき鋼面 建具塗替 RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1級 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2級 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※3級 コンクリート面 新規 ※RA種・RB種・RC種 ※A-1種 ※B-1種 ※C-1種 押出成形セメント板面 塗替え RA種 ※RB種・RC種 ※A-1種 ※B-1種 ※C-1種 ※A-2種 ※B-2種 ※C-2種	8	4. 鉄骨工
12	1. 鉄筋の種類	鉄筋の種類 規格名称 種類の記号 径(mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD 295A ※ SD 345 ※ D 16以下 ※ D 19以上	8	1. 工法
13	2. 溶接金網	溶接金網 ※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所 ()	8	2. 既存部分の撤去
14	3. 鉄筋の継手	鉄筋の継手 径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 重ね継手 ※ 行う	8	3. スリットの種類
15	4. 柱の帯筋	柱の帯筋 ※ 行う	8	4. スリットの充填材
16	5. 圧接完了後の抜取試験	圧接完了後の抜取試験 試験方法 ※ 超音波探傷試験 ※ 引張り試験	8	耐震改修工事 (その他)
17	1. 設計基準強度	設計基準強度 普通コンクリート (N/mm ²) 設計基準強度 適用箇所 ※ 2.1	8	1. グラウト材
18	2. レディーミクストコンクリート	レディーミクストコンクリート 類別 ※ I類 II類 ※ 2.1	8	2. 構造体用モルタル
19	3. 打放し仕上げの種類	打放し仕上げの種類 種別 適用箇所 A種 B種 C種	8	3. スリットの種類

4	セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		
5	骨材	細骨材の塩分含有量 (NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下		
6	混和剤	※ AE剤又はAE減水剤標準形1種		
7	軽量コンクリート	種別 適用箇所 ※ 気乾単位容積質量 (t/m ³)		
8	無筋コンクリート	適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 適用箇所		
9	型枠	せき板の種類 ※ 合板 せき板の塗料 ※ 無		
10	コンクリートの打込み工法	※ 流込み工法 ※ 圧入工法		
11	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示		
12	1. あと施工アンカー	※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)] ※ 接着剤 ※ 有機系 ※ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)] ※ 打込み方式 ※ 本体打込み式		
13	2. あと施工アンカーの試験	性能確認試験 ※ 行わない 施工確認試験 ※ 行う		
14	1. 鉄骨製作工場	※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 S・H・M・R・J ※ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場		
15	2. 鋼材の種類	材質 規格 SS400・SSC400・STK400・STKR400 SN400B・C・SN490B・C・SM400・SM490 JIS表示認証製品		
16	3. 高力ボルト	ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※2種(S10T) ※JIS形高力ボルト ※2種(F10T) ※融融亜鉛メッキ高力ボルト ※1種(F8T相当)		
17	4. 溶接部の試験	※超音波探傷試験		
18	5. 錆び止め塗装	〈7.3.3~4〉による。		
19	6. 耐火被覆	種別 材料及び工法製造所 備考 ラス張モルタル 改修標準仕様書6章15節による 耐火材吹付け 建築基準法に基づく指定 ※半乾式・湿式 耐火板張り 又は認定を受けたもの 耐火材巻付け		
20	7. アンカーボルト	材質 ※SS400・SNR400B		
21	8. 既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示		
22	1. 工法	溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手 コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設 ※ 圧入工法 ※ 流し込み工法 鋼板巻き工法 帯板巻き付け工法 連続繊維補強工法 ひび割れ改修工法 () 面取りの大きさ (図示) 引張強度試験及び付着強度試験 ※ 行わない		
23	2. 既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示		
24	1. グラウト材	無収縮モルタル材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度 (N/mm ²): 3.0以上 コンステンシー-J ₁₄ ロート値 (秒): 6~10 乾燥収縮 (×10 ⁻⁴): 0		
25	2. 構造体用モルタル	無収縮モルタル材 圧縮強度及びフロー値 ()		
26	3. スリットの種類	※ 完全スリット ※ 部分スリット		
27	4. スリットの充填材	耐火材の使用 適用箇所 ※ 図示 遮音材の使用 適用箇所 ※ 図示		

① 一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。

施工調査 (9.1.1)

- 行わない。
- 行う (調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)

調査箇所 ※ 図示 ()

調査事項

- 石綿含有建材等の使用部位
- 石綿含有建材等の種類、厚さ
- 施工範囲と工事範囲区分
- 廃棄物などの搬出方法

石綿含有分析 (9.1.1)

- 行わない。
- 行う (分析結果は監督職員に提出する。)

分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材料名	定性分析	定量分析
	・ (試料数:)	・ (試料数:)
	・ (試料数:)	・ (試料数:)
	・ (試料数:)	・ (試料数:)
	・ (試料数:)	・ (試料数:)

石綿粉じん濃度測定 (9.1.1)

- 行わない。
- 行う (測定する時期・場所等は下表による)

「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部- : 光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による。

測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室名等
測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測定2		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ※2点 ・点	
測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
測定6		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測定7	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測定8		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ※2点 ・点	
測定9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測定点総計				点

注1: 周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

(例) 石綿粉じん濃度測定方法

測定項目	測定点	測定点	測定点
数計機器	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上		
定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L

記録する項目

ア. 測定結果

イ. 測定時間

ウ. 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。)

エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)

オ. マウンティング法

カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ. 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関 (9.1.1(e))

都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出

- 施工計画書
- 工事記録及び工事写真
- 産業廃棄物処理記録(廃石綿)
- 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)
- 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
- その他必要事項

提出部数 3部作成

② 除去工事共通事項

専門事業者 (9.1.2)

- 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。
- 作業主任者の選出 (9.1.2)
- 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。
- 除去作業者の教育 (9.1.2)
- 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。
- 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 (9.1.2)
- 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。

③ 石綿含有吹き付け材の除去 (9.1.3)

石綿含有吹き付け材の除去 (9.1.3)

- 行う (適用範囲・図示)
- 行わない
- 集塵機付高圧洗浄工法

作業場等の隔離等 (9.1.3)

- 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

※ 床面	※ 壁面
※ 0.15mm以上のプラスチックシート等二重	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。

セキュリティゾーンの設置 (9.1.3)

※ 下表による

適用	室名	状態
※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護用具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備
※	洗浄室	※ エアシャワー(温水シャワー)
※	前室	※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご

ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。

除去物及び汚染等 (9.1.3)

処理方法

- ※ 密封処理(二重袋梱包)
- 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
- セメント固化

石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)

石綿含有保温材の除去工事 (9.1.4)

- 行う (適用範囲・図示)
- 行わない

養生等 (9.1.4)

- ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法

- ※ 行わない
- 行う (9.1.3)「石綿含有吹き付け材の除去」による)

除去工法 (9.1.4(b))

- ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
- ※ 除去物については(9.1.3(b))により、密封処理とする。

⑤ 石綿含有成形板の処理 (9.1.5)

石綿含有成形板の除去工事 (9.1.5)

- 行う (適用範囲・図示)
- 行わない

養生 (9.1.5)

- ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法 (9.1.5)

- ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
- ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
- ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

9-1-2 (環境配慮修繕工事)

1. 断熱材 (9.5.2~3)

断熱材の打込み及び現場発泡工法

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b	下記以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※ A種	・	・
・ フェノールフォーム保温材	※ A種	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※ A種 1	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※ 3級

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ JIS A 発泡プラスチック保温材	※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b	下記以外	※ 25 JIS表示認証製品
・ グラスウール保温材	※ A種押出法 3種 b (スキム層付き)	接地部分及び屋根防水部分ピット内部	・

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート

- ※ 被覆品
- ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)

10 ① 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)(表3.2.1)

・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種

C種の場合 建設発生土受入量 m³

② 建設発生土の処理

- ・ 構外に搬出し適切に処理する。
- ・ 構外指示の場所に搬出する。受入れ施設名・住所(km)
- ・ 構内指示の場所に敷きならす。
- ・ 構内指示の場所にたい積する。

11 1. コンクリートブロック塀及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)

ブロックの種類

- ※ 空洞ブロック 16

(ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。)

12 ① 再生材 (22.1.3)

※ 使用する ・ 使用しない

2. 盛土材料 (22.2.3)

路床の盛土材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種

3. フィルム層及び凍上抑制層用材料 (22.2.3)

フィルタ層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂

凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床土の支持力比(CBR)試験 (22.2.5)

※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土)

5. 路床締固め度の試験 (22.2.5)

※ 行わない ・ 行う

⑥ 路盤材料 (22.3.3)(表22.3.1)

※ 再生クラッシュラン RC-40

⑦ アスファルト舗装 (22.4.4)(表22.4.4)

加熱アスファルト混合物の種類

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物(13F)	・ 密粒度アスファルト混合物(13F)	・ 細粒度アスファルト混合物(13)

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.4.6)

8. コンクリート舗装 (22.5.3)

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない

溶接金網 ※ あり ・ なし

9. ブロック系舗装 (22.8.3)

・ コンクリート平板 ※ t60

・ インターロックブロック舗装 ・ t80(曲げ強度5.0N/m²) ・ ()

・ 舗石舗装 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑩ 緑石及び側溝 (22.9.2)

⑪ 砂利敷き

・ A種(通路) ※ B種(建物周辺)

12. 区画線

※ 3種1号白

13 ユニット及びその他の工事 (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・ 溝工法(置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーベット
	・ 支柱一体型パネル工法(置敷工法)				
	・ 支柱分離型パネル工法(独立支柱工法)				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による

床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。

配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m²以上とする。

空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし

・ 有り (※固定式 ・ 可変式)

施工箇所は図示

2. 可動間仕切り (20.2.3)

構造形式による種類 スタッド式密閉形

構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系

パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色) t=0.5以上

遮音性 36dB以上

防火性能 不燃

3. 移動間仕切り (スライディングドア) (20.2.4)

パネルの操作方法による種類 規定しない

パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板(標準色)

t=0.5以上

パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式

遮音性 36dB以上

防火性能 不燃

取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による

4. トイレブース (20.2.5)

表面材 メラミン化粧板(標準色)

幅木 ステンレス製 H=60

フレーム アルミ製

扉 厚40中心吊りアルル形アルミ製エッジ、帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め (ノンスリップ) (20.2.7)

材種 ステンレス(SUS304)

ビニールタイヤ入り(幅約35mm)

取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

⑥ 床目地棒 (20.2.8)

ステンレス 3×9

(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)

7. 鏡 (20.2.10)

耐湿鏡 t=5 ステンレスフレーム付き

8. 表示 (20.2.11)

衝突防止表示 ステンレス製 H18仕上げ Φ30程度 市販品

誘導標識 市販品

室名札

⑨ 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 目地タイプ
	・	・ 600×600	・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 一般型貼物用
	・	・ 600×600	・ 一般型充填用
			○ 体育館床用 鍵付

10. 視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製

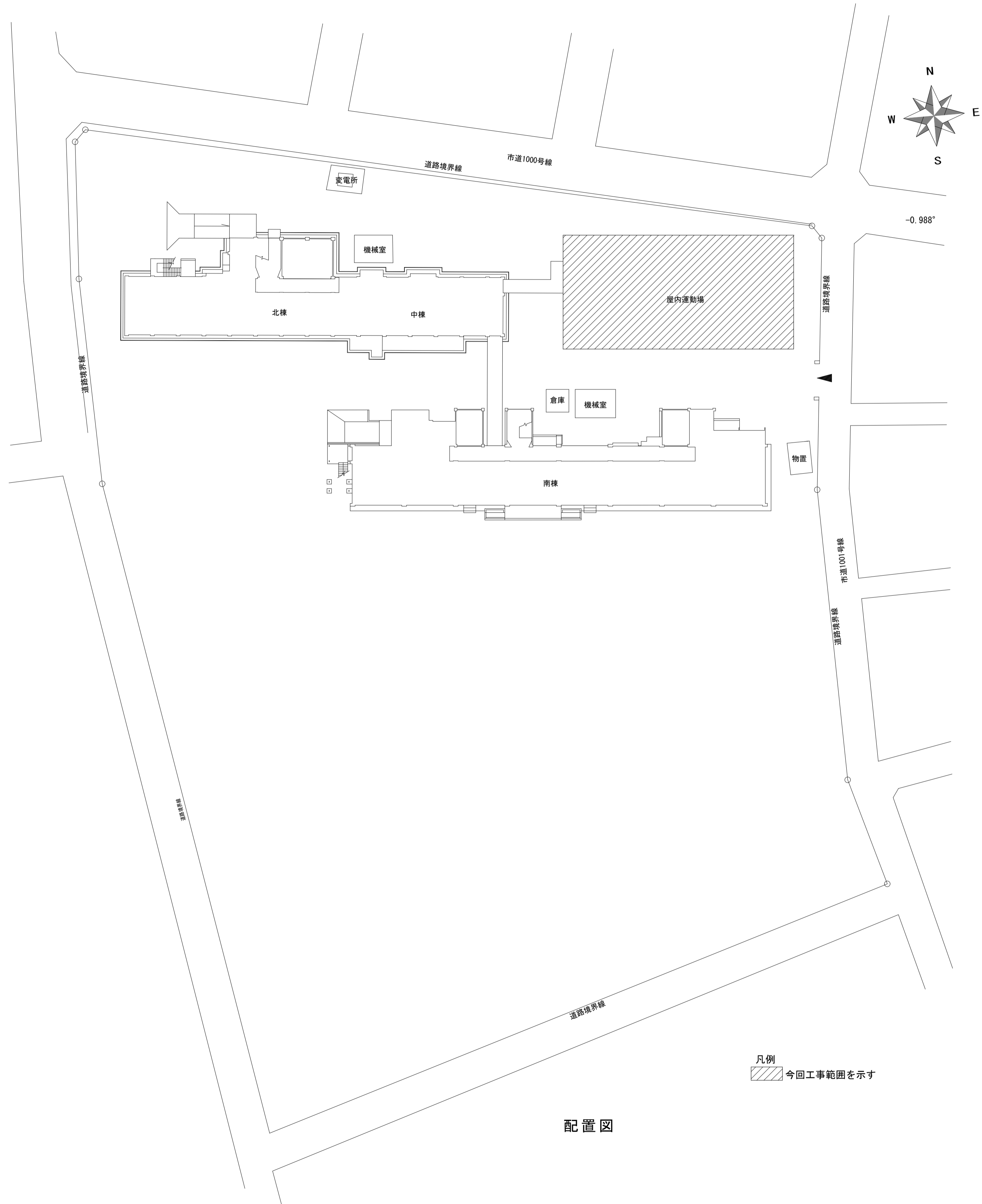
- ・ 磁器質タイル(※100角 ・ 150角)

海老名市国分寺台2丁目13番1号

海老名駅方面



案内図



配置図

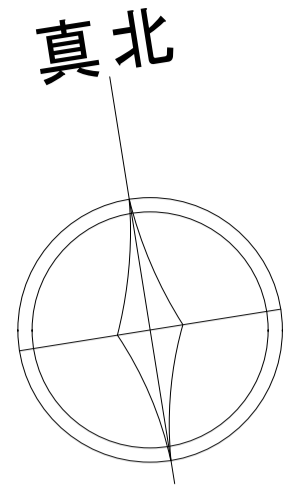


工事概要	
名称	海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事
工事種別	大規模改修工事
住居表示	神奈川県海老名市国分寺台二丁目13番1号
計画区域	都市計画区域内
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
用途	屋内運動場
構造	1階:鉄骨鉄筋コンクリート造 2階:鉄骨造
道路幅員	北側:市道1000号線 幅員8.0m 南側:市道2100号線 幅員6.0m 東側:市道1001号線 幅員6.0m 西側:市道大谷峰線 幅員18.5m
敷地面積	16,500.00㎡
建築面積	823.90㎡
延床面積	742.40㎡
軒高	GL+7.65m
最高高さ	GL+9.15m

外部仕上表		仕上		備考
勾配屋根	①	改修前	既存屋根の上、フッ素樹脂塗装が施された鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm)	
	①	改修後	折板葺き(加工工法) 既存屋根の上、遮熱塗料塗布	
1階屋上屋根	⑫	改修前	下地調整(鉄骨材の調整)、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)	ドレン、脱気筒 撤去
	⑫	改修後	既存の上、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)	ドレン、脱気筒新設 アルミ笠木、アルミ水切取外再取付
	⑬	改修前	合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法)	
庇(南側)	⑬	改修後	合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法)	
	②	改修前	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水	
庇(東側建具上部)	②	改修後	既存の上から清掃塗膜防水密着工法(X-2)	
	③	改修前	防水モルタル金ゴテ	
軒裏	③	改修後	既存の上から清掃塗膜防水密着工法(X-2)	
	なし	改修前	亀裂・浮き補修の上、外装薄塗り材E	
外壁(1階RC部分)	なし	改修後	既存のまま	
	なし	改修前	防水型複層塗材E	
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	改修後	既存のまま	
	④	改修前	防水形複層塗材E 撤去(アスベスト含有建材除去(集塵機付高圧洗浄工法))	
外壁(2階鋼製仕上部分)	④	改修後	C-2 防水形複層塗材E	
	⑤	改修前	2液性アクリルシリコン樹脂エナメル塗(2-ASE)	
鋼製建具	⑤	改修後	下地調整、錆止め、耐候性塗料塗(DP、フッ素系)	
	⑥	改修前	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)	
アルミサッシ	⑥	改修後	建具表による(一部 軽量鋼製建具に新設、一部調整の上DP)	
	⑦	改修前	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)	
通路床・階段	⑦	改修後	建具表による(一部 アルミサッシカバー工法に新設、一部建具調整)	
	⑧	改修前	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗	
スロープ	⑧	改修後	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗	
	⑨	改修前	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部 撤去	
巾木	⑨	改修後	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗	
	なし	改修前	コンクリート、モルタル補修	
アルミ笠木	なし	改修後	既存のまま	
	なし	改修前	防水モルタル金ゴテ、アルミ笠木	
軒樋	なし	改修後	既存のまま	
	なし	改修前	耐酸被覆鋼板t=0.6mm加工新設、既存樋包2液性アクリルシリコン樹脂塗(2-ASE)	
縦樋	⑩	改修後	既存のまま	軒樋清掃
	⑩	改修前	樋・塩ビ製、受金物及び養生管:鋼製SOP	
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑩	改修後	樋:既存のまま、受金物及び養生管:錆止めの上DP	
	⑪	改修前	樋:塩ビ製、受金物共 撤去	
外壁面は、アスベスト含有が報告されているため設備等のコア抜き時にも壁面の湿潤、飛散防止措置、周囲養生、水すまし等の措置を行う事。	⑪	改修後	樋:カラー塩ビ管φ100、SUS受金物	

内部仕上表		床		巾木		腰		壁		天井		廻縁		備考						
階	室名	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上							
1	体育室	F-1	改修前	ベニア合板t15 撤去 鋼製床下地共	B-1	改修前	ラワンt30 H100 OP塗	K-1	改修前	珪合板(T-2)t9 OP目透し 一部 撤去	W-1	改修前	珪合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去	C-1	改修前	鉄骨面OP 折版面断熱材裏打t4	なし	改修前	なし	床ゴールライン:既存と同様に復旧、床ゴールポスト:既存と同様に復旧(但し鉄棒用7か所は撤去のみ) 登り綱:撤去、吊上式バスケットゴール撤去・新設(電動耐震型) 南北鋼製引分扉撤去・新設(軽量鋼製建具) 時計、スピーカー、学校卒業制作物養生 床一部材のコンクリート、床点検口600角、防球ネット撤去(滑車、ワイヤー共)
		F-1	改修後	パーテックサンドイッチ材t23+鋼製床下地	B-1	改修後	既存の上SOP	K-1	改修後	珪合板(T-2)t9 一部 新設SOP 及び既存の上SOP	W-1	改修後	珪合板(T-2)t6 一部 新設SOP 及び既存の上SOP	C-1	改修後	鉄骨面:既存の上錆止DP 折版面:既存のまま	なし	改修後	なし	既存グラントピアノ 養生一枚内移動(指定位置)→工事完了後再設置(調律含む) 鋼製ステージ階段:撤去・新設(アルミ製ステージ階段)、吊バト撤去・新設、袖幕:撤去・新設(2か所) ステージ改修のため一文字・前袖幕・開閉縦帳・バック幕等取外し再取付及び養生 ステージ下椅子運搬車:撤去・新設(化粧パネル付)8台×L4500
	ステージ	F-2	改修前	ベニア合板t15 木製床下地	B-1	改修前	ラワンt30 H100 OP塗				W-1	改修前	珪合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去	C-1	改修前	鉄骨面OP 折版面断熱材裏打t4	なし	改修前	なし	既存家具(ロッカー等)取外→養生→再取付 既存タラップ:既存の上錆止DP
		F-2	改修後	既存の上サッシ掛、ハイブリッド塗装	B-1	改修後	既存の上SOP				W-1	改修後	珪合板(T-2)t6 一部 新設SOP 及び既存の上SOP	C-1	改修後	鉄骨面:既存の上錆止DP 折版面:既存のまま	なし	改修後	なし	木製引分扉撤去・新設(枠共)
	控室1、2	F-3	改修前	モルタル金ゴテ、ビニールクロス撤去	B-1	改修前	ラワンt30 H100 OP塗				W-1	改修前	珪合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去	C-1	改修前	鉄骨面OP 折版面断熱材裏打t4	なし	改修前	なし	
		F-3	改修後	下地補修、長尺シートt2	B-1	改修後	既存の上SOP				W-1	改修後	珪合板(T-2)t6 一部 新設SOP 及び既存の上SOP	C-1	改修後	鉄骨面:既存の上錆止DP 折版面:既存のまま	なし	改修後	なし	
	体育器具室 (一部みんなのトイレ設置)	なし	改修前	コンクリート金ゴテ直均し	なし	改修前	なし	なし	改修前	コンクリート打放補修	なし	改修前	コンクリート打放補修	なし	改修前	コンクリート打放補修	なし	改修前	なし	木製引分扉撤去・新設
		F-4	改修前	コンクリート金ゴテ直均し	B-2	改修前	なし			W-2	改修前	コンクリート打放補修	C-2	改修前	コンクリート打放補修	M-1	改修前	なし	棚一部撤去、補修	
		なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま			なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま		
		F-4	改修後	下地補修、長尺シートt2	B-2	改修後	ソフト巾木H100			W-2	改修後	軽量鉄骨壁下地65形、耐水合板t12、化粧パネルt6 一部モルタル金ゴテt20、化粧パネルt6	C-2	改修後	化粧石膏ボードt9.5 軽量鉄骨天井下地共	M-1	改修後	塩ビ製		
	玄関ホール	F-5	改修前	モルタル金ゴテ、長尺シートt2.5 撤去	B-3	改修前	モルタル金ゴテEP H100一部 撤去			W-3	改修前	モルタル金ゴテ、吹付タイル	なし	改修前	化粧石膏ボードt9.5 軽量鉄骨天井下地	なし	改修前	なし	木製引分扉撤去・新設	
		F-5	改修後	下地補修、長尺シートt2.5	B-3	改修後	既存の上EP			W-3	改修後	下地調整、防水形複層塗材E	なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	なし		
男女便所及び前室	なし	改修前	コンクリート金ゴテ、長尺シートt2	なし	改修前	ソフト巾木H100			なし	改修前	複層塗材E、可とう系改修塗材E、化粧板t6EP	なし	改修前	化粧石膏ボードt9.5 軽量鉄骨天井下地共	なし	改修前	塩ビ製			
	なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま			なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま			
2 通路(南・北)	なし	改修前	コンクリート金ゴテ直均し	なし	改修前	モルタル金ゴテt30			なし	改修前	なし	なし	改修前	なし	なし	改修前	なし	木製扉SOP		
	なし	改修後	既存のまま	なし	改修後	既存のまま			なし	改修後	なし	なし	改修後	なし	なし	改修後	なし			

はアスベスト含有成形板を示す。適切な処分を施す。
上記仕上表以外でも壁面及び天井面の鉄骨及び鉄部はすべての既存は錆止めの上SOPとする。



外部仕上表(既存)

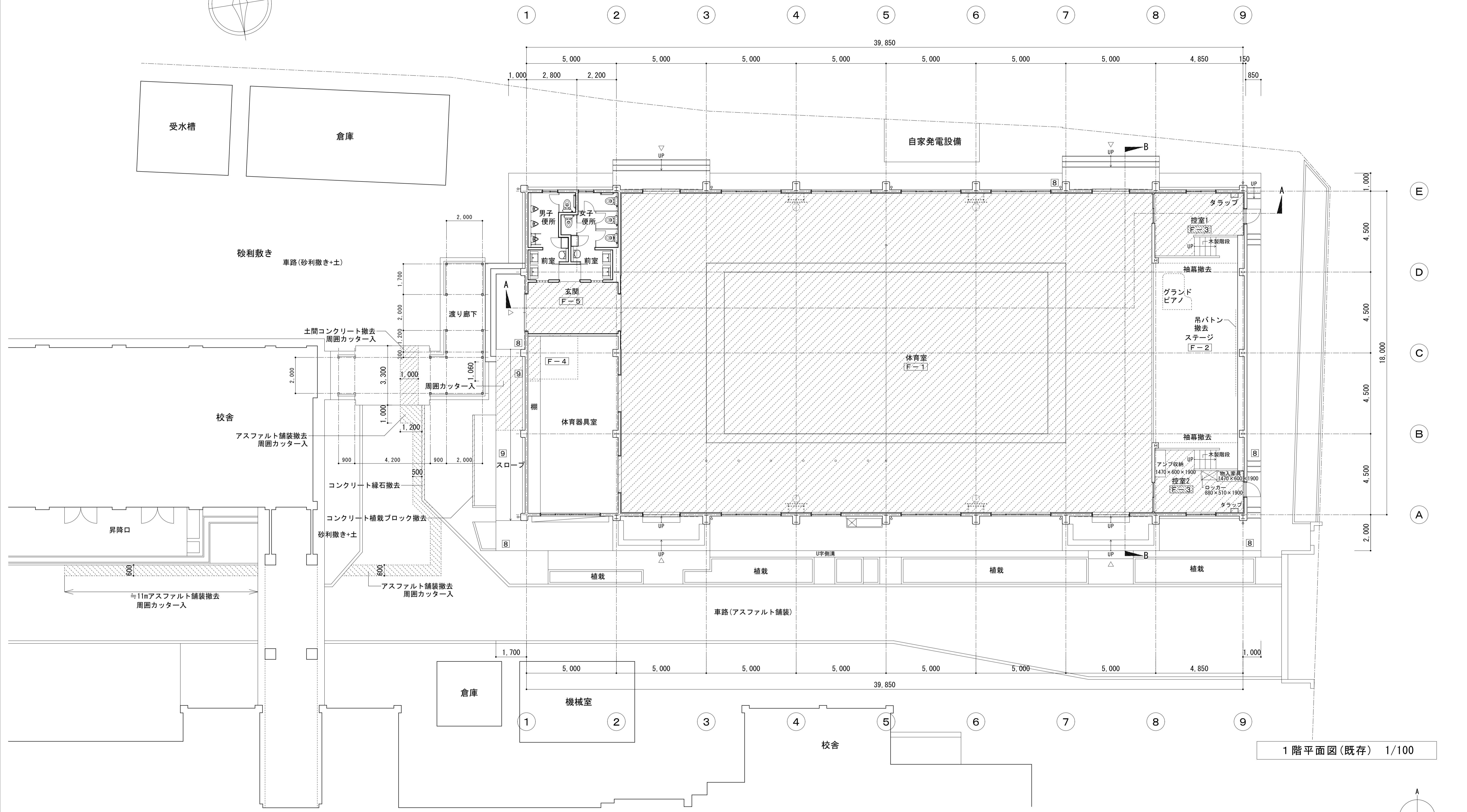
部位	記号	仕上
通路床・階段	8	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	9	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部 撤去

内部仕上表(既存)

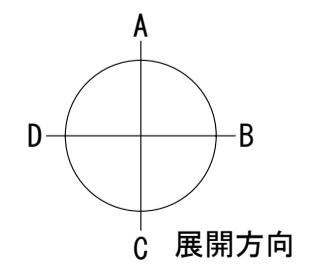
屋内運動場1階	
記号	仕上
F-1	ベニア合板t15 撤去 鋼製床下地共 加付フローリングt18 撤去
F-2	ベニア合板t15 木製床下地 加付フローリングt18 木リウレタン塗装
F-3	モルタル金ゴテ、ビニル樹脂ストライクt2 撤去
F-4	コンクリート金ゴテ直均し
F-5	モルタル金ゴテ、長尺シートt2.5 撤去

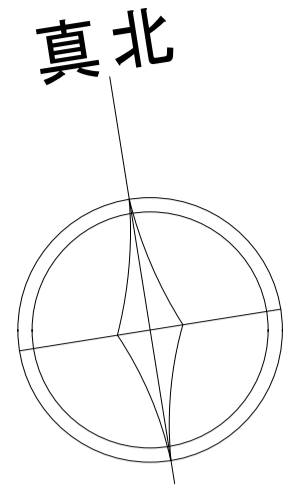
既存

凡例
 撤去範囲を示す
 はアスベスト含有成形板を示す。適切な処分を施す。



1階平面図(既存) 1/100

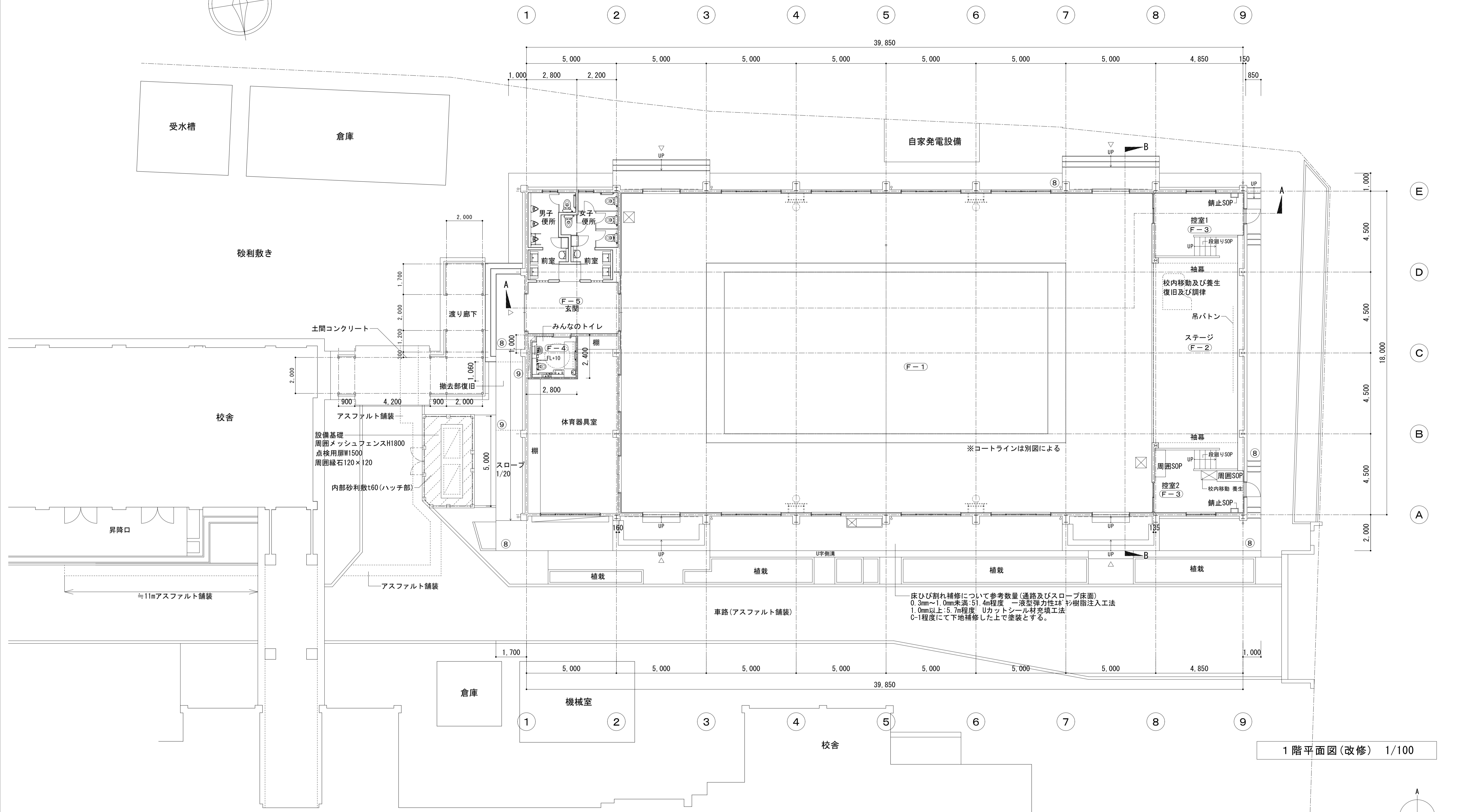




部位	記号	仕上
通路床・階段	⑧	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗

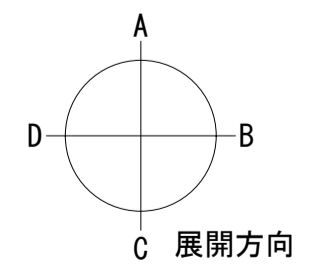
床	屋内運動場1階	
	記号	仕上
床	(F-1)	パテ付サンドイッチt23+鋼製床下地、加バフローラックt18、サグー掛、ハイリット塗装
	(F-2)	既存の上サグー掛、ハイリット塗装
	(F-3)	下地補修、長尺シートt2
	(F-4)	下地補修、長尺シートt2
	(F-5)	下地補修、長尺シートt2.5

改修

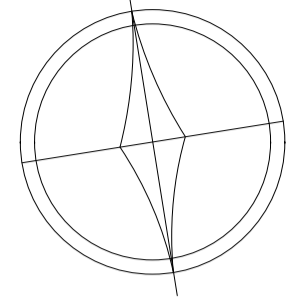


床ひび割れ補修について参考数量(通路及びスロープ床面)
 0.3mm~1.0mm未満:5l.4m程度 一液型弾力性珪砂樹脂注入工法
 1.0mm以上:5.7m程度 Uカットシール材充填工法
 C-1程度にて下地補修した上で塗装とする。

1階平面図(改修) 1/100

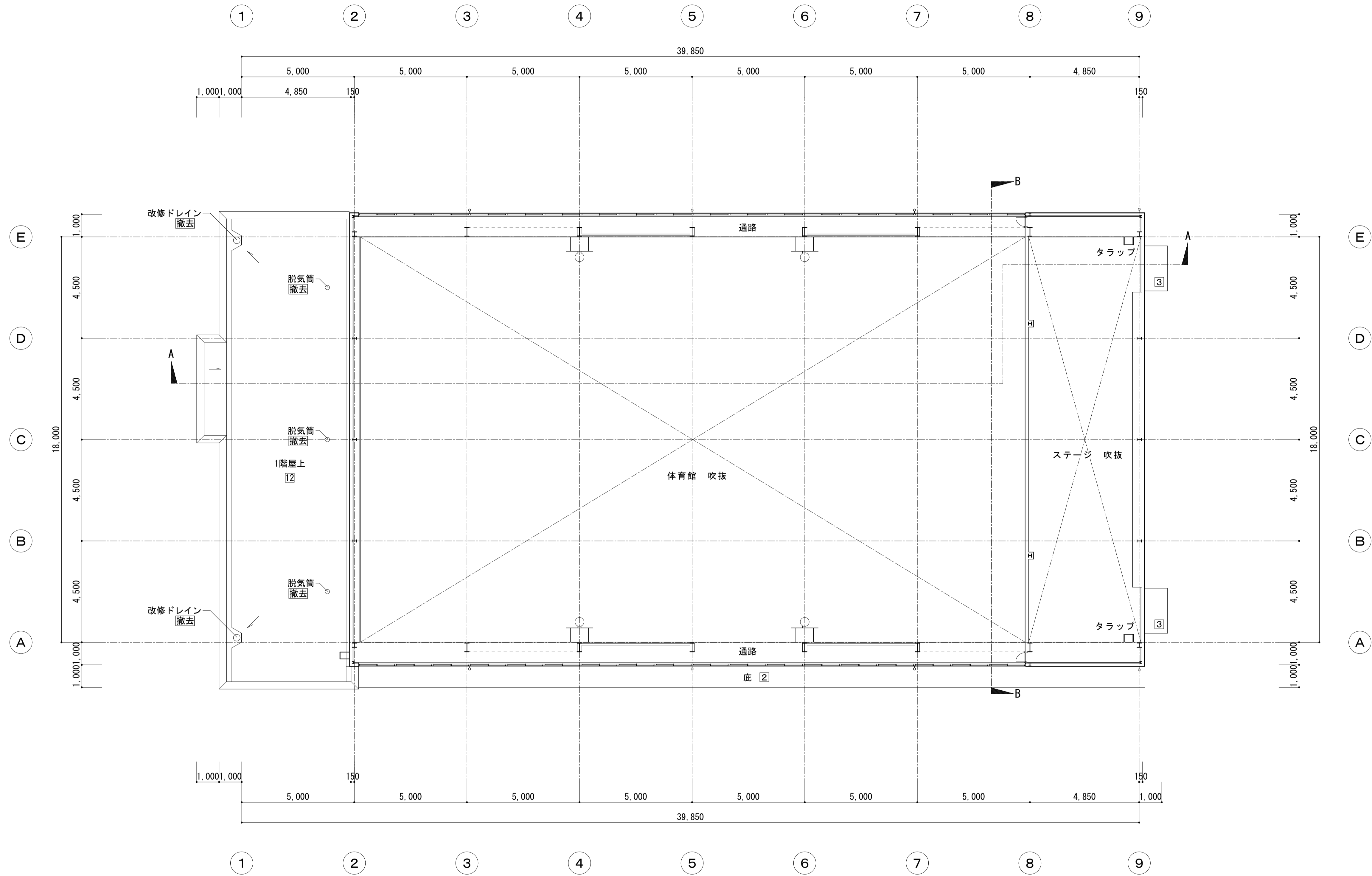


真北

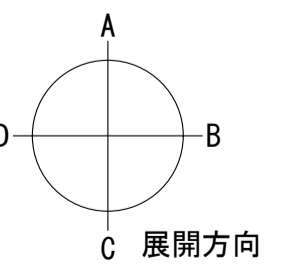


外部仕上表(既存)		
部位	記号	仕上
庇(南側)	②	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水
庇(東側建具上部)	③	防水モルタル金ゴテ
1階屋上屋根	⑫	下地調整(※リペアメント材)、合成高分子シート防水(S-M2:機械式固定工法)

既存



2階平面図(既存) 1/100



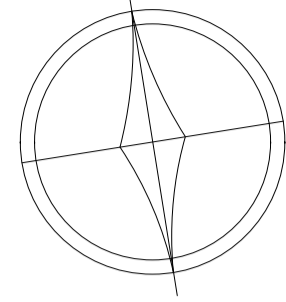
海老名市
Ebina City



図面名称 2階平面図(既存)
 縮尺 S=1:100
 工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
A-09

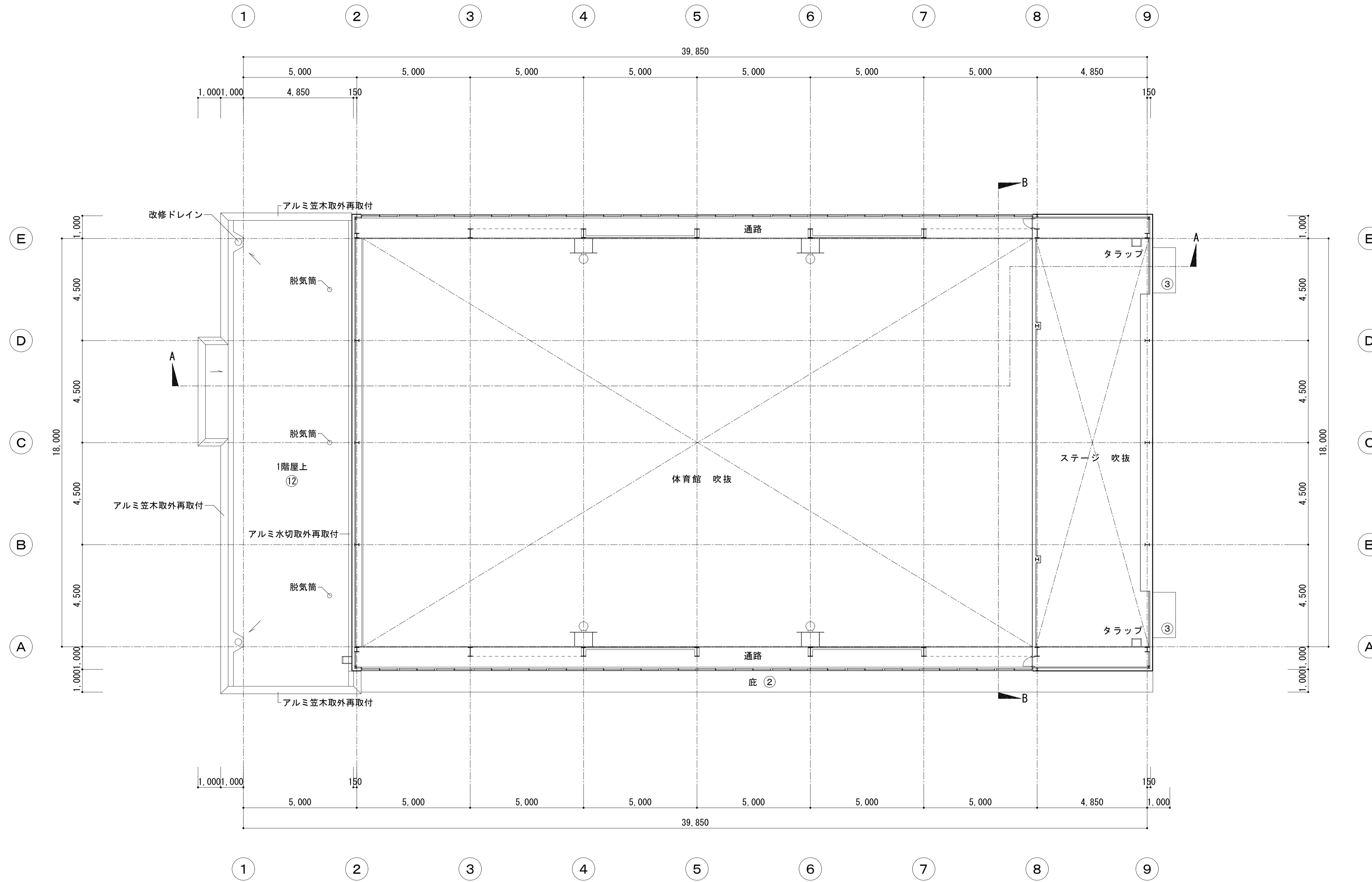
真北



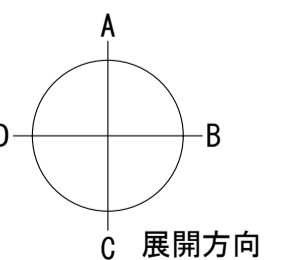
外部仕上表(改修)

部位	記号	仕上
庇(南側)	②	既存の上栓清掃塗膜防水密着工法(X-2)
庇(東側建具上部)	③	既存の上栓清掃塗膜防水密着工法(X-2)
1階屋上屋根	(12)	既存の上、合成高分子系シート防水(S-M2・機械式固定工法)

改修



2階平面図(改修) 1/100



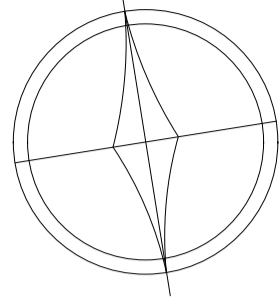
海老名市
Ebina City



図面名称 2階平面図(改修)
 縮尺 S=1:100
 工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
A-10

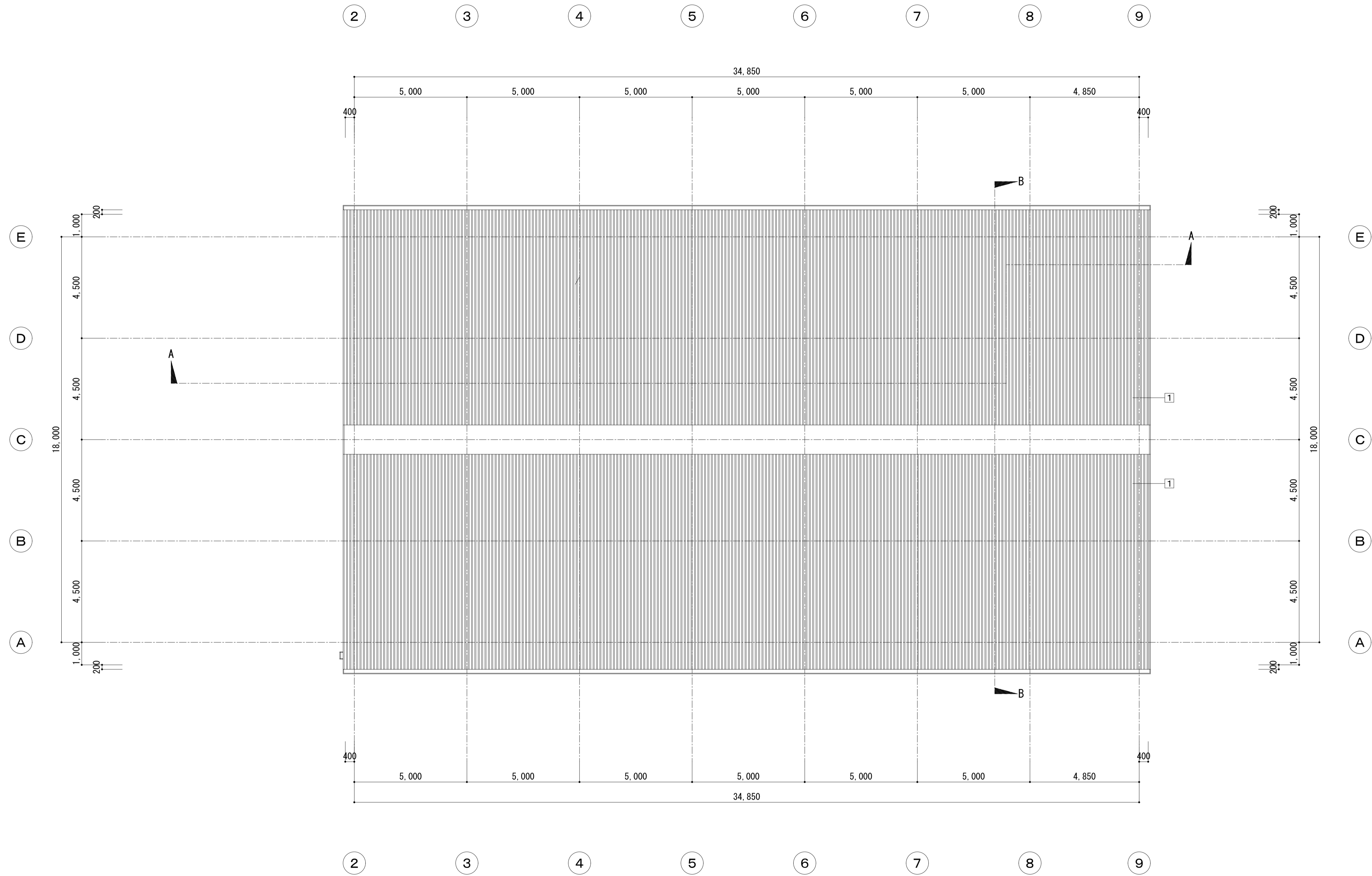
真北



外部仕上表(既存)

部位	記号	仕上
勾配屋根	1	既存屋根の上、フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm) 折板葺き(かべ-工法)

既存



屋根伏図(既存) 1/100

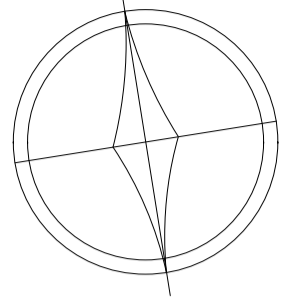
海老名市
Ebina City



図面名称 屋根伏図(既存)
縮尺 S=1:100
工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
A-11

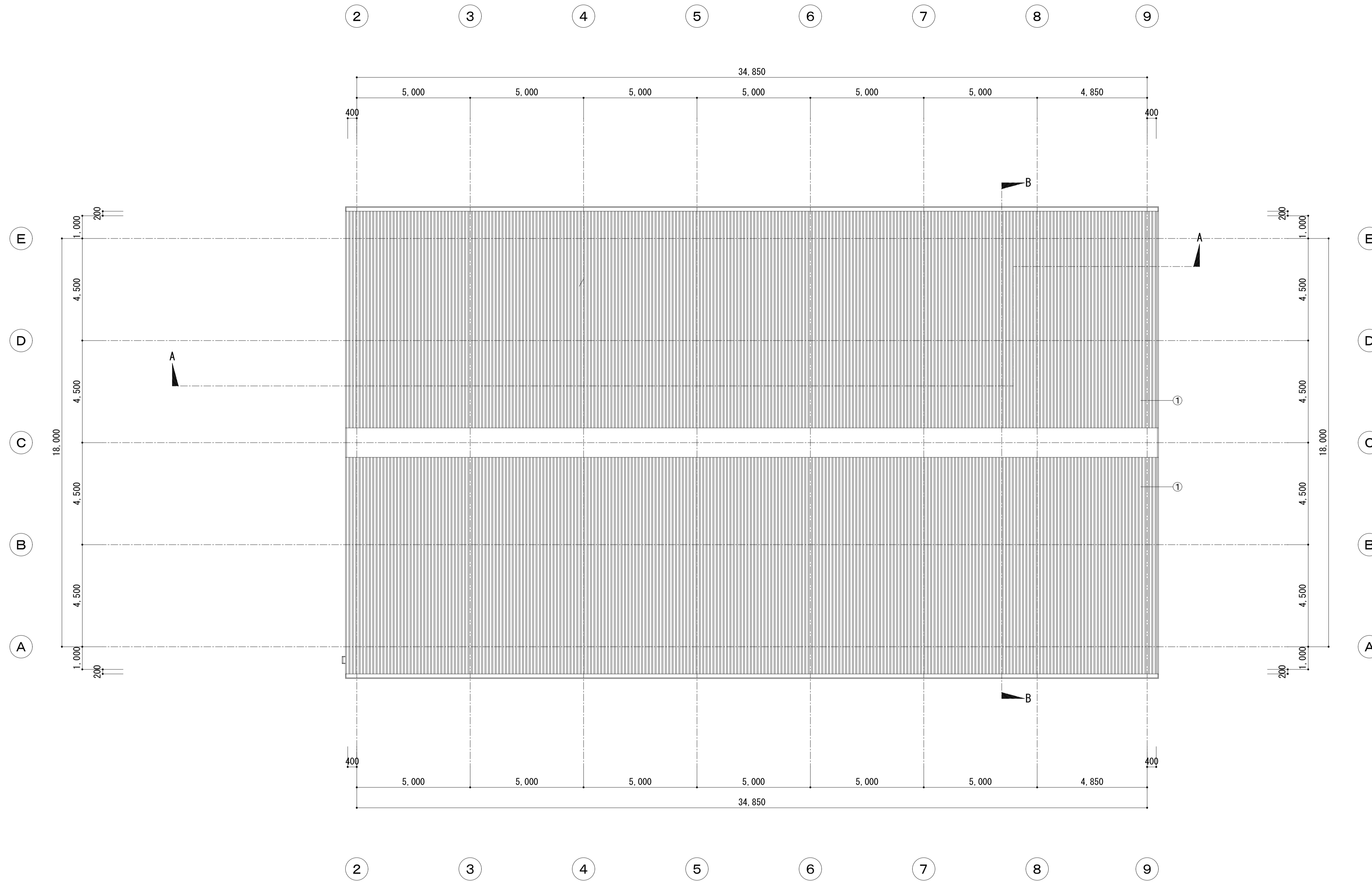
真北



外部仕上表(改修)

部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、遮熱塗料塗布

改修



屋根伏図(改修) 1/100

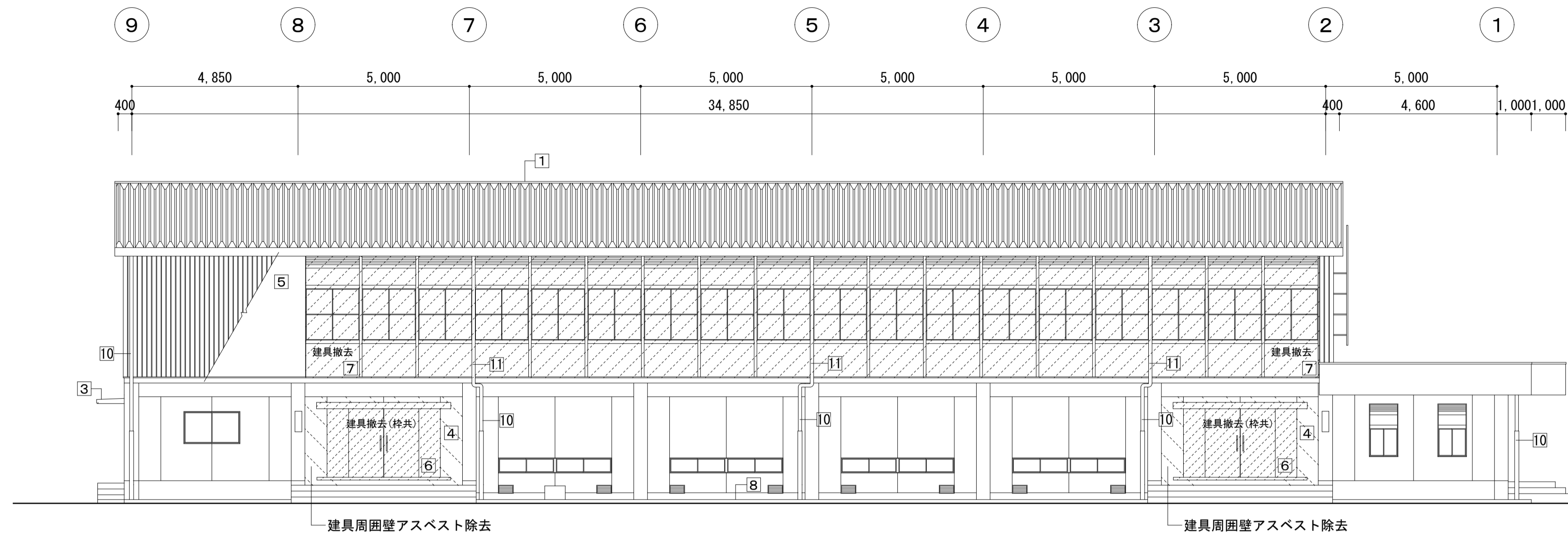
海老名市
Ebina City



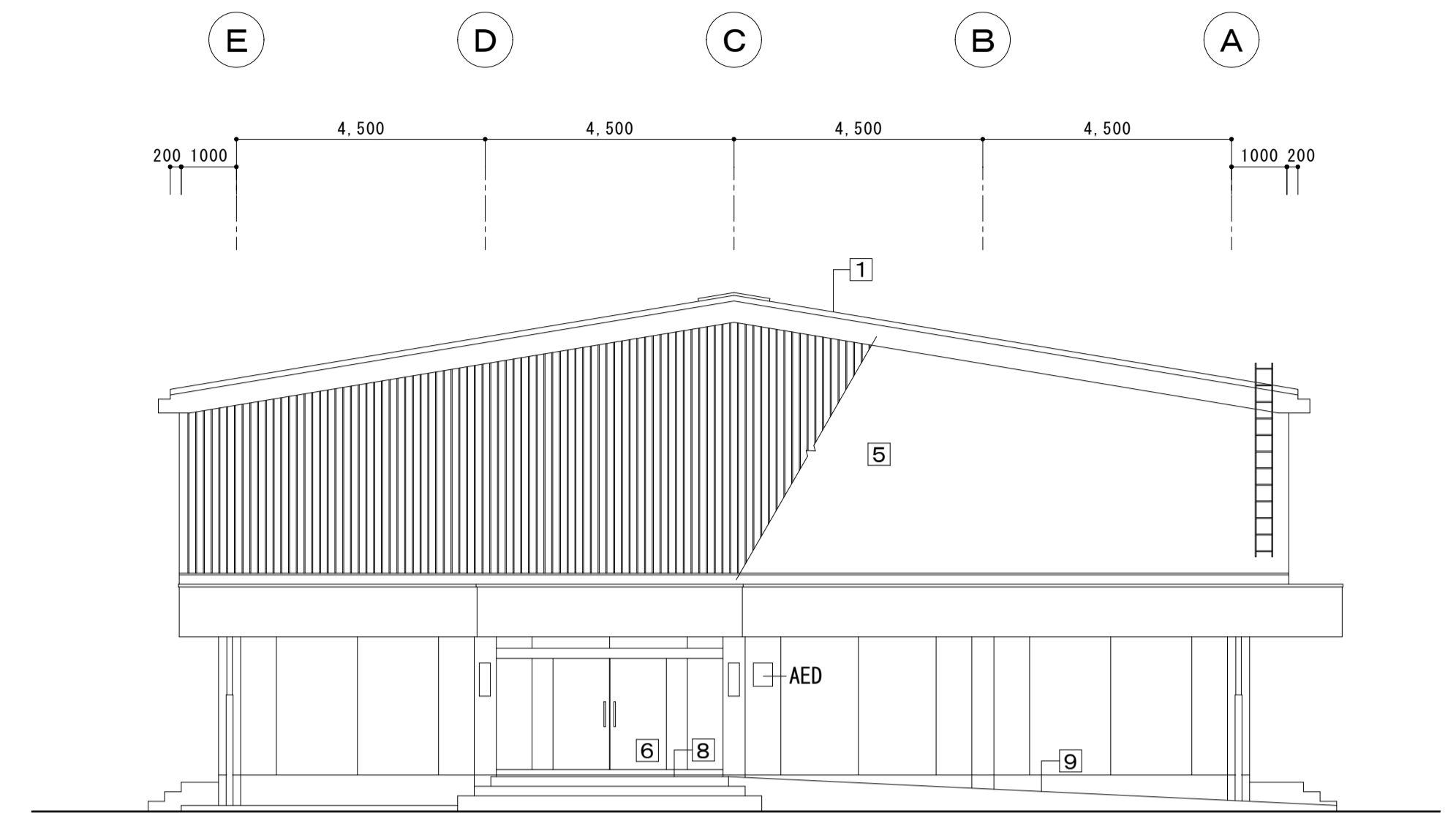
図面名称 屋根伏図(改修)
縮尺 S=1:100
工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
A-12

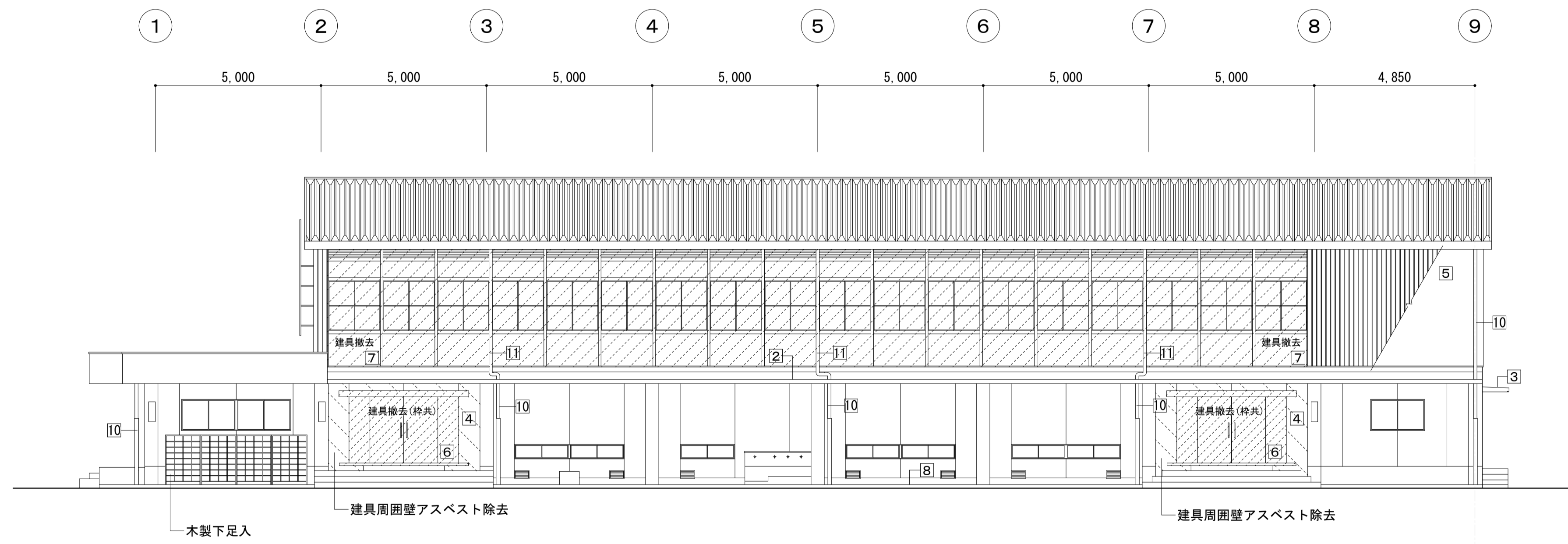
既存



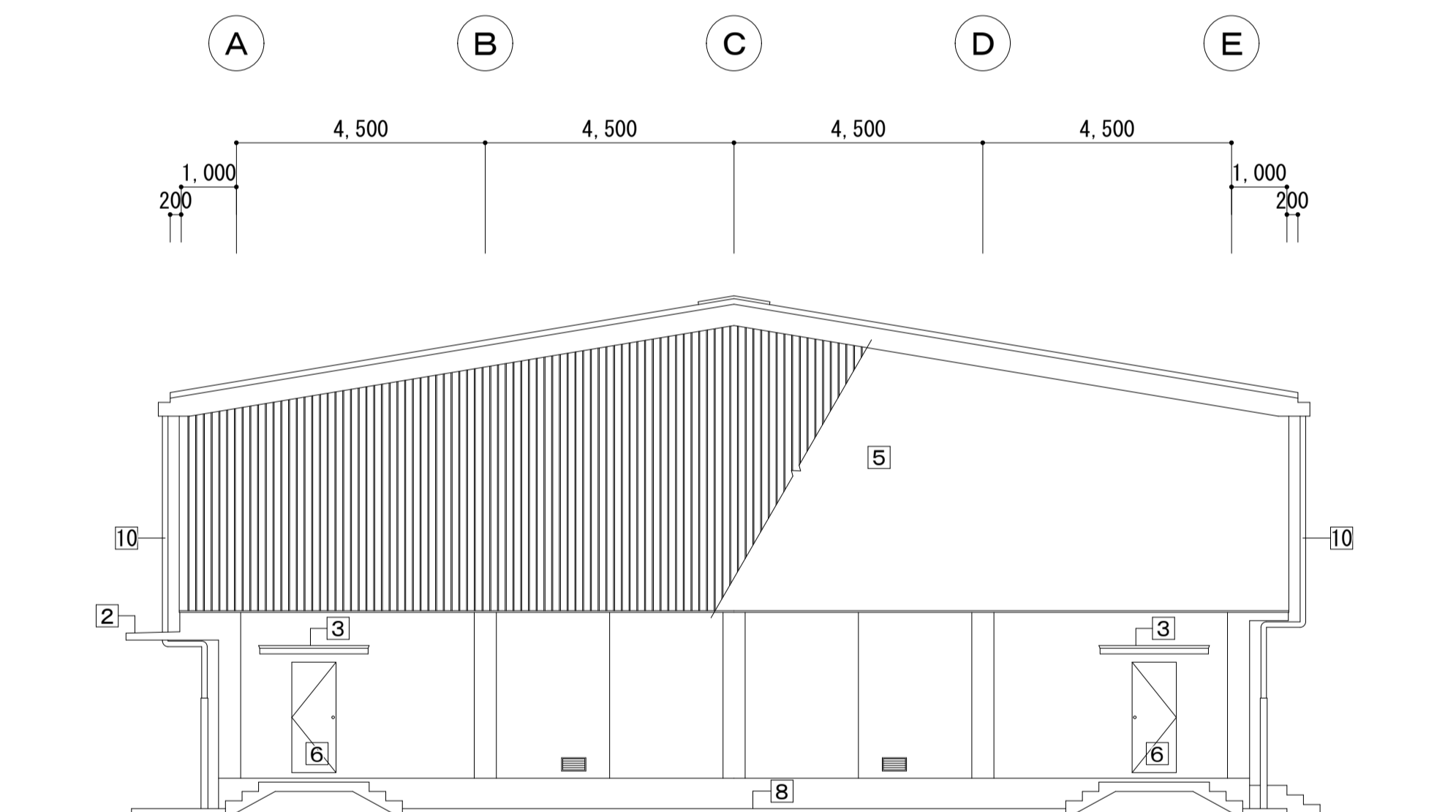
北側立面図(既存) 1/100



西側立面図(既存) 1/100



南側立面図(既存) 1/100



東側立面図(既存) 1/100

外部仕上表(既存)

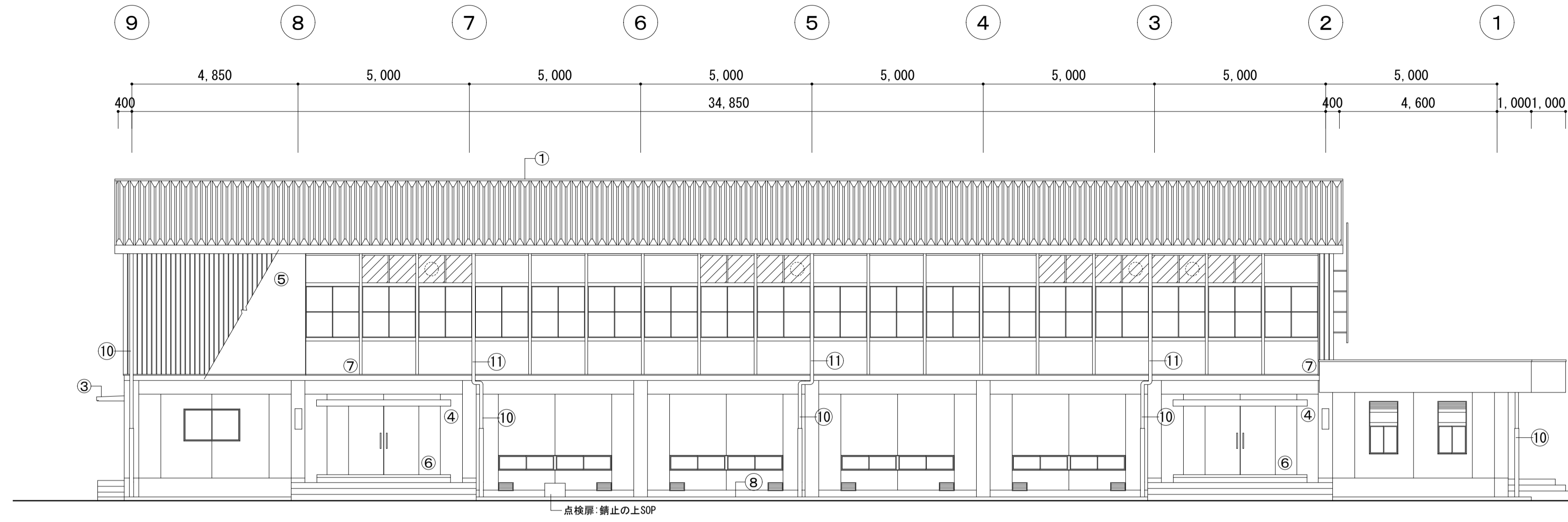
部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm) 折板葺き (hV-工法)
庇(南側)	②	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水
庇(東側建具上部)	③	防水モルタル金ゴテ
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	防水形複層塗材E 撤去 (アスベスト含有建材除去(集塵機付高圧洗浄工法))
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	2液性アクリルシリコン樹脂エナメル塗 (2-ASE)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
通路床・階段	⑧	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部 撤去
縦樋	⑩	樋:塩ビ製、受金物及び養生管:鋼製SOP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:塩ビ製、受金物共 撤去

外壁面は、アスベスト含有が報告されているため設備等のコア抜き時も壁面の湿潤、飛散防止措置、周囲養生等の措置を行う事。

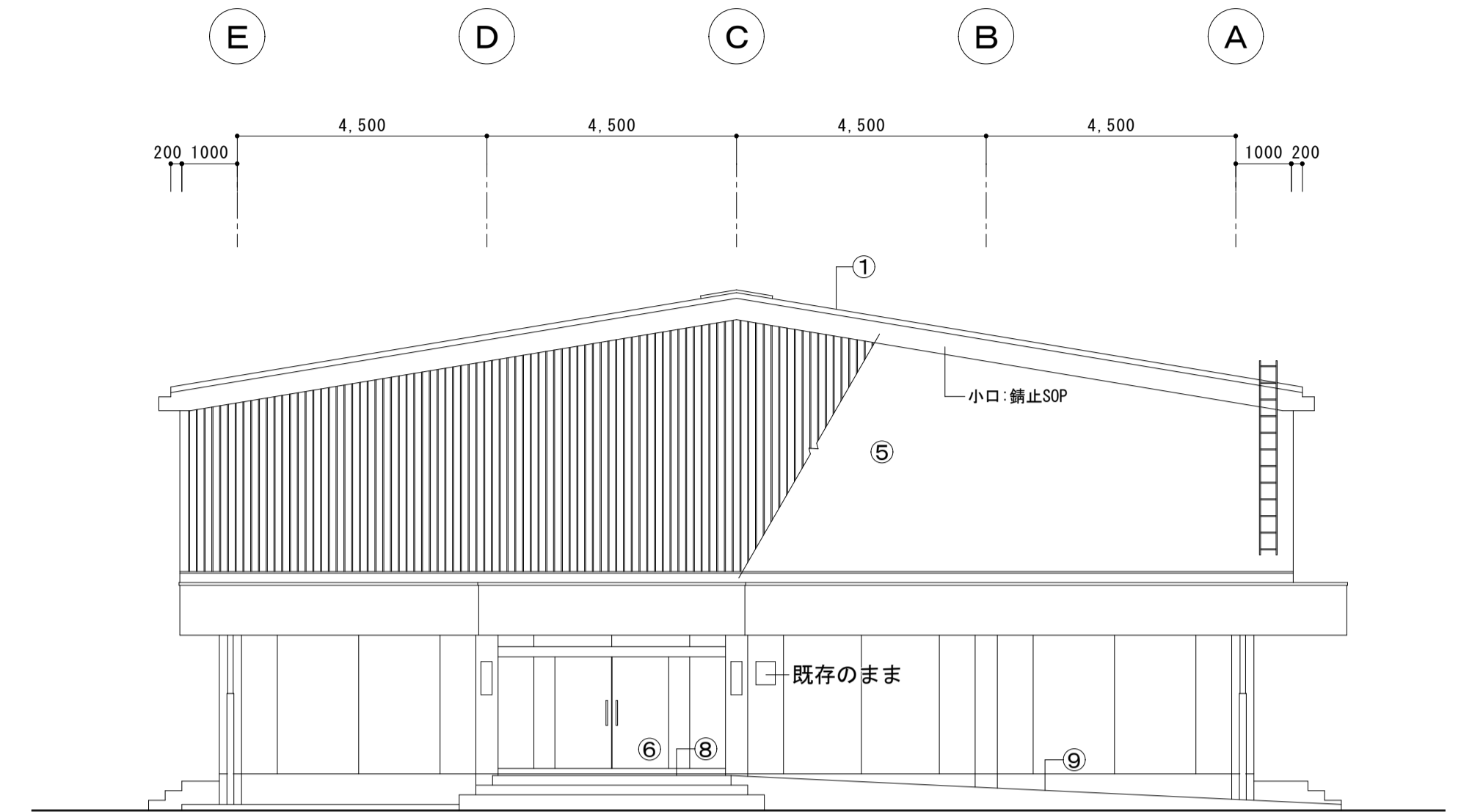
凡例

撤去範囲を示す

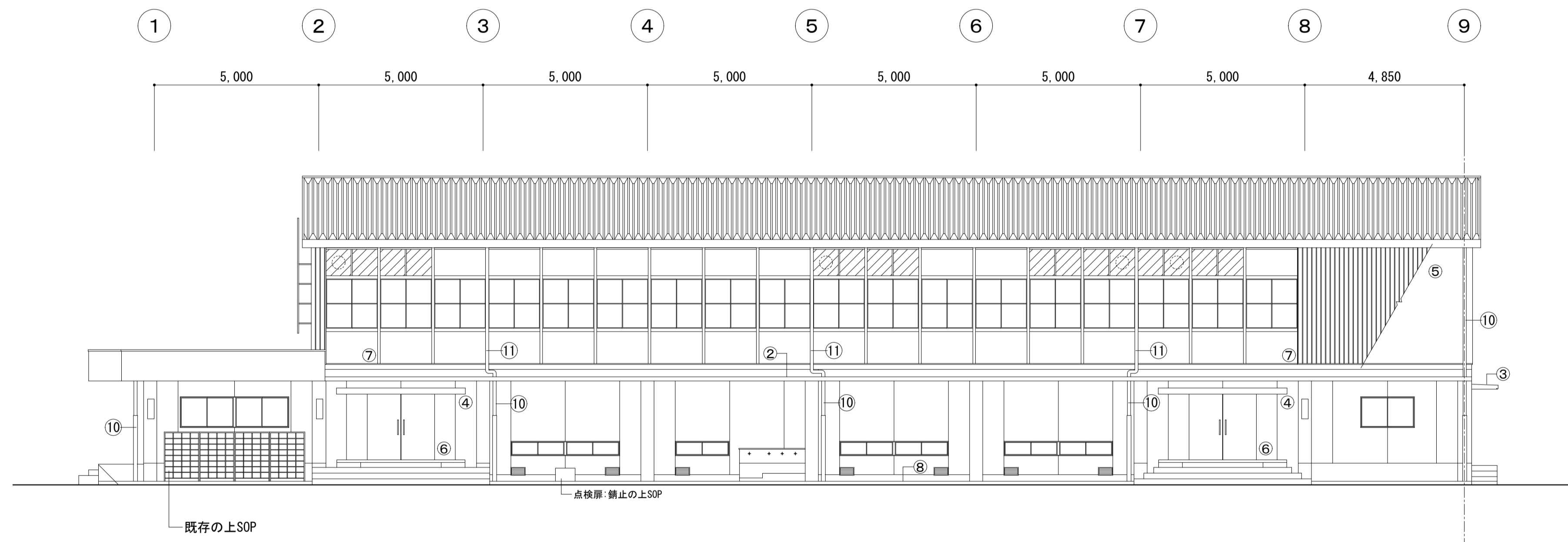




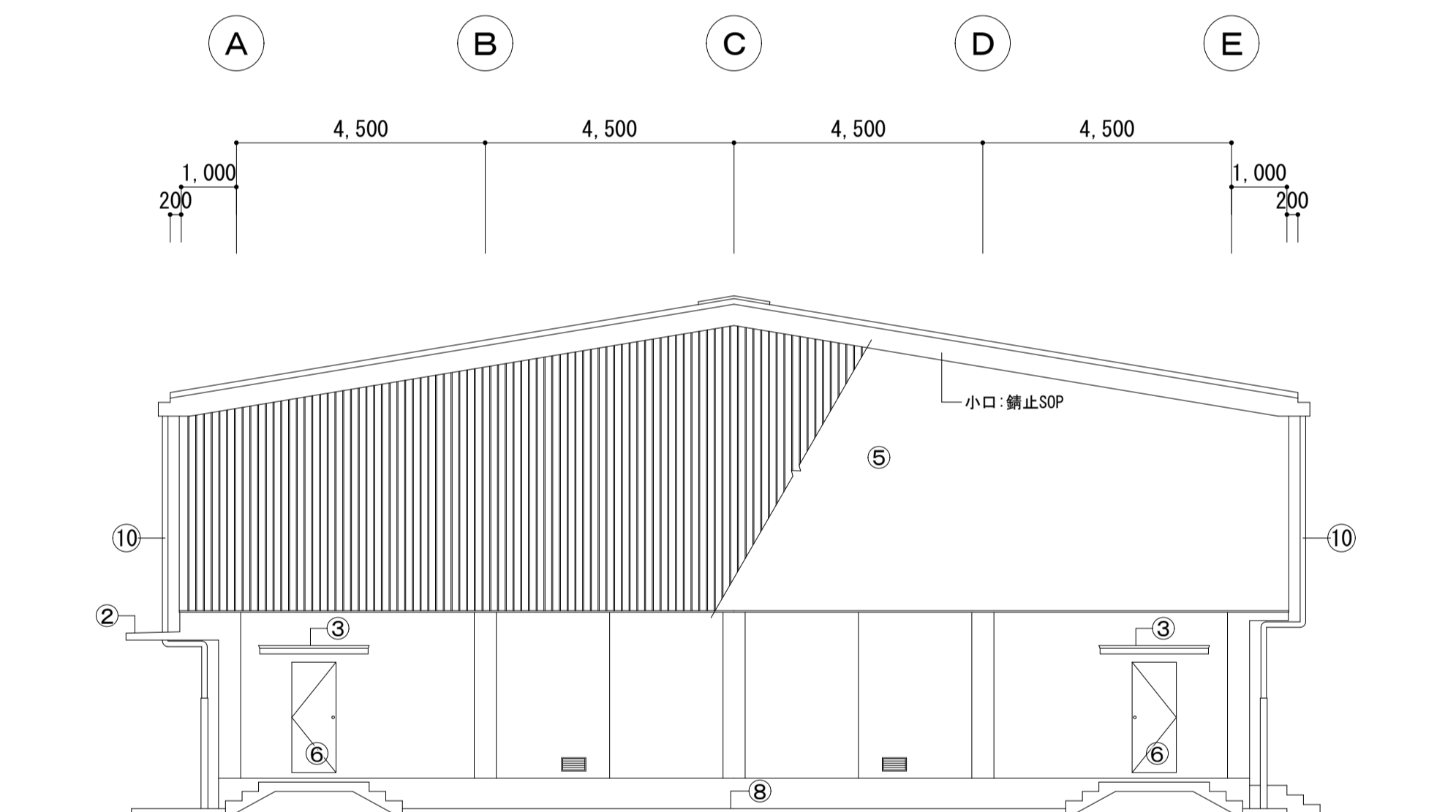
北側立面図(改修) 1/100



西側立面図(改修) 1/100



南側立面図(改修) 1/100

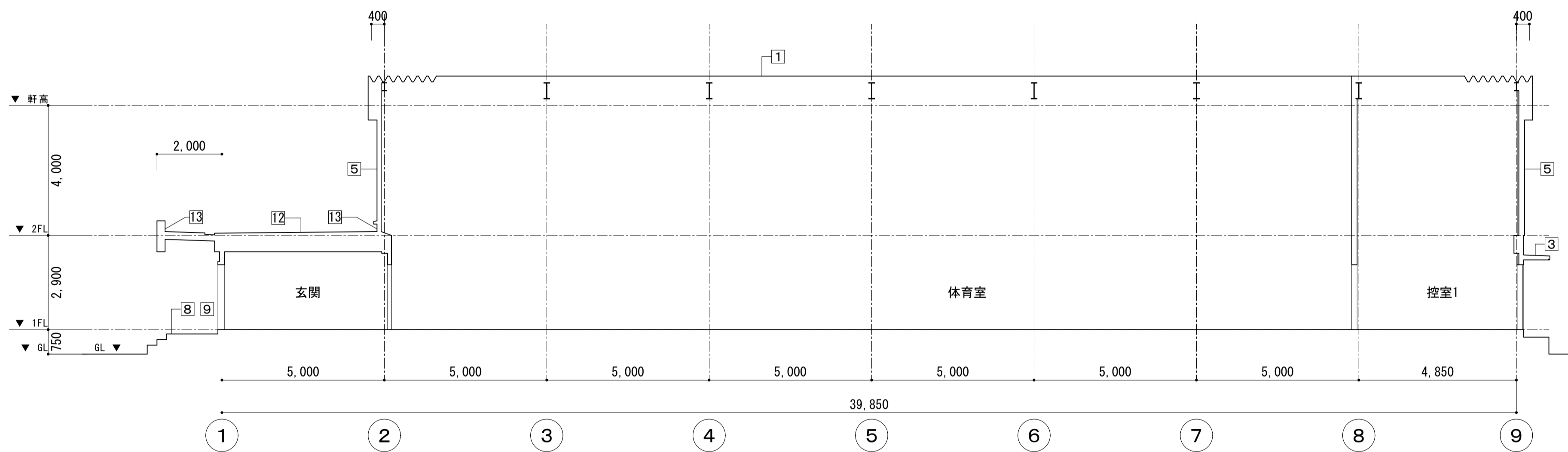


東側立面図(改修) 1/100

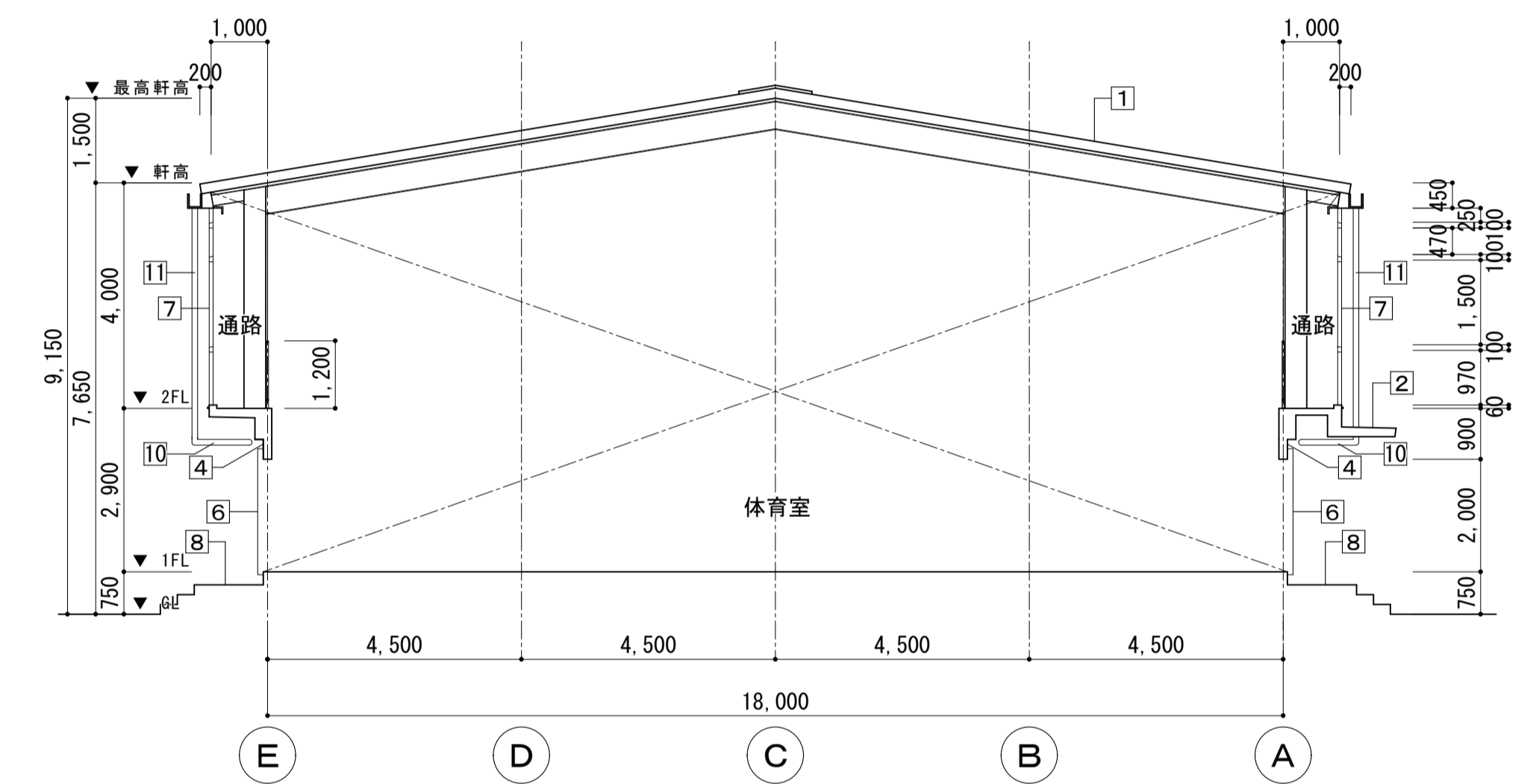
外部仕上表(改修)

部 位	記 号	仕 上
勾配屋根	①	既存屋根の上、遮熱塗料塗布
庇(南側)	②	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
庇(東側建具上部)	③	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	C-2 防水形複層塗材E
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	下地調整、錆止め、耐候性塗料塗(DP、フッ素系)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 軽量鋼製建具に新設、一部調整の上DP)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 アルミサッシカバー工法に新設、一部建具調整)
通路床・階段	⑧	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
縦樋	⑩	樋:既存のまま、受金物及び養生管:錆止めの上DP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:カラー塩ビ管φ100、SUS受金物





A-A断面図(既存) 1/100



B-B断面図(既存) 1/100

外部仕上表(既存)

部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm) 折板葺き(カバ-工法)
庇(南側)	②	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水
庇(東側建具上部)	③	防水モルタル金ゴテ
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	防水形複層塗材E 撤去(アスベスト含有建材除去(集塵機付高圧洗浄工法))
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	2液性アクリルシリコン樹脂エナメル塗(2-ASE)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
通路床・階段	⑧	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部 撤去
縦樋	⑩	樋:塩ビ製、受金物及び養生管:鋼製SOP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:塩ビ製、受金物共 撤去
1階屋上屋根	⑫	平場 下地調整(タ-リ-メントモルタル)、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)
1階屋上屋根	⑬	立上 合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法) 撤去

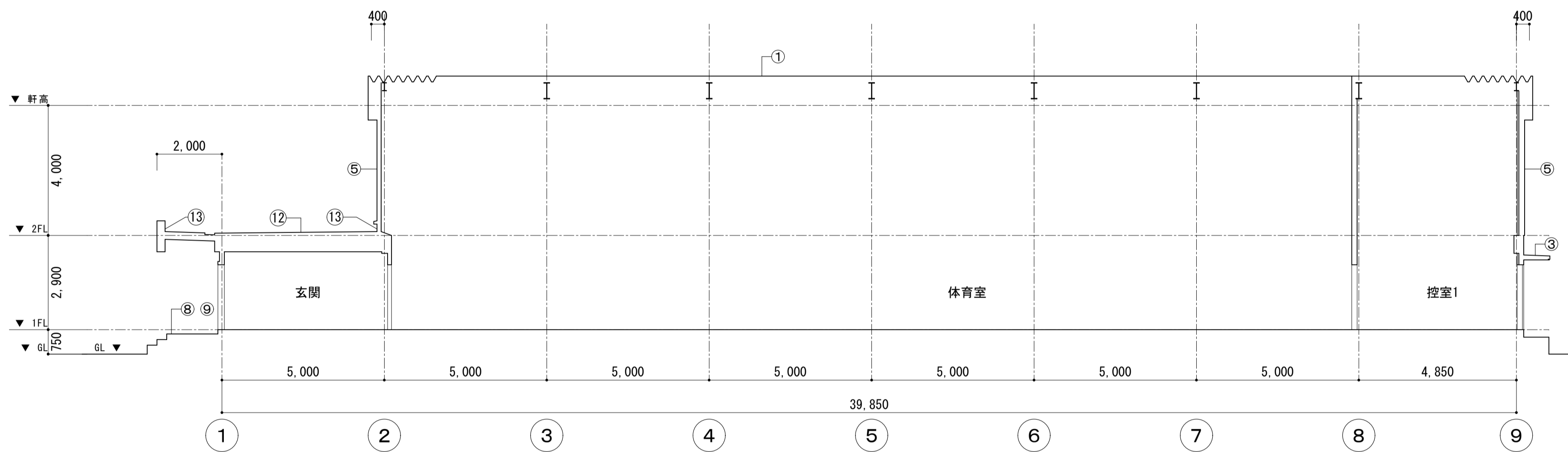
外壁面は、アスベスト含有が報告されているため設備等のコア抜き時も壁面の湿潤、飛散防止措置、周囲養生等の措置を行う事。

凡例

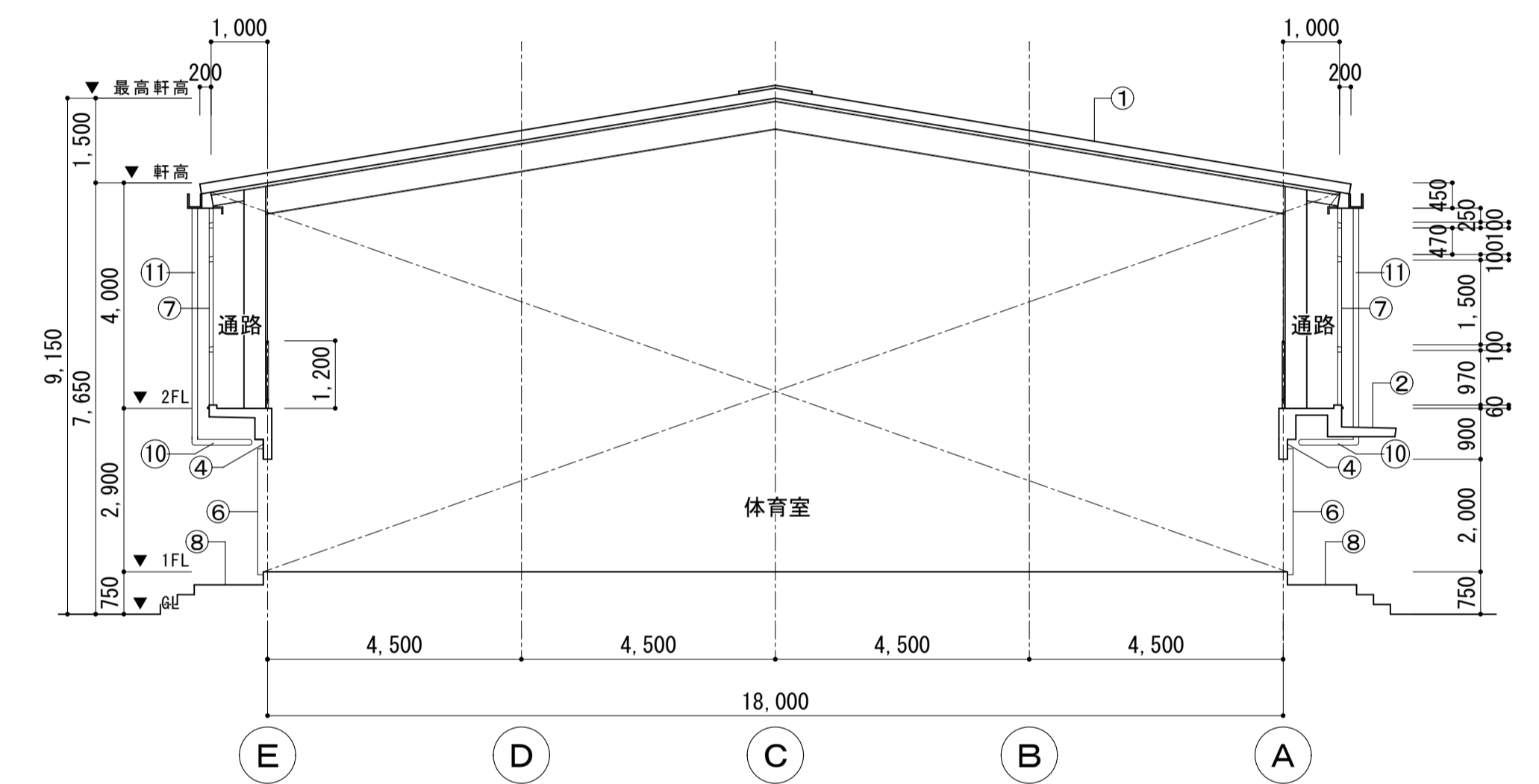
撤去範囲を示す



改修



A-A断面図(改修) 1/100

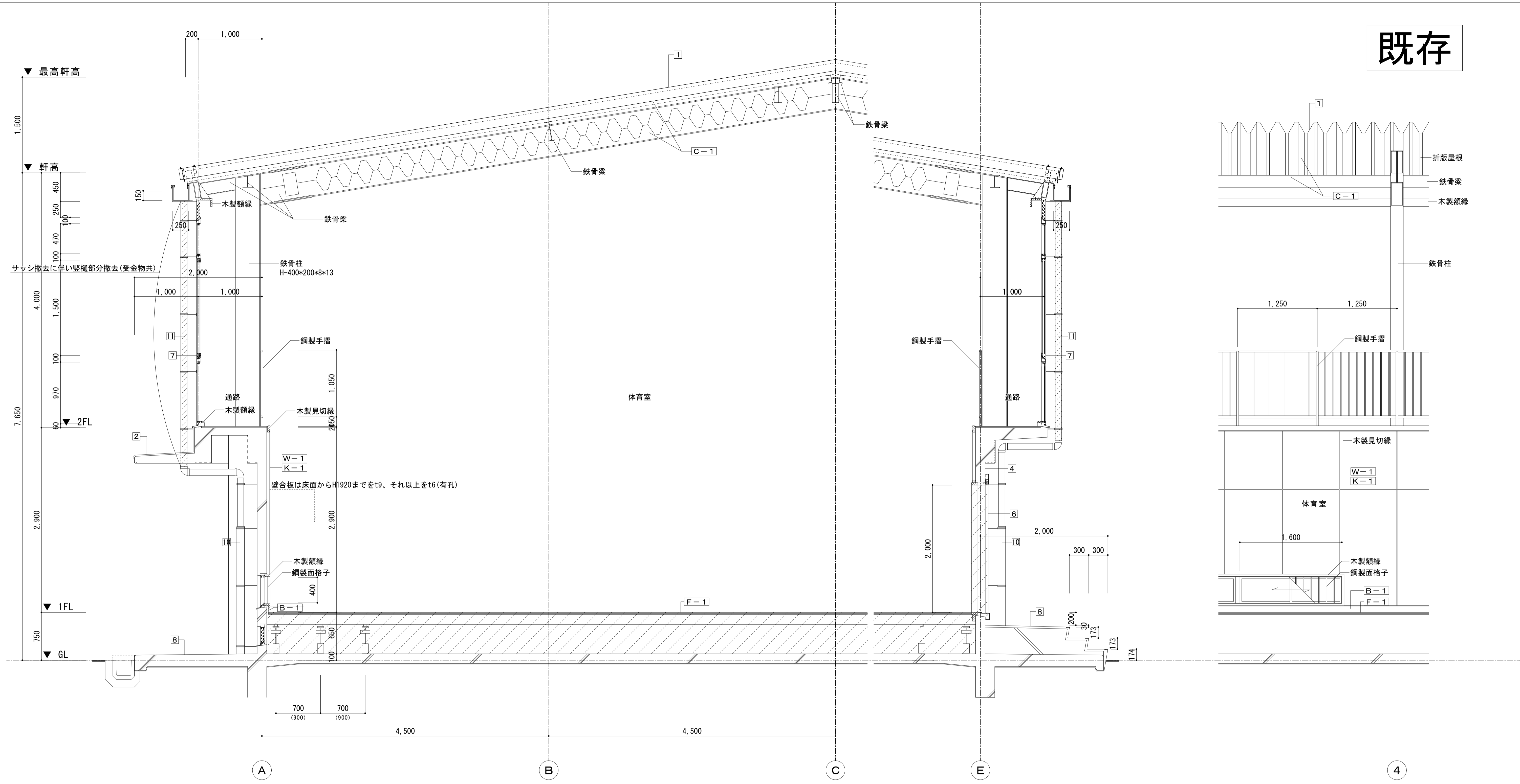


B-B断面図(改修) 1/100

外部仕上表(改修)

部 位	記 号	仕 上
勾配屋根	①	既存屋根の上、遮熱塗料塗布
庇(南側)	②	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
庇(東側建具上部)	③	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	C-2 防水形複層塗材E
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	下地調整、錆止め、耐候性塗料塗(DP、フッ素系)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 軽量鋼製建具に新設、一部調整の上DP)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 アルミサッシカバー工法に新設、一部建具調整)
通路床・階段	⑧	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
縦樋	⑩	樋:既存のまま、受金物及び養生管:錆止めの上DP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:カラー塩ビ管φ100、SUS受金物
1階屋上屋根	⑫	平場 既存の上、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)
1階屋上屋根	⑬	立上 合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法)





短計図(既存)(体育室廻り) 1/30

A通姿図(既存) 1/30

外部仕上表(既存)

部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、フッ素樹脂塗装が施された鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm) 折板葺き(かへ-工法)
庇(南側)	②	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水
庇(東側建具上部)	③	防水モルタル金ゴテ
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	防水形複層塗材E 撤去(アスベスト含有建材除去(集塵機付高圧洗浄工法))
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	2液性アクリルシリコン樹脂エナメル塗(2-ASE)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 撤去、一部既存のまま)
通路床・階段	⑧	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部 撤去
縦樋	⑩	樋:塩ビ製、受金物及び養生管:鋼製SOP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:塩ビ製、受金物共 撤去

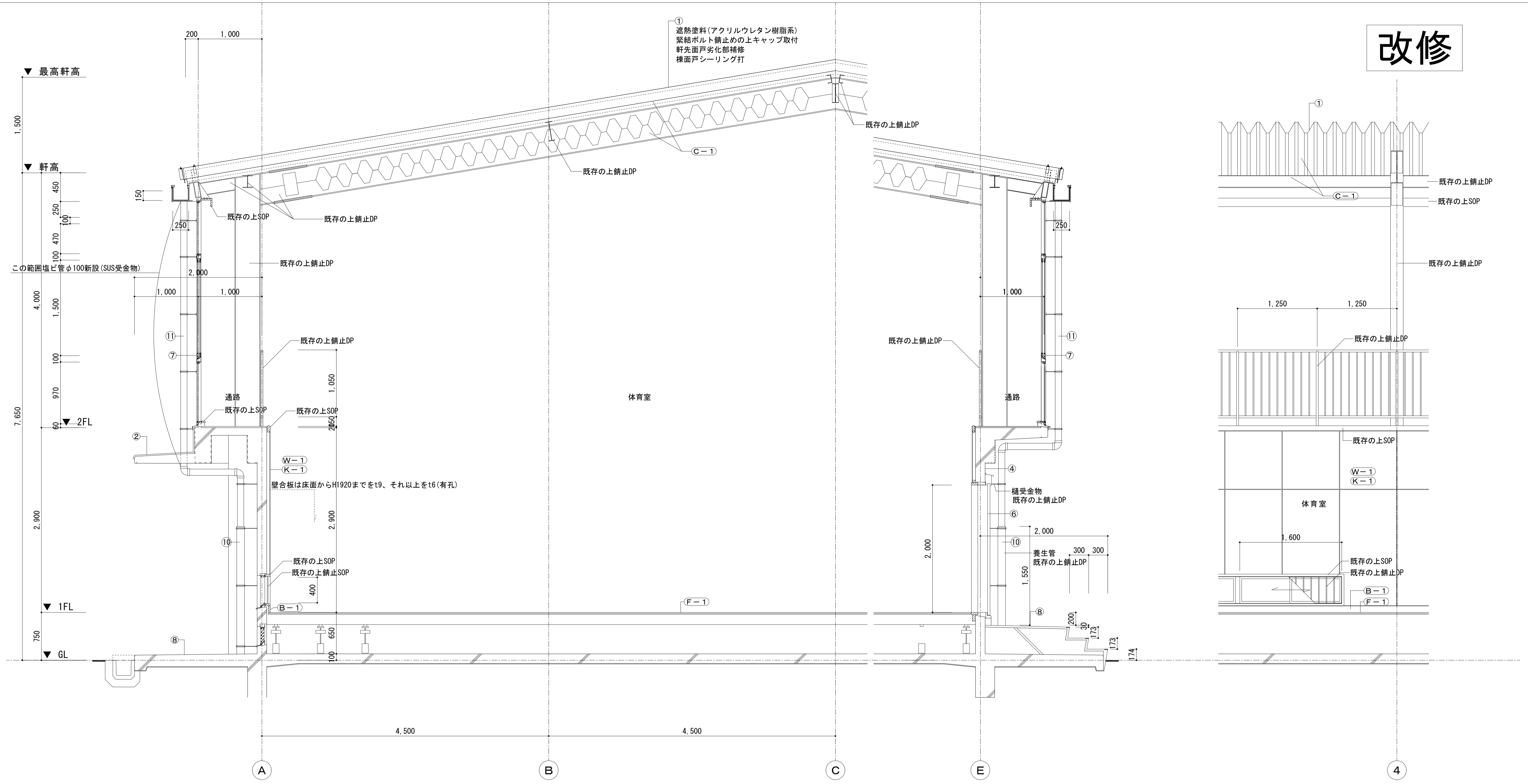
外壁面は、アスベスト含有が報告されているため設備等のコア抜き時も壁面の湿潤、飛散防止措置、周囲養生等の措置を行う事。
 凡例
 [斜線] 撤去範囲を示す

内部仕上表(既存)

体育室	
記号	仕上
床	F-1 ペニア合板t15 撤去 鋼製床下地共 加工FR-リソ t18 撤去
巾木	B-1 ラワンt30 H100 OP塗
腰	K-1 珪藻土合板(T-2)t9 OP目透し 一部 撤去
壁	W-1 珪藻土合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去
天井	C-1 鉄骨面OP 折版面断熱材裏打ちt4

凡例
 [斜線] 撤去範囲を示す
 [点線] はアスベスト含有成形板を示す。適切な処分を施す。

改修



短計図(改修)(体育室廻り) 1/30

A通姿図(改修) 1/30

外部仕上表(改修)

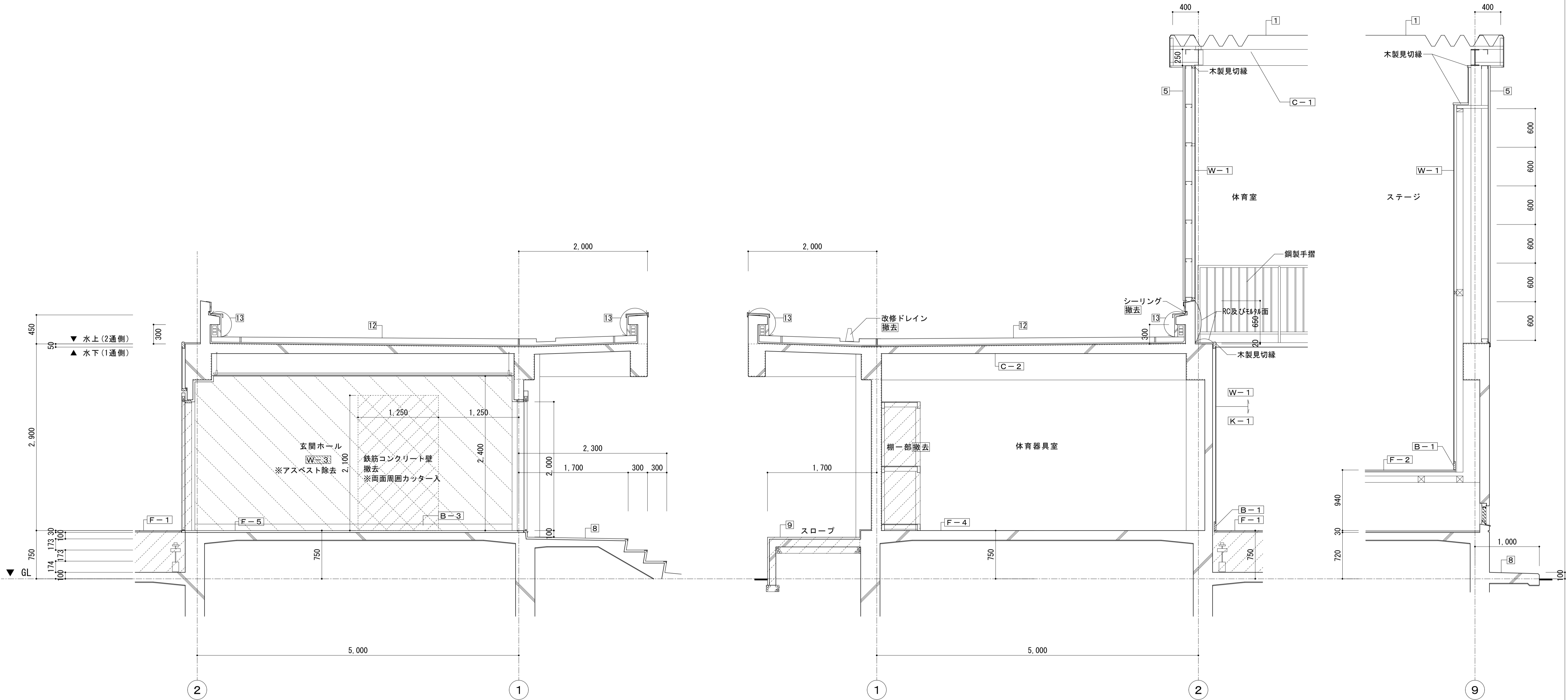
部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、遮熱塗料塗布
庇(南側)	②	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
庇(東側建具上部)	③	既存の上ケル清掃塗膜防水密着工法(X-2)
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	C-2 防水形複層塗材E
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	下地調整、錆止め、耐候性塗料塗(DP、フッ素系)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 軽量鋼製建具に新設、一部調整の上DP)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 アルミサッシカバー工法に新設、一部建具調整)
通路床・階段	⑧	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
縦樋	⑩	樋:既存のまま、受金物及び養生管:錆止めの上DP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:カラー塩ビ管φ100、SUS受金物

内部仕上表(改修)

体育室		
記号	仕上	
床	(F-1)	バネ付野地板44t23+鋼製床下地、加圧D-リングt18、サゲ掛、Mプロット塗装
巾木	(B-1)	既存の上SOP
腰	(K-1)	777合板(T-2)t9 一部 新設SOP及び既存の上SOP
壁	(W-1)	777合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP
天井	(C-1)	鉄骨面:既存の上錆止DP 折断面:既存のまま



既存



短計図(既存)(玄関廻り) 1/30

短計図(既存)(体育器具室) 1/30

短計図(既存)(ステージ廻り) 1/30

外部仕上表(既存)

部位	記号	仕上
勾配屋根	[1]	既存屋根の上、珞素樹脂塗装 ガルパニウム鋼板 t=0.8mm (断熱材裏打ち t=4mm) 折板葺き(ハV-工法)
庇(南側)	[2]	防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水
庇(東側建具上部)	[3]	防水モルタル金ゴテ
外壁(1階RC部建具改修部分)	[4]	防水形複層塗材E 撤去(アスベスト含有建材除去(集塵機付高圧洗浄工法))
外壁(2階鋼製仕上部分)	[5]	2液性アクリルシリコン樹脂エナメル塗(2-ASE)
鋼製建具	[6]	建具表による(一部撤去、一部既存のまま)
アルミサッシ	[7]	建具表による(一部撤去、一部既存のまま)
通路床・階段	[8]	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	[9]	鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗一部撤去
縦樋	[10]	樋:塩ビ製、受金物及び養生管:鋼製SOP
縦樋(2階サッシ取付部分)	[11]	樋:塩ビ製、受金物共撤去
1階屋上屋根	[12]	平場 下地調整(ベリマントモック)、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)
1階屋上屋根	[13]	立上 合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法)撤去

外壁面は、アスベスト含有が報告されているため設備等のコア抜き時も壁面の湿潤、飛散防止措置、周囲養生等の措置を行う事。

凡例
 撤去範囲を示す

内部仕上表(既存)

体育室		
記号	仕上	
床	F-1	ベニヤ合板t15 撤去 鋼製床下地共 加工フローリング t18 撤去
巾木	B-1	ラワンt30 H100 OP塗
腰	K-1	珞合板(T-2)t9 OP目透し 一部撤去
壁	W-1	珞合板(T-2)t6 OP目透し 一部撤去
天井	C-1	鉄骨面OP 折断面断熱材裏打ち

凡例
 撤去範囲を示す
 はアスベスト含有成形板を示す。適切な処分を施す。

内部仕上表(既存)

ステージ		
記号	仕上	
床	F-2	ベニヤ合板t15 木製床下地 加工フローリング t18 珞リカク塗装
巾木	B-1	ラワンt30 H100 OP塗
壁	W-1	珞合板(T-2)t6 OP目透し 一部撤去
天井	C-1	鉄骨面OP 折断面断熱材裏打ち

内部仕上表(既存)

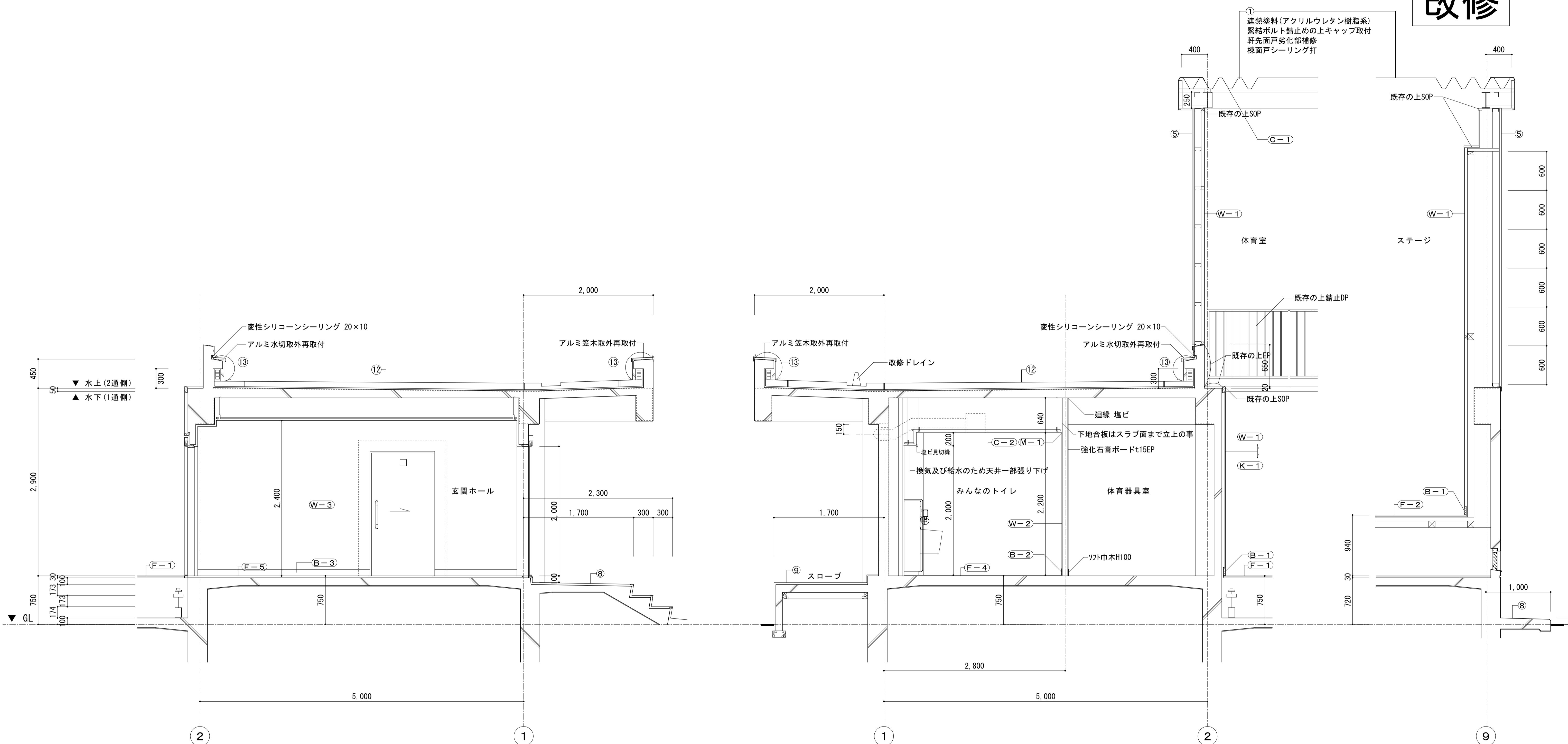
体育器具室		
記号	仕上	
床	F-4	コンクリート金ゴテ直均し
巾木	B-2	なし
壁	W-2	コンクリート打放補修
天井	C-2	コンクリート打放補修
廻縁	M-1	なし

内部仕上表(既存)

玄関ホール		
記号	仕上	
床	F-5	珞合板t15、長尺シートt2.5 撤去
巾木	B-3	モルタル金ゴテEP H100一部撤去
壁	W-3	珞合板t15一部撤去(一部既存のまま)



改修



短計図(改修)(玄関廻り) 1/30

短計図(改修)(体育器具室) 1/30

短計図(改修)(ステージ廻り) 1/30

外部仕上表(改修)		
部位	記号	仕上
勾配屋根	①	既存屋根の上、遮熱塗料塗布
庇(南側)	②	既存の上から清掃塗膜防水密着工法(X-2)
庇(東側建具上部)	③	既存の上から清掃塗膜防水密着工法(X-2)
外壁(1階RC部建具改修部分)	④	C-2 防水形複層塗材E
外壁(2階鋼製仕上部分)	⑤	下地調整、錆止め、耐候性塗料塗(DP、フッ素系)
鋼製建具	⑥	建具表による(一部 軽量鋼製建具に新設、一部調整の上DP)
アルミサッシ	⑦	建具表による(一部 アルミサッシカバー工法に新設、一部建具調整)
通路床・階段	⑧	亀裂、欠損補修の上 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
スロープ	⑨	撤去部 鉄筋コンクリート 防水モルタル塗 溶剤系アクリルウレタン樹脂塗
縦樋	⑩	樋:既存のまま、受金物及び養生管:錆止めの上DP
縦樋(2階サッシ取付部分)	⑪	樋:カラー塩ビ管φ100、SUS受金物
1階屋上屋根	⑫	既存の上、合成高分子系シート防水(S-M2:機械式固定工法)
1階屋上屋根	⑬	立上 合成高分子系シート防水(S-F2:接着工法)

内部仕上表(改修)		
体育室		
記号	仕上	
床 (F-1)	バネ付材の付いた木製床下地、鋼製床下地、鋼製床下地、鋼製床下地、鋼製床下地、鋼製床下地、鋼製床下地	
巾木 (B-1)	既存の上SOP	
腰 (K-1)	珧合板(T-2)t9 一部 新設SOP及び既存の上SOP	
壁 (W-1)	珧合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP	
天井 (C-1)	鉄骨面:既存の上錆止DP 折版面:既存のまま	

内部仕上表(改修)		
ステージ		
記号	仕上	
床 (F-2)	既存の上サッシ掛、バネ付材塗装	
巾木 (B-1)	既存の上SOP	
壁 (W-1)	珧合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP	
天井 (C-1)	鉄骨面:既存の上錆止DP 折版面:既存のまま	

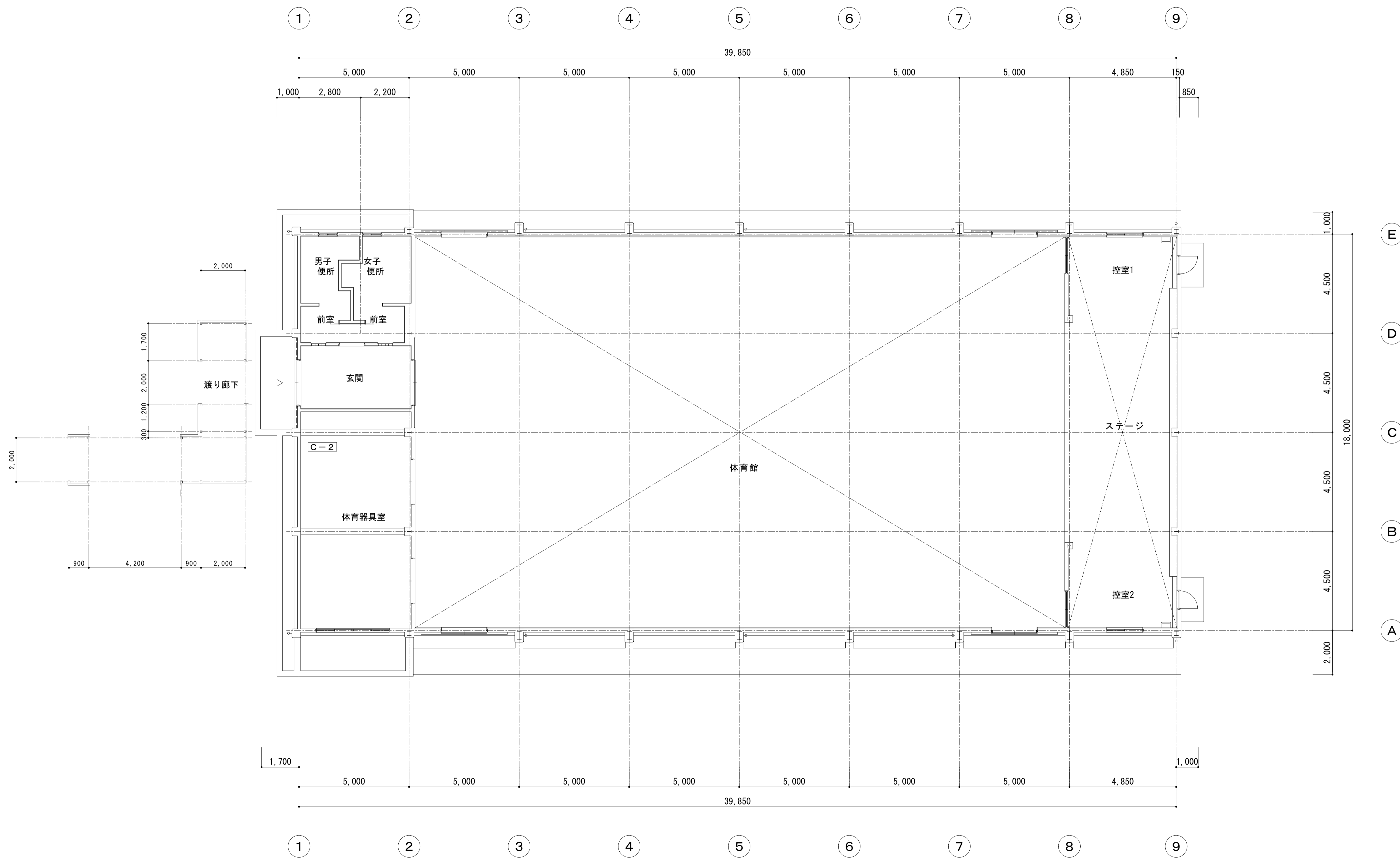
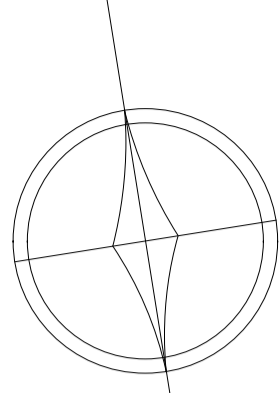
内部仕上表(改修)		
体育器具室→みんなのトイレ		
記号	仕上	
床 (F-4)	下地補修、長尺シートt2	
巾木 (B-2)	ソフト巾木H100	
壁 (W-2)	軽量鉄骨壁下地65形、珧合板t12、化粧珧合板一部珧合板t20、化粧珧合板t6	
天井 (C-2)	化粧珧合板t9.5 軽量鉄骨天井下地共	
廻縁 (M-1)	塩ビ製	

内部仕上表(改修)		
玄関ホール		
記号	仕上	
床 (F-5)	下地補修、長尺シートt2.5	
巾木 (B-3)	既存の上EP	
壁 (W-3)	下地調整、防水形複層塗材E	



既存

真北



内部仕上表 (既存)

		体育器具室	
記号	仕上		
天井	C-2	コンクリート打放補修	
廻縁	M-1	なし	

1階天井伏図 (既存) 1/100

海老名市
Ebina City



図面名称 1階天井伏図 (既存)

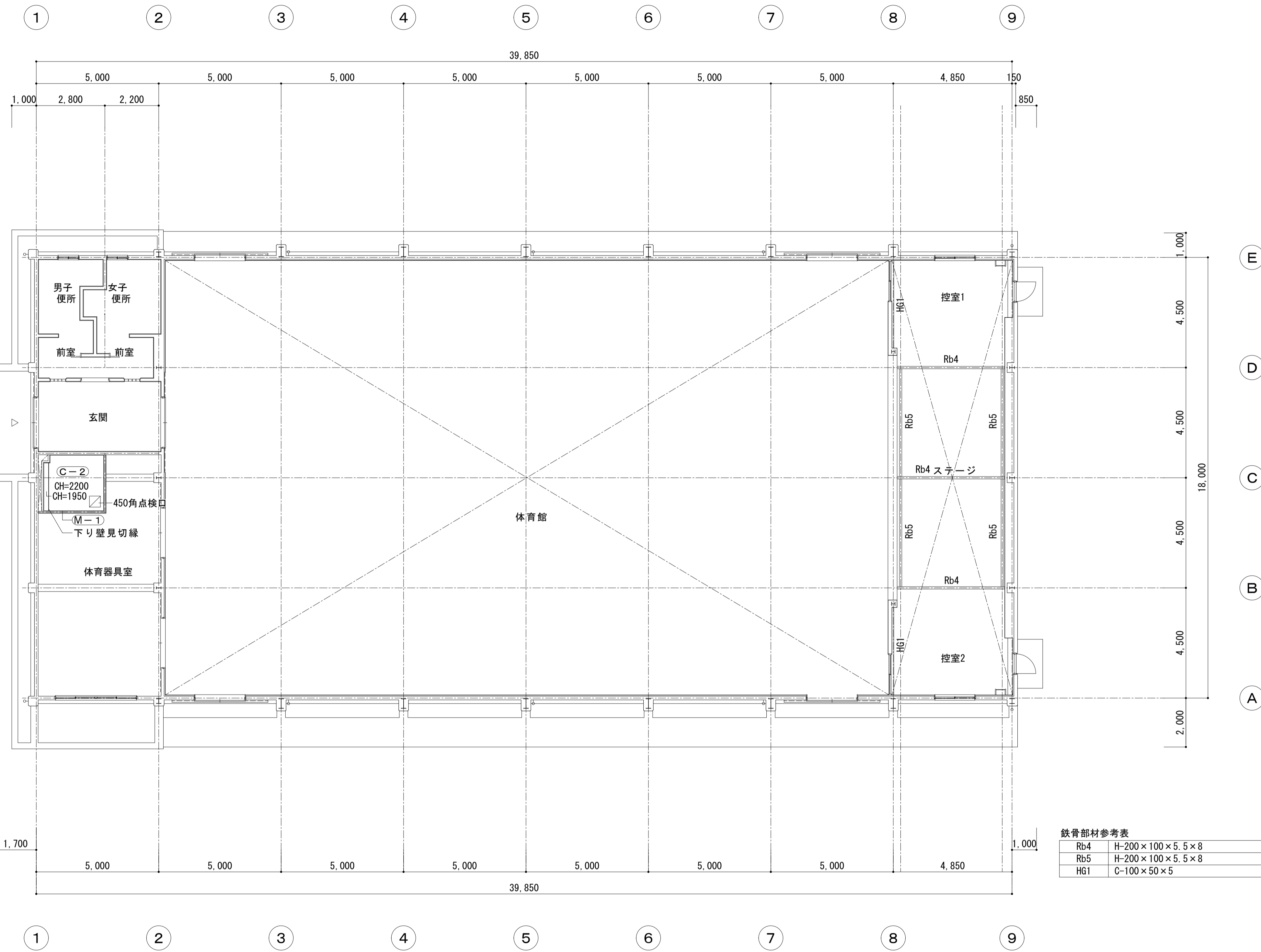
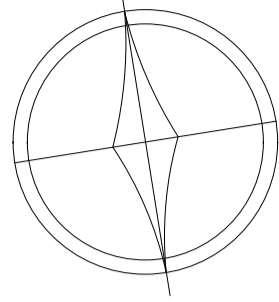
縮尺 S=1:100

工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号

A-21

真北



鉄骨部材参考表

Rb4	H-200×100×5.5×8
Rb5	H-200×100×5.5×8
HG1	C-100×50×5

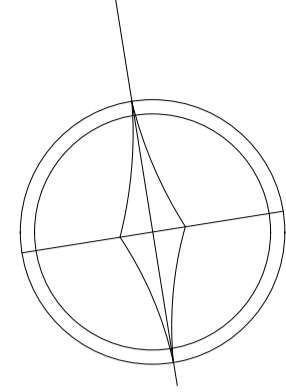
内部仕上表(改修)

体育器具室→一部のトイレ	
記号	仕上
天井 (C-2)	化粧石膏ボード 19.5 軽量鉄骨天井下地共
廻縁 (M-1)	塩ビ製

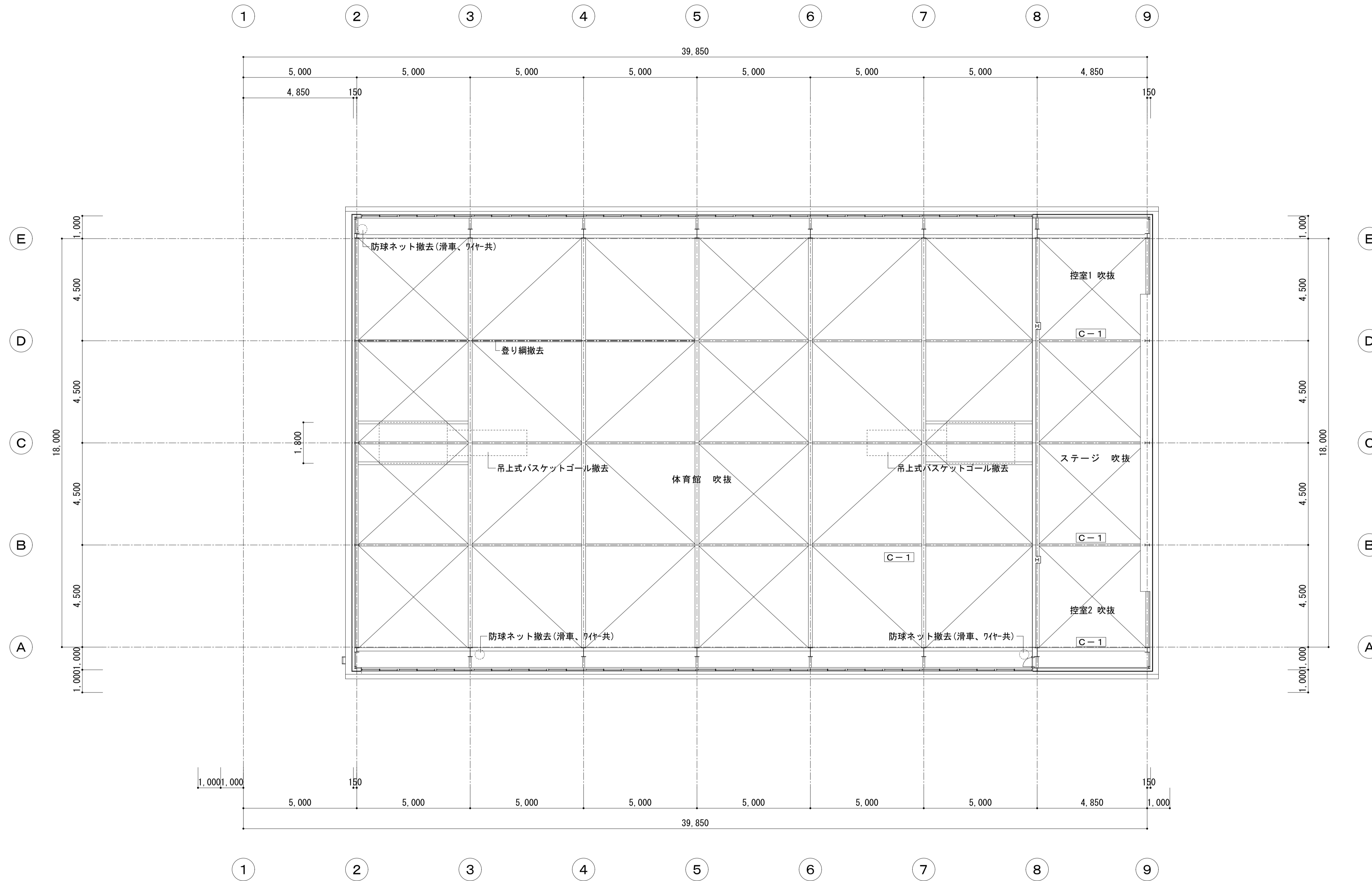
1階天井伏図(改修) 1/100



真北



既存



内部仕上表(既存)

体育室 ステージ 控室1,2		
記号	仕上	
天井	C-1	鉄骨面OP 折版面断熱材裏打t4

2階天井伏図(既存) 1/100

海老名市
Ebina City



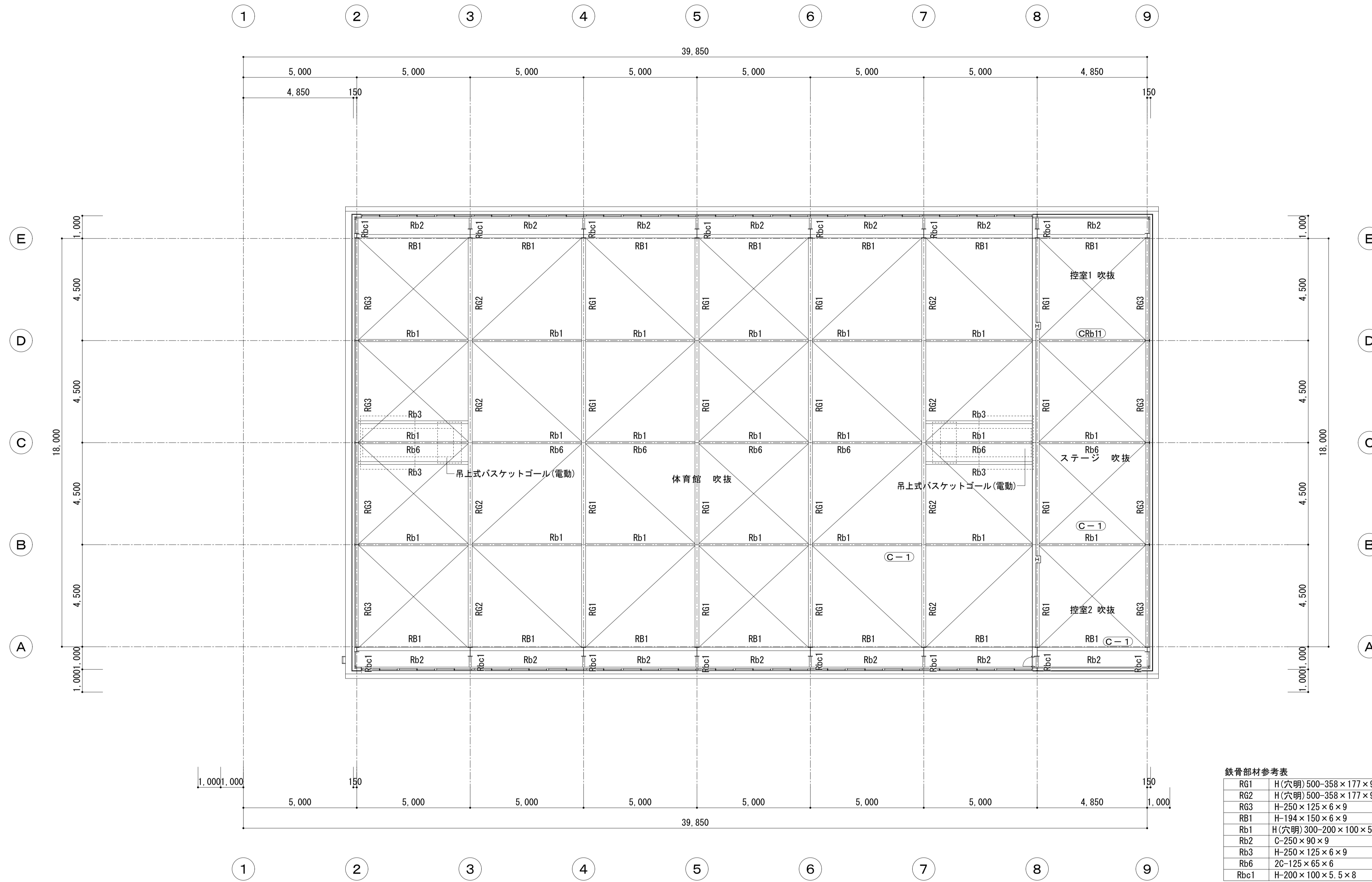
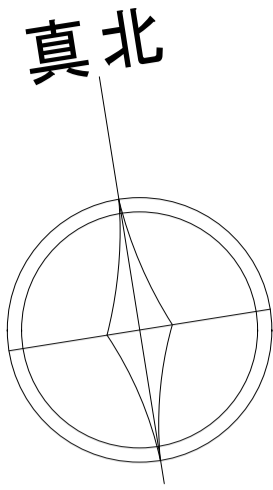
図面名称 2階天井伏図(既存)

縮尺 S=1:100

工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号

A-23



鉄骨部材参考表

RG1	H(穴明) 500-358 × 177 × 9 × 15
RG2	H(穴明) 500-358 × 177 × 9 × 15
RG3	H-250 × 125 × 6 × 9
RB1	H-194 × 150 × 6 × 9
Rb1	H(穴明) 300-200 × 100 × 5.5 × 8
Rb2	C-250 × 90 × 9
Rb3	H-250 × 125 × 6 × 9
Rb6	2C-125 × 65 × 6
Rbc1	H-200 × 100 × 5.5 × 8

フレース: φ16

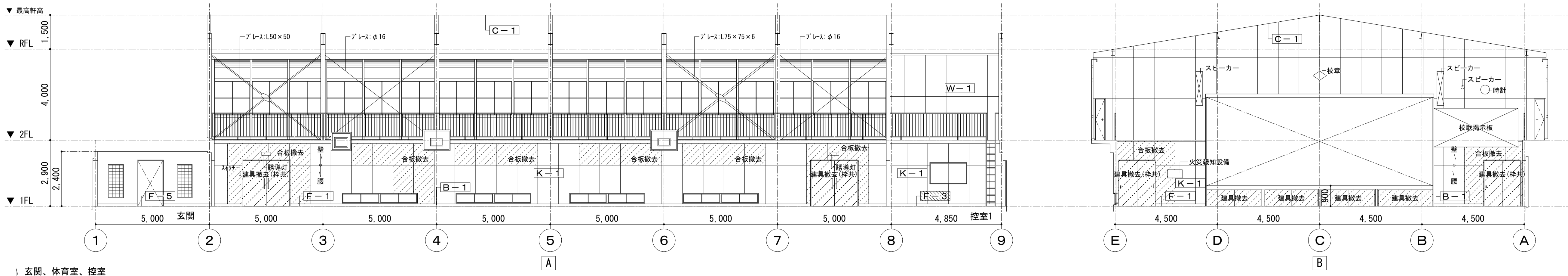
内部仕上表(改修)

体育室 ステージ 控室1.2	
記号	仕上
天井 (C-1)	鉄骨面: 既存の上鎖止DP 折版面: 既存のまま

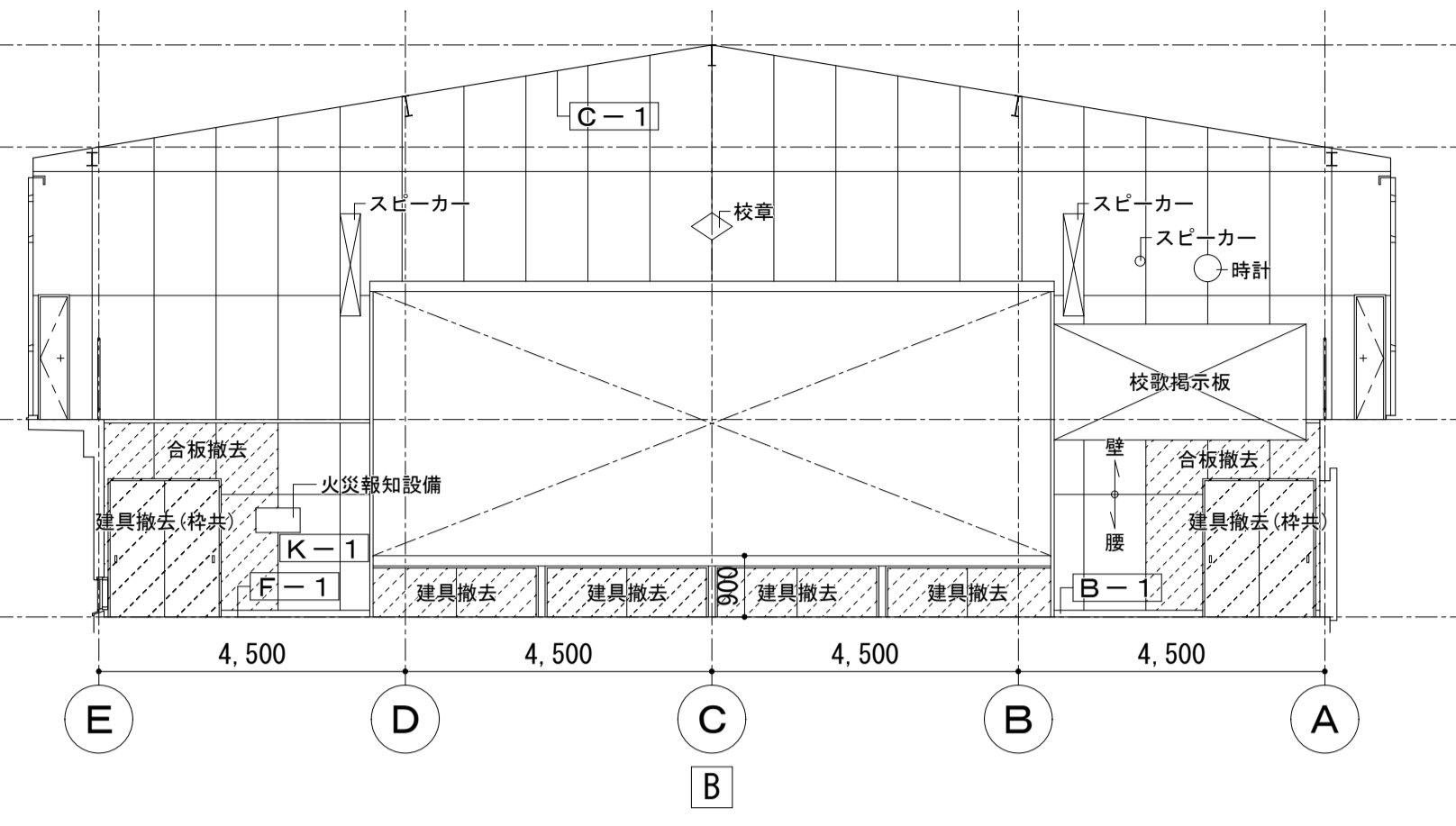
※折版面の断熱材裏打t4の補修を5%程度見込む

2階天井伏図(改修) 1/100



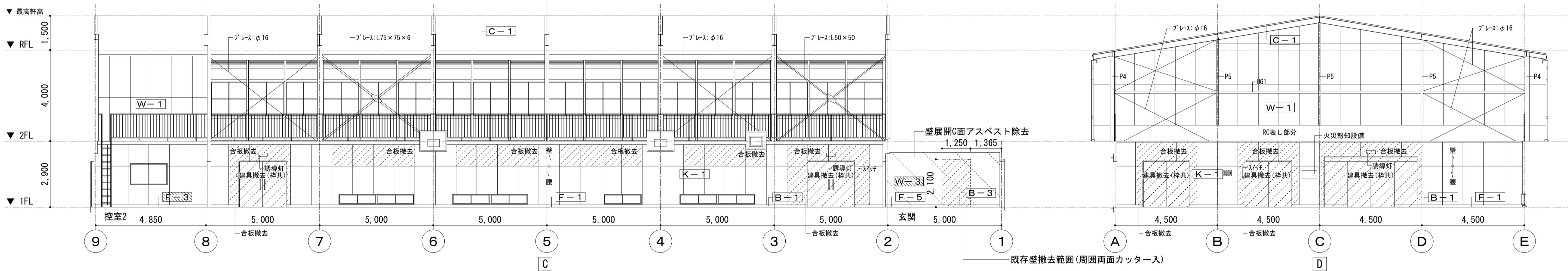


玄関、体育室、控室

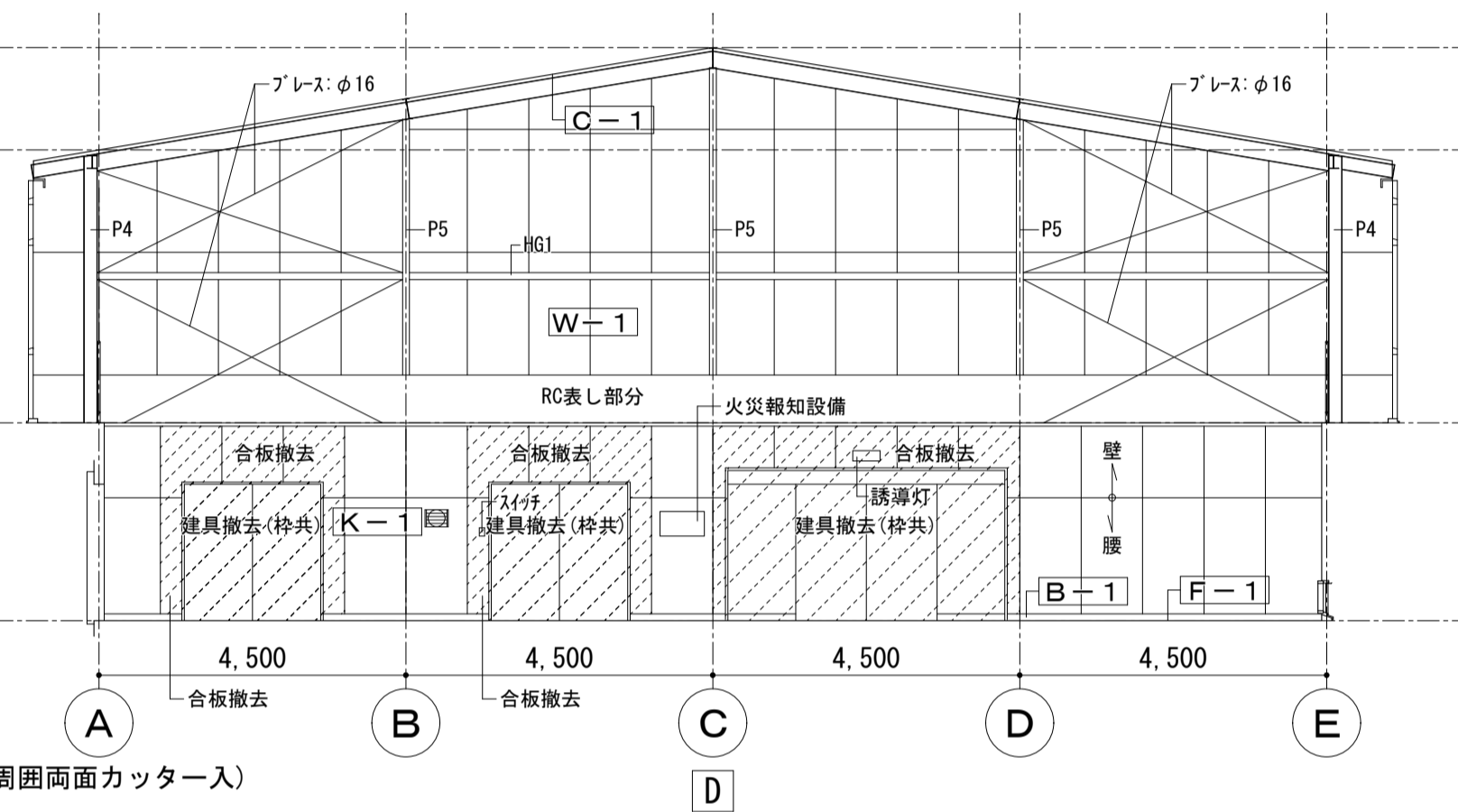


鉄骨部材参考表

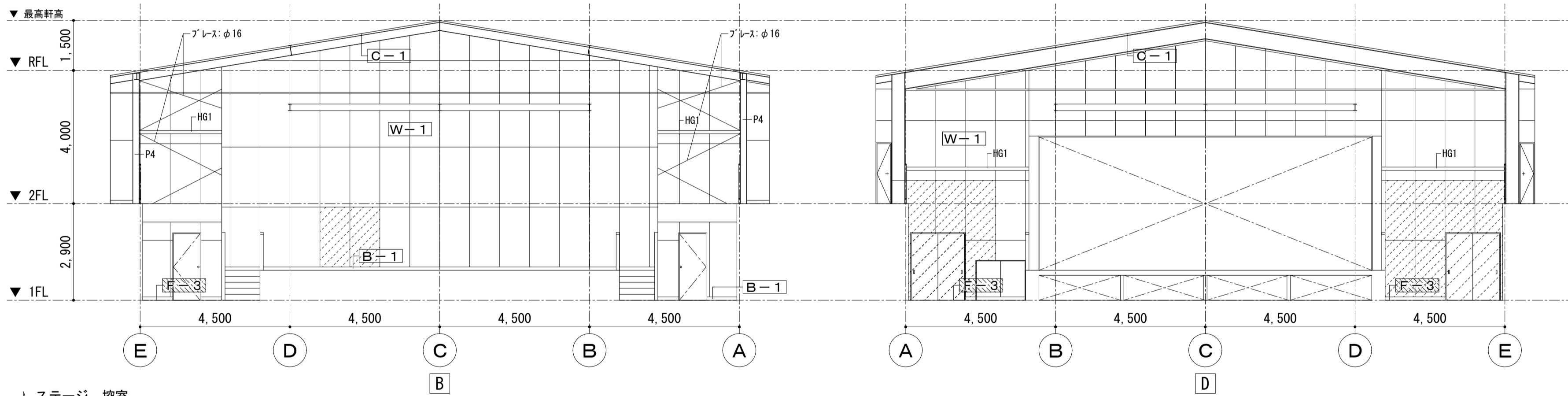
P4	H-200×200×8×12
P5	H-200×100×5.5×8
HG1	C-100×50×5



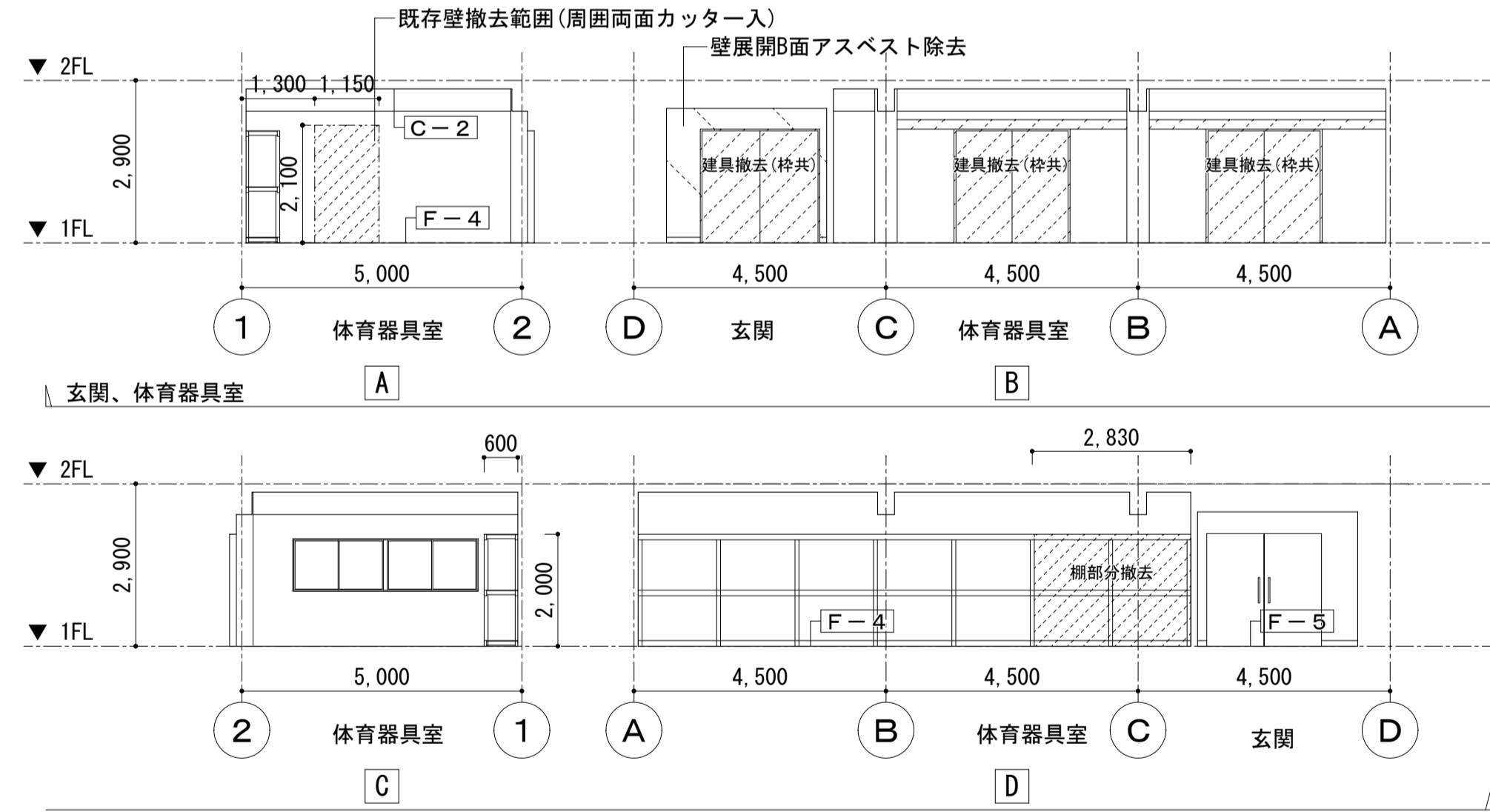
既存壁撤去範囲(周囲両面カッター入)



既存壁撤去範囲(周囲両面カッター入)



ステージ、控室



内部仕上表(既存) 体育室

記号	仕上
F-1	ベニア合板t15 撤去 鋼製床下地共 カチフロリング t18 撤去
B-1	ラワンt30 H100 OP塗
K-1	珪藻合板(T-2)t9 OP目透し 一部 撤去
W-1	珪藻合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去
C-1	鉄骨面OP 折版下端表し

内部仕上表(既存) ステージ

記号	仕上
F-2	ベニア合板t15 木製床下地 カチフロリング t18 撤去
B-1	ラワンt30 H100 OP塗
W-1	珪藻合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去
C-1	鉄骨面OP 折版下端表し

内部仕上表(既存) 控室1、2

記号	仕上
F-3	モルタル金ゴテ、ビニールクロスt2.5 撤去
B-1	ラワンt30 H100 OP塗
W-1	珪藻合板(T-2)t6 OP目透し 一部 撤去
C-1	鉄骨面OP 折版下端表し

内部仕上表(既存) 体育器具室

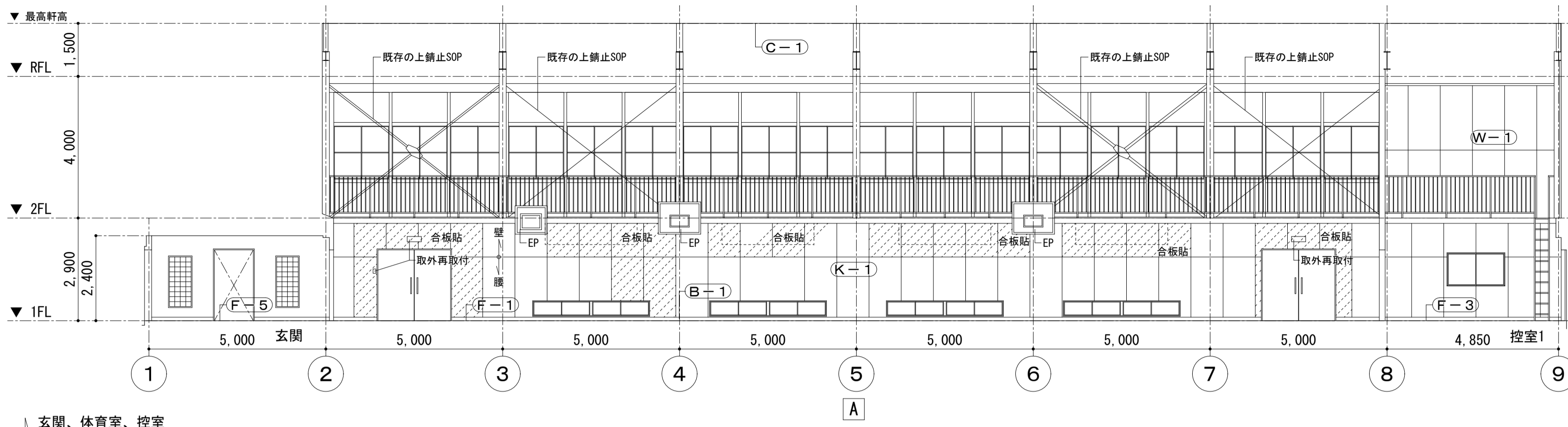
記号	仕上
F-4	コンクリート金ゴテ面均し
B-2	なし
W-2	コンクリート打放補修
C-2	コンクリート打放補修
M-1	なし

内部仕上表(既存) 玄関ホール

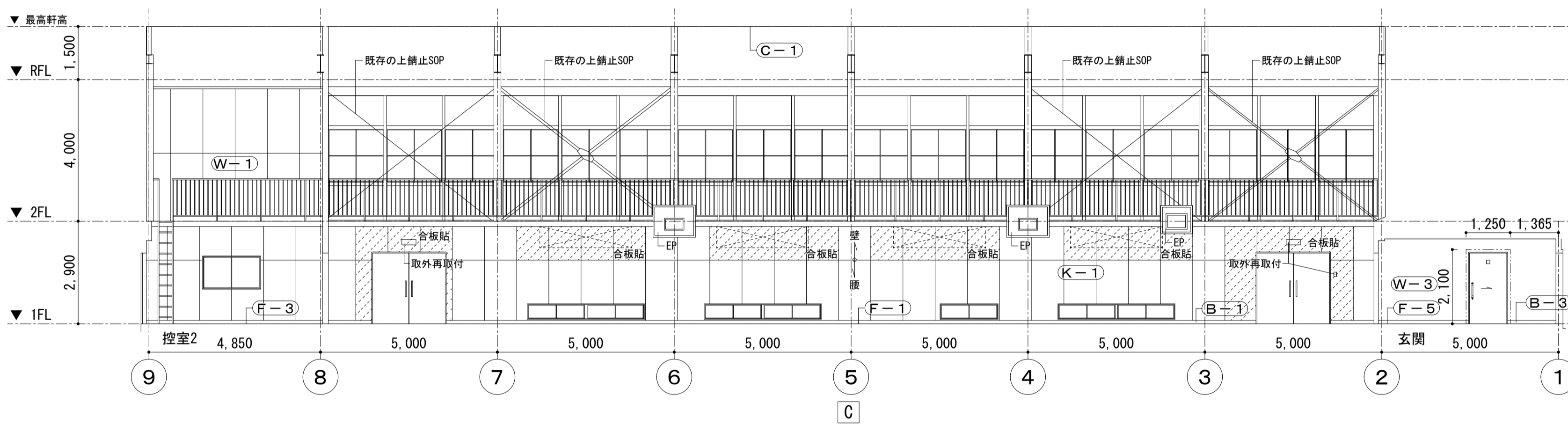
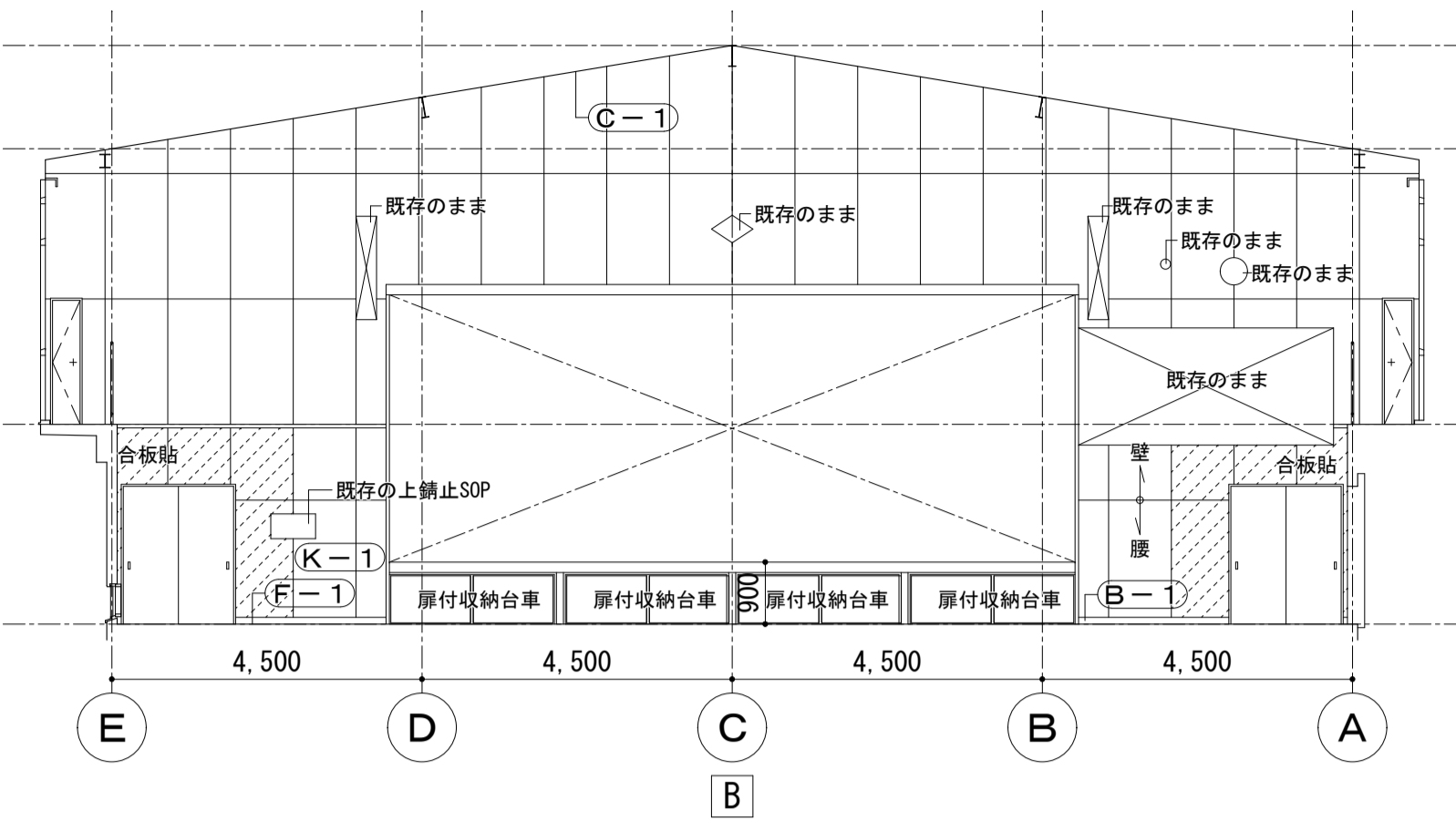
記号	仕上
F-5	モルタル金ゴテ、長尺シートt2.5 撤去
B-3	モルタル金ゴテEP H100一部 撤去
W-3	モルタル金ゴテ、改付片一部撤去(一部1ヶ所撤去)

凡例
 撤去範囲を示す
 はアスベスト含有成形板を示す。適切な処分を施す。

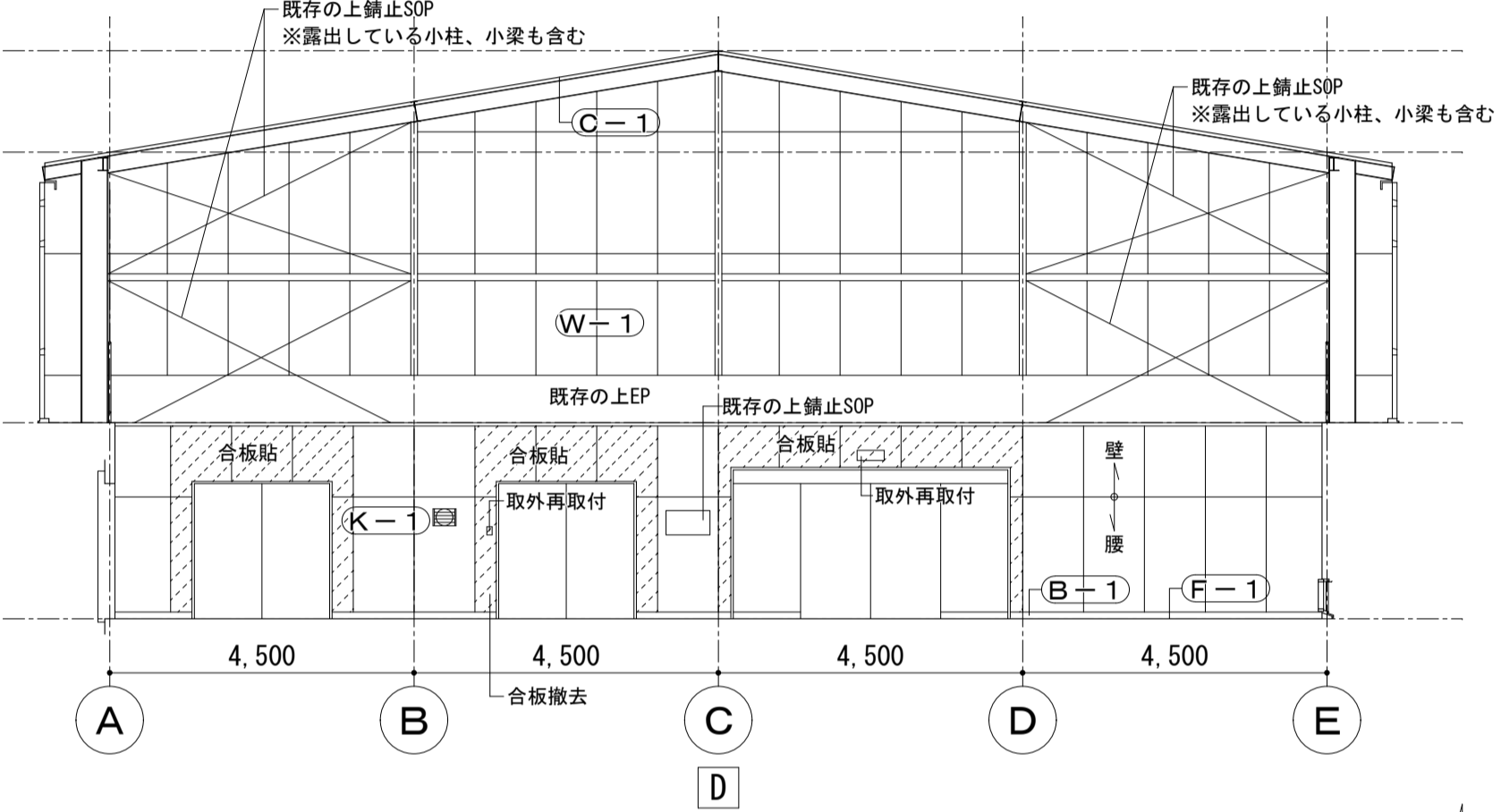
改修



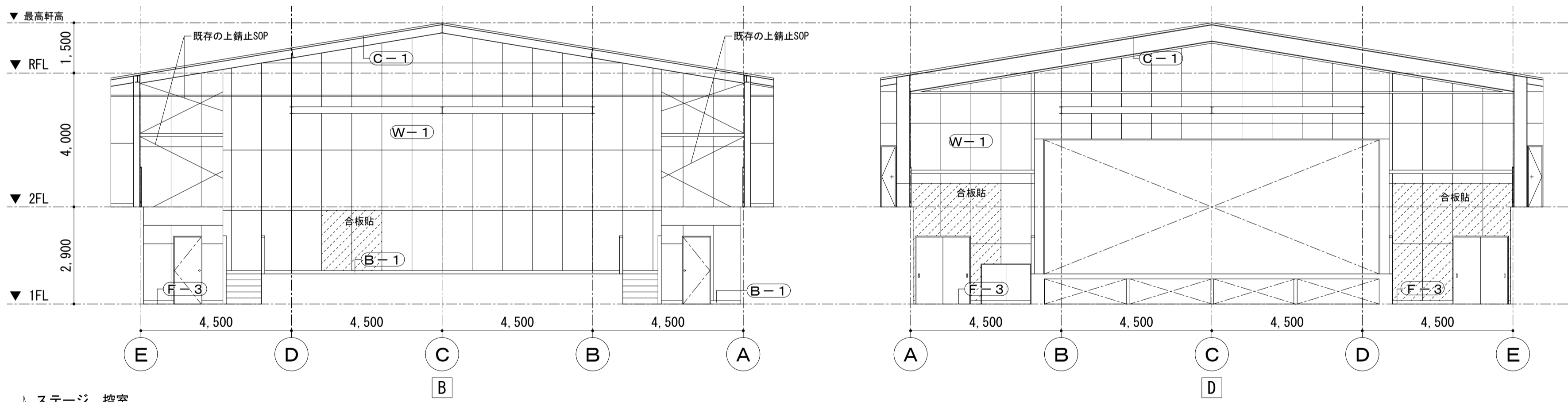
玄関、体育室、控室



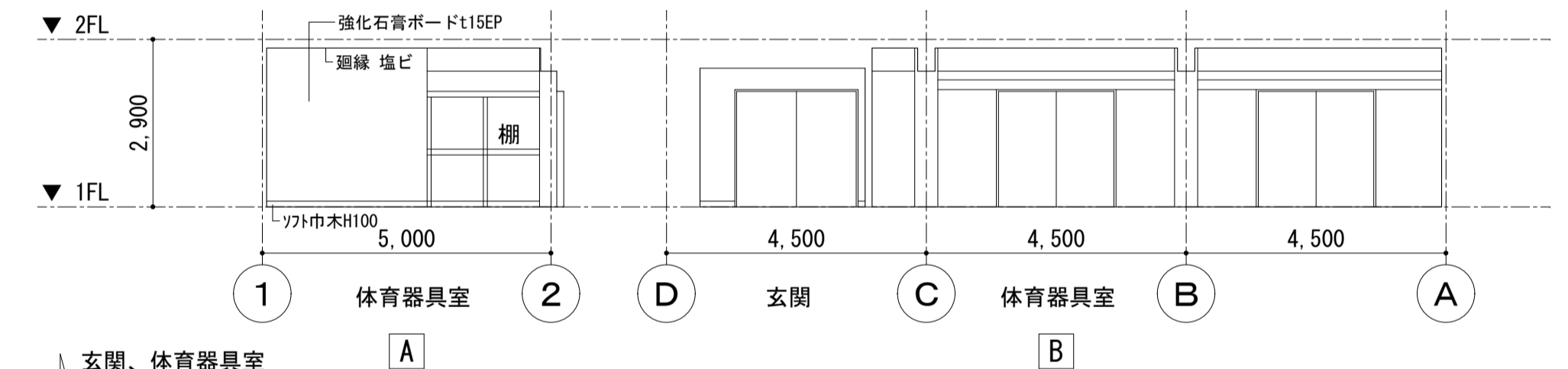
C



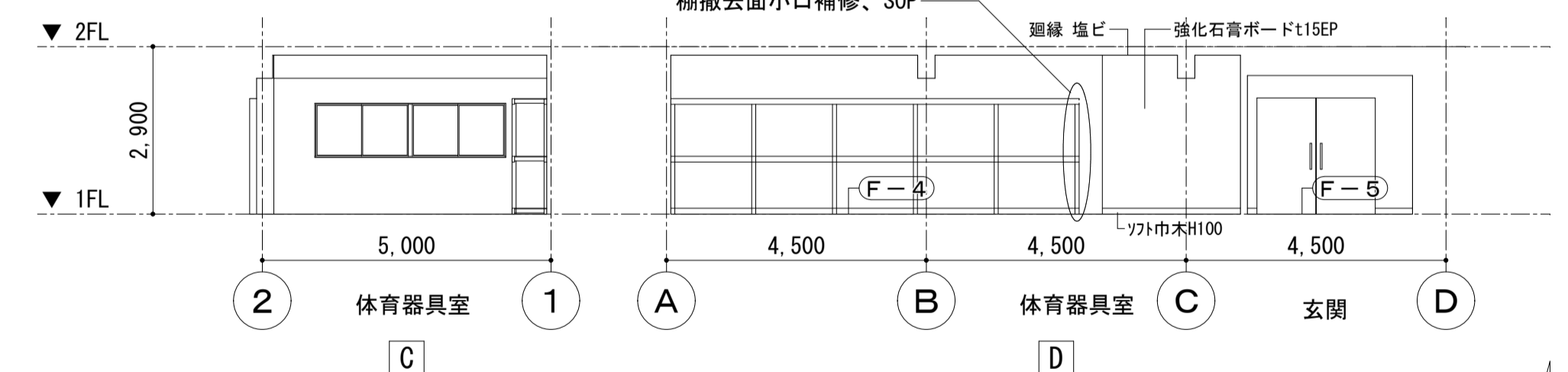
D



ステージ、控室



玄関、体育器具室



C

内部仕上表(改修)

記号	体育室	仕上
(F-1)	床	強化石膏ボードt12・鋼製床下地、MGP・MGP・t18、MGP・掛、MGP・リット塗装
(B-1)	巾木	既存の上SOP
(K-1)	腰	7mm合板(T-2)t9 一部 新設SOP及び既存の上SOP
(W-1)	壁	7mm合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP
(C-1)	天井	鉄骨面:既存の上止りDP 折版面:既存のまま

内部仕上表(改修)

記号	ステージ	仕上
(F-2)	床	既存の上サリ・掛、MGP・リット 塗装
(B-1)	巾木	既存の上SOP
(W-1)	壁	7mm合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP
(C-1)	天井	鉄骨面:既存の上止りDP 折版面:既存のまま

内部仕上表(改修)

記号	控室1、2	仕上
(F-3)	床	下地補修、長尺シートt2
(B-1)	巾木	既存の上SOP
(W-1)	壁	7mm合板(T-2)t6 一部 新設SOP及び既存の上SOP
(C-1)	天井	鉄骨面:既存の上止りDP 折版面:既存のまま

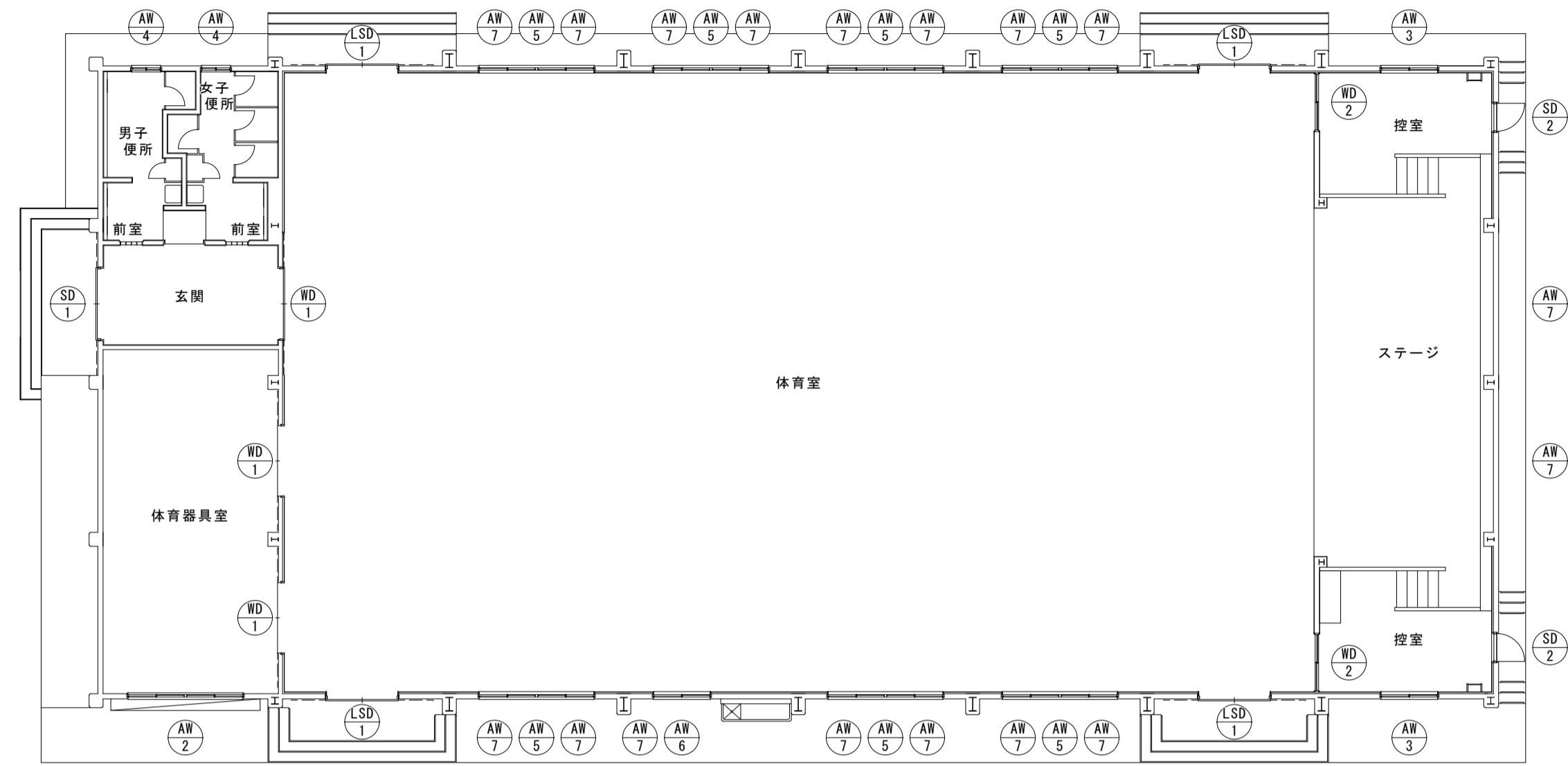
内部仕上表(改修)

記号	体育器具室→みんなのトイレ	仕上
(F-4)	床	下地補修、長尺シートt2
(B-2)	巾木	ソフト巾木H100
(W-2)	壁	軽量鉄骨下地65厚、耐水合板t12、化粧石膏ボードt6一部t9・t12、化粧石膏ボードt6
(C-2)	天井	化粧石膏ボードt9.5 軽量鉄骨天井下地共
(M-1)	廻縁	塩ビ製

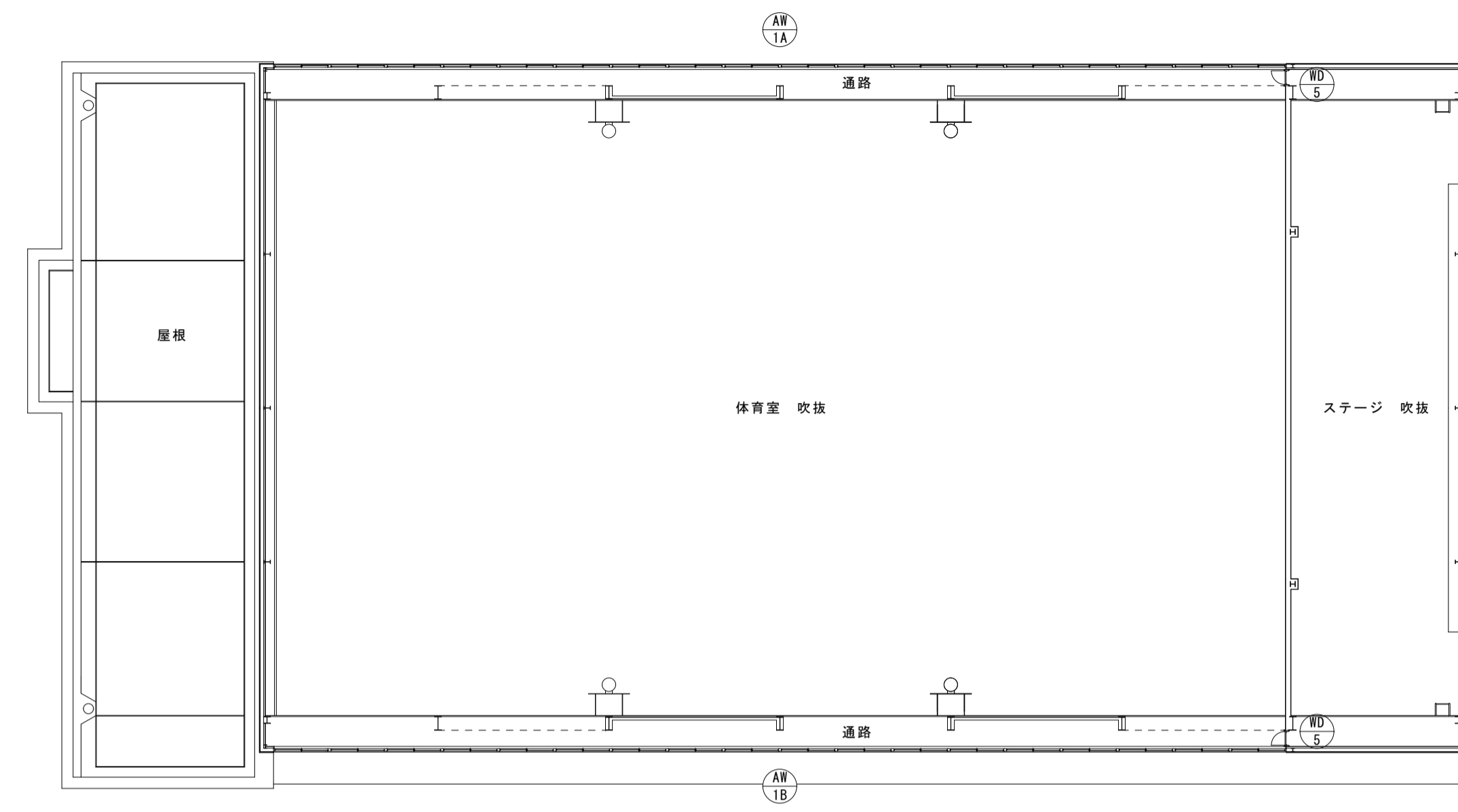
内部仕上表(改修)

記号	玄関ホール	仕上
(F-5)	床	下地補修、長尺シートt2.5
(B-3)	巾木	既存の上EP
(W-3)	壁	下地調整、防水形複層塗材E





1階建具キープラン



2階建具キープラン

記号・形式	場所	数量	AW 1A	AW 1B	18連・ガラリ・ハメ殺し付引き違いアルミサッシ	通路	AW1A:1 AW1B:1
形状・寸法							
材料・仕上					7mmアイト		
枠 (見込)					70		
ガラス					網入りガラス t=6.8		
金物					水切、アングル、附属金物一式		
備考					カバー工法改修のため撤去		

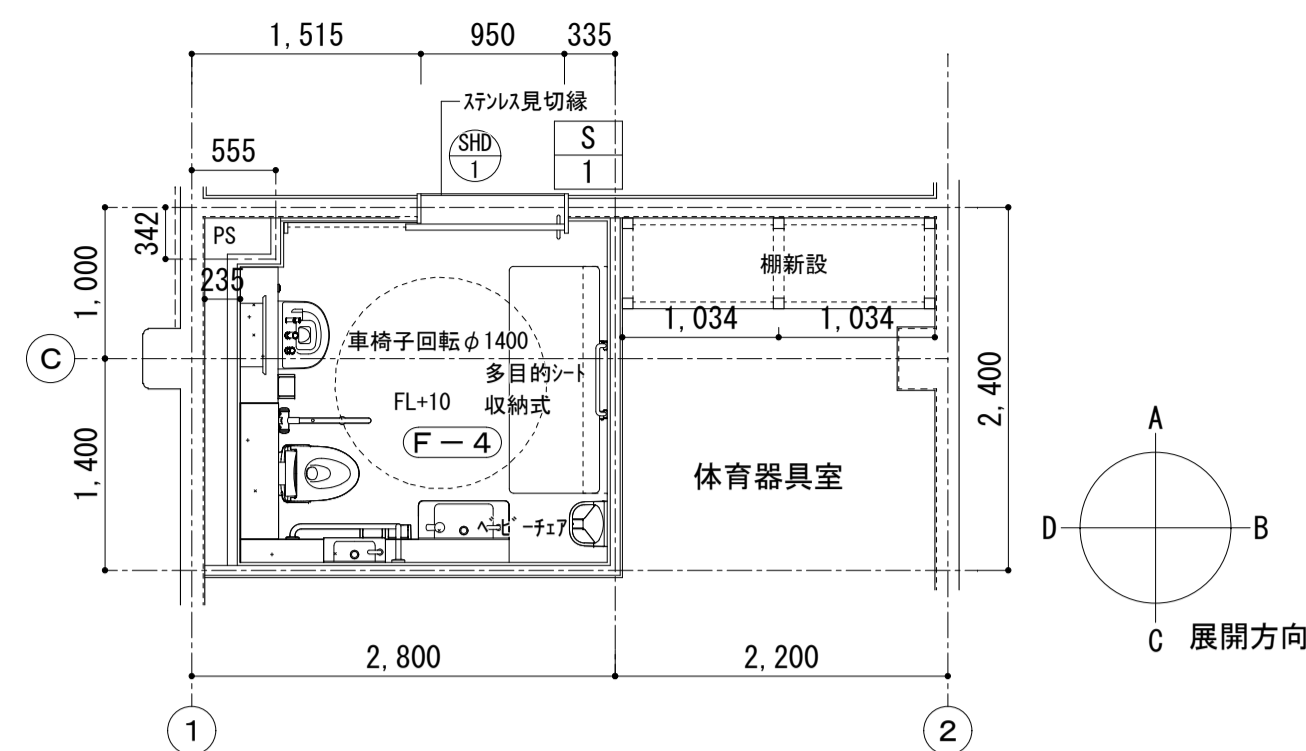


記号・形式	場所	数量	AW 1A	18連・ガラリ・ハメ殺し付引き違いアルミサッシ	通路	1	
形状・寸法						820 100 1,500 3,490 100 970	
材料・仕上	※図は外部から見た図とする アルミシルバー(カバー工法)						
柵(見込)	70						
ガラス	複層ガラスt=透明t3+A6+強化t4-部7ä21ä4ä4t3						
金物	水切、アングル、附属金物一式						
備考	カバー工法改修						

記号・形式	場所	数量	AW 1B	18連・ガラリ・ハメ殺し付引き違いアルミサッシ	通路	1	
形状・寸法						820 100 1,500 3,490 100 970	
材料・仕上	※図は外部から見た図とする アルミシルバー(カバー工法)						
柵(見込)	70						
ガラス	複層ガラスt=透明t3+A6+強化t4-部7ä21ä4ä4t3						
金物	水切、アングル、附属金物一式						
備考	カバー工法改修						

記号・形式	場所	数量	AW 2	2連引き違いアルミサッシ	体育室 器具室	1	AW 3	引き違いアルミサッシ	控室	2	AW 4	ガラリ・ハメ殺し付引き違いアルミサッシ	男子便所 女子便所	2	AW 5	2連引き違いアルミサッシ(サンドイッチパネル)	体育室	7	AW 7	アルミガラリ	体育室	17	LSD 1	引き分け鋼製ハンガードア →引き分け軽量鋼製ハンガードア	体育室 LSD-1	4
形状・寸法																										
材料・仕上	アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		アルマイト		スチール・SOP		スチール・SOP			
柵(見込)	70		70		70		70		70		70		70		70		70		70		40		38			
ガラス	網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		網入りガラス		既		改			
金物	水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		水切、アングル、附属金物一式		引手、打掛金物、南京錠、ハンガーレール、ガイドレール、下柵		SUS引手L450、錠前、引手(内側付)ハンガーレール、ガイドレール、下柵		軽量鋼製建具新設			
備考	建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		既		改			

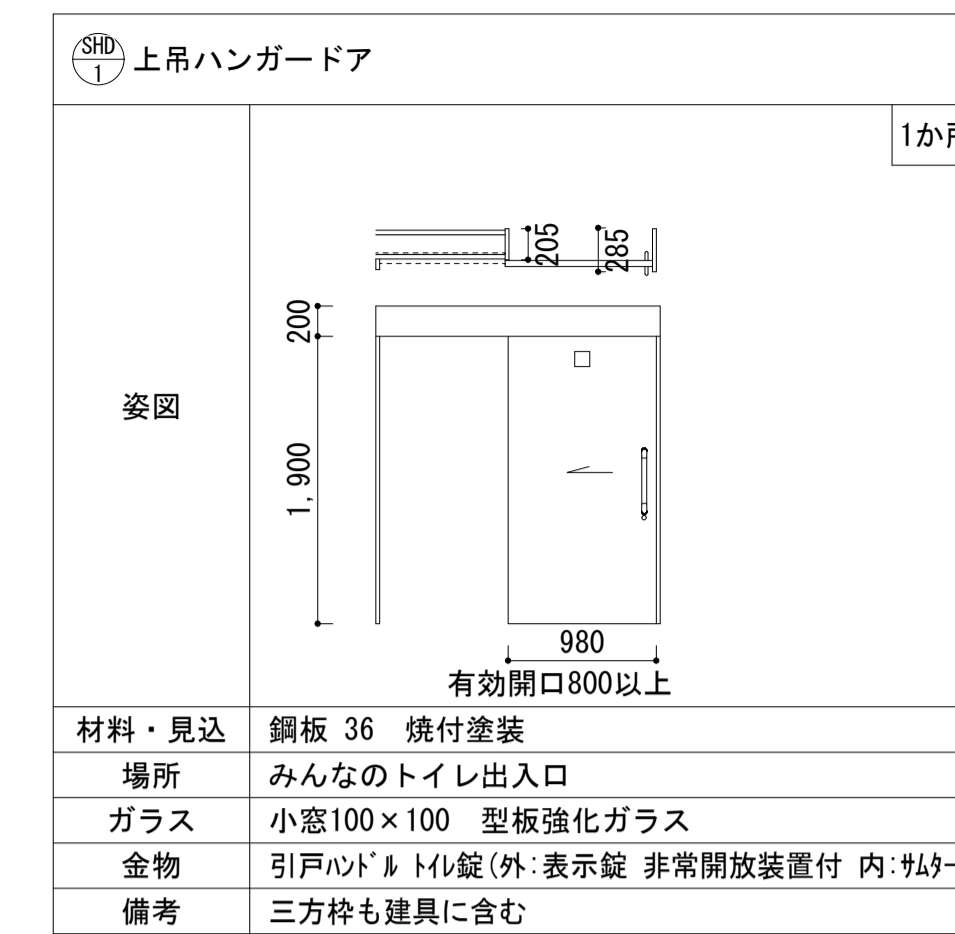
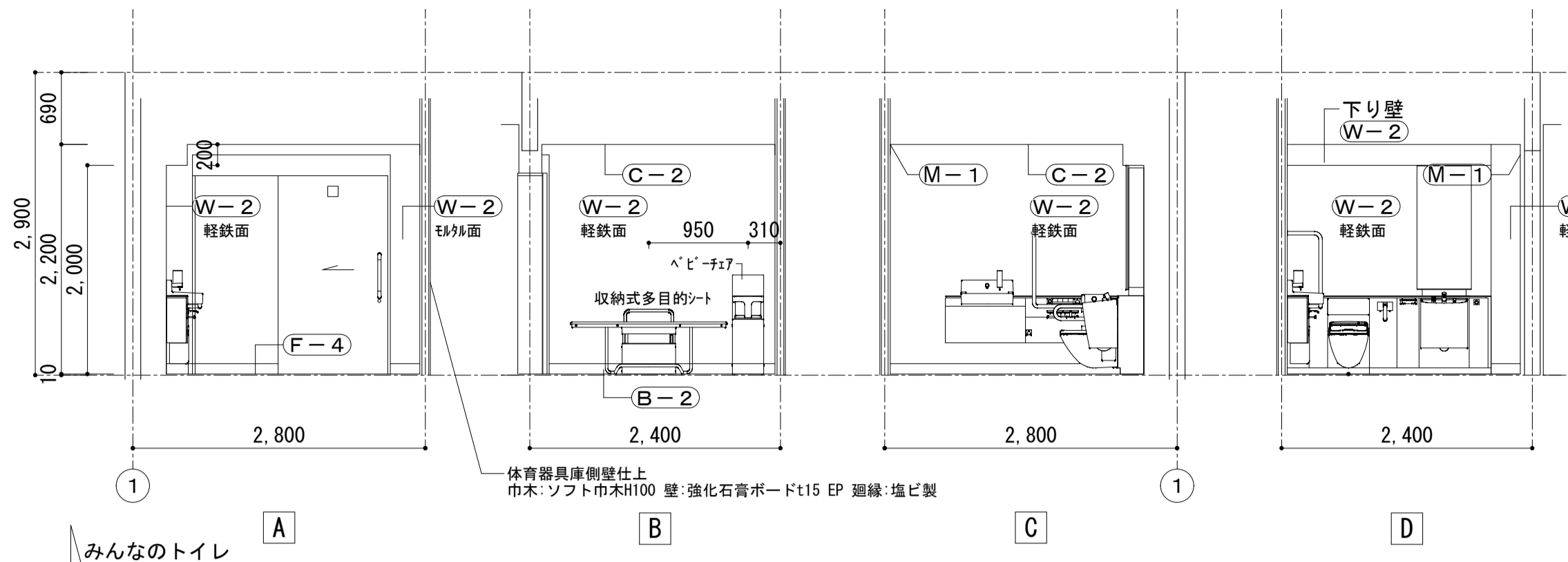
記号・形式	場所	数量	SD 1	引き分け鋼製ハンガードア	玄関 SD-1	1	SD 2	片開き鋼製フラッシュドア	控室 SD-2	2	WD 1	引き分け木製ハンガードア	器具室 体育室	3	WD 2	額付、引き違い木製フラッシュドア	控室	2	WD 3	引き違い木製フラッシュドア	スチール下	4	WD 5	片開き木製フラッシュドア(ベニヤ)	通路	2
形状・寸法																										
材料・仕上	スチール・SOP→錆止の上DP		スチール・OP→錆止めの上DP		木製・OP		木製・SOP		木製・OP		木製・SOP		木製・OP		木製・OP											
柵(見込)	40		86		50		50		40		40		40		30											
ガラス	既		改		既		改		既		改		既		改											
金物	引手、打掛金物、南京錠、ハンガーレール、ガイドレール、下柵		シリンダー錠、丁番		引手、ガイドレール、ドアハンガー、トラックレール、戸当り、ストッパー、ブラケット		SUSTアハンドL450、ガイドレール、戸当り引分け運動装置		引手、底車		7ä21ä4ä4引手、戸車、SUS数層レール小口調整式上部ガイド		引手、底車		握玉、空錠、丁番											
備考	建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う		建具調整、清掃を行う											



※実際の平面及び高さ寸法等は現地を確認する事
みんなのトイレ平面図 1/50

内部仕上表 (改修)

体育器具室→みんなのトイレ	
記号	仕上
床 (F-4)	下地補修、長尺シートt2
巾木 (B-2)	ソフト巾木H100
壁 (W-2)	軽量鉄骨壁下地65形、耐水合板t12、化粧材t6一部t12、化粧材t6
天井 (C-2)	化粧石膏ボードt9.5 軽量鉄骨天井下地共
廻縁 (M-1)	塩ビ製



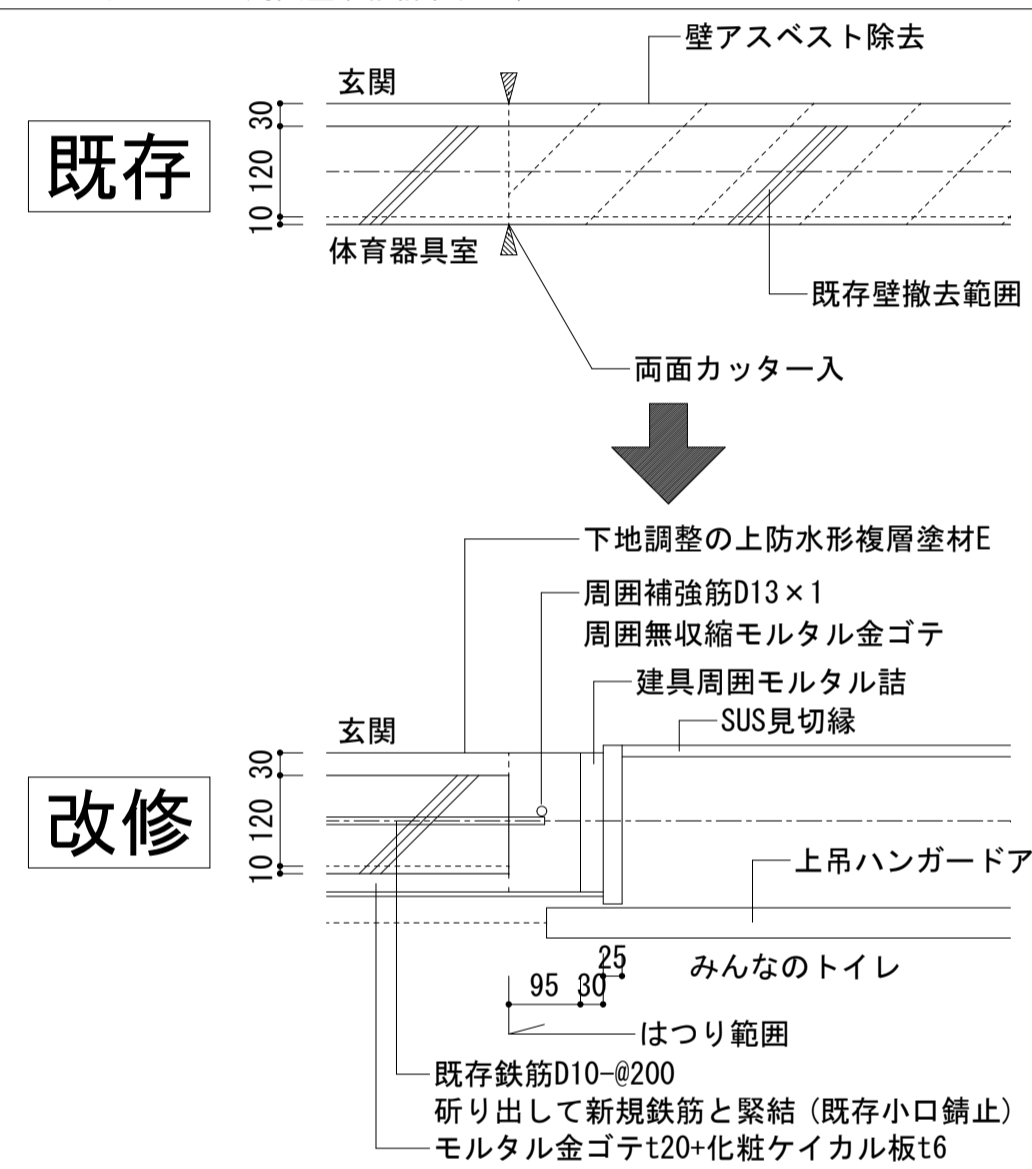
サイン表 1/10

記号	仕様	数量
S1	表示板:770L(704T) t=5 UV印刷	1

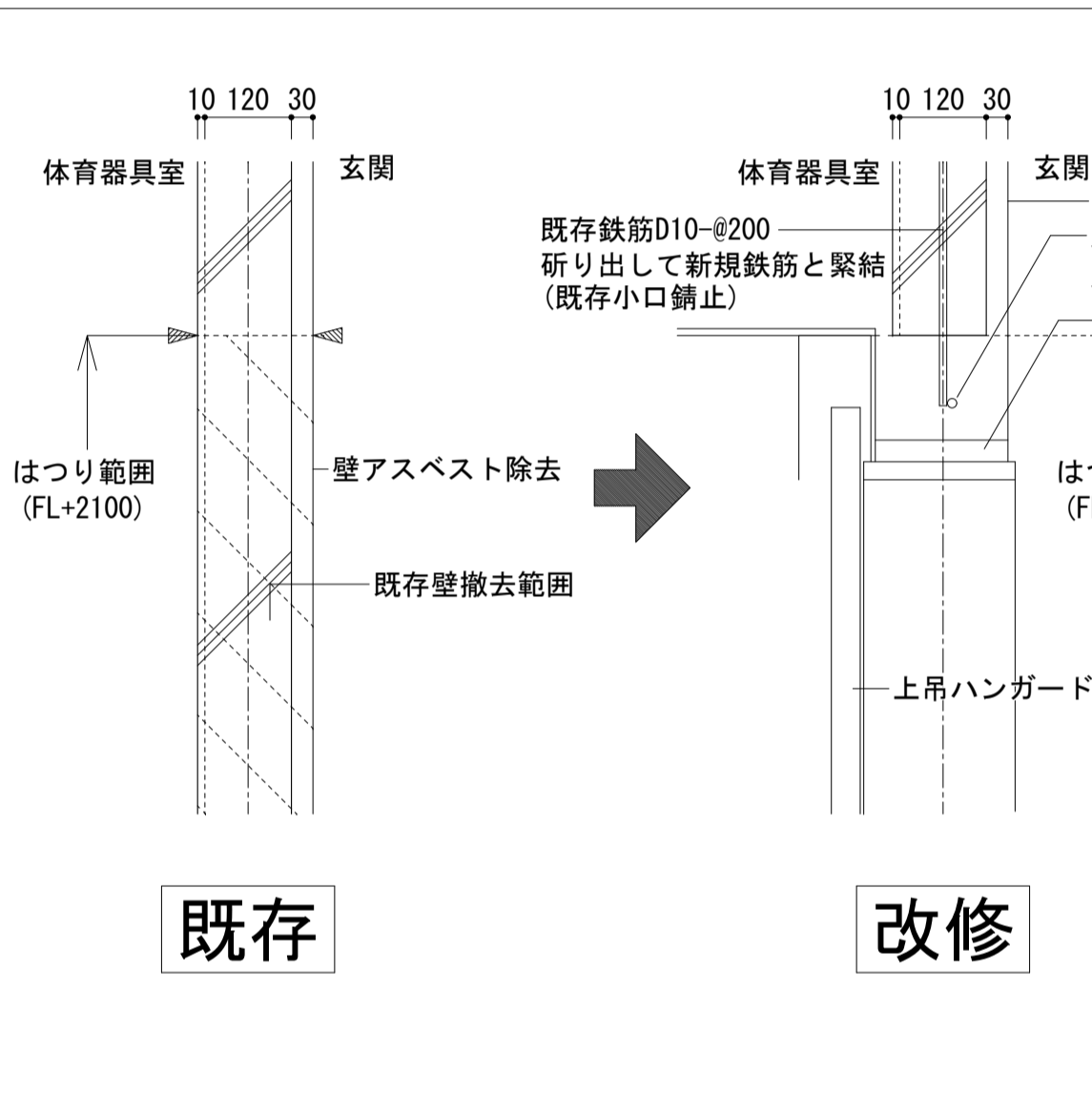
形式: ビクトサイン (平付型)
取付場所: みんなのトイレ前

※図・文字共に施工時に再確認をし、承諾を受ける

玄関-みんなのトイレ周囲壁改修詳細図 1/10

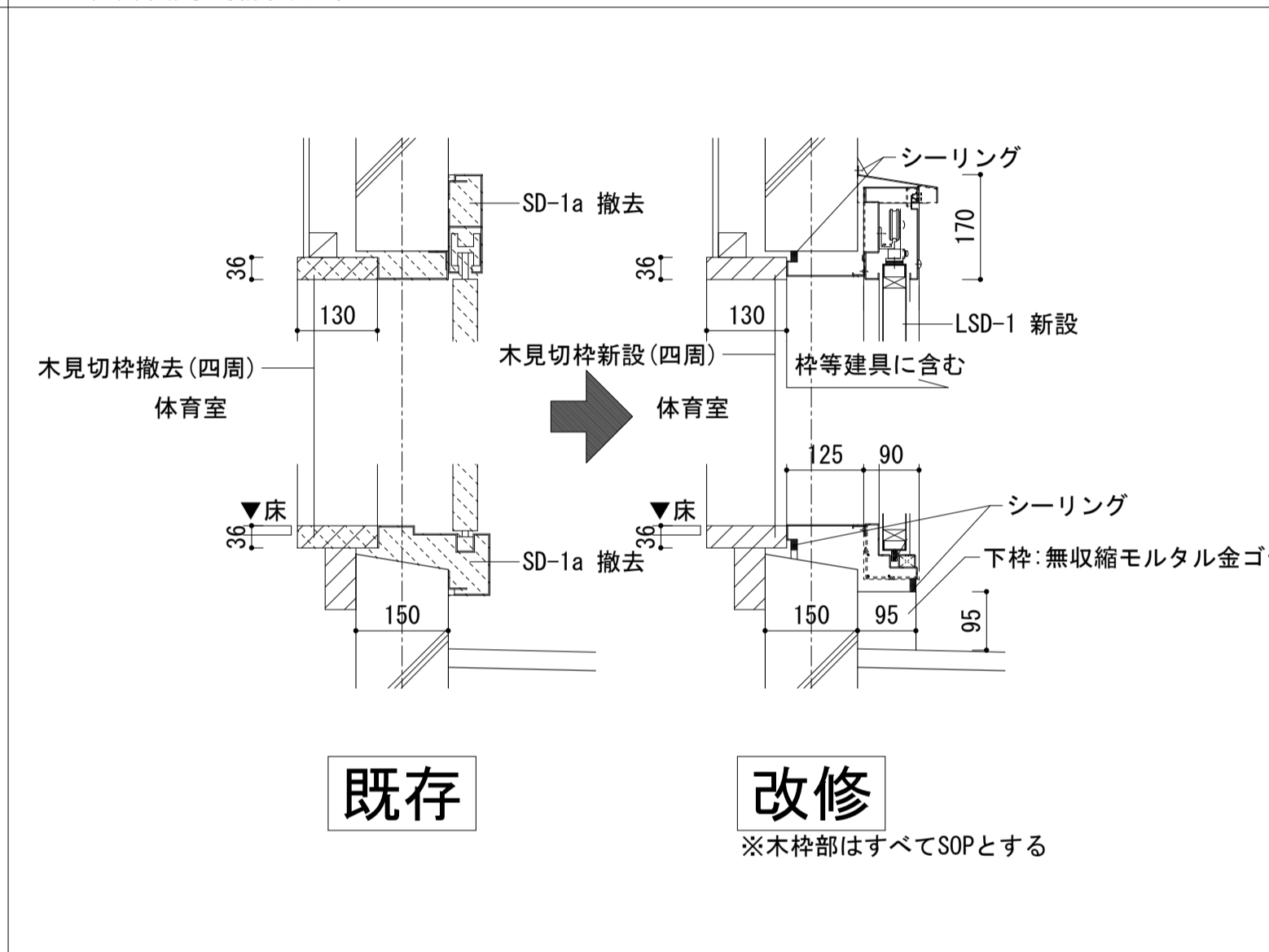


玄関-みんなのトイレ間壁平面詳細図 1/10



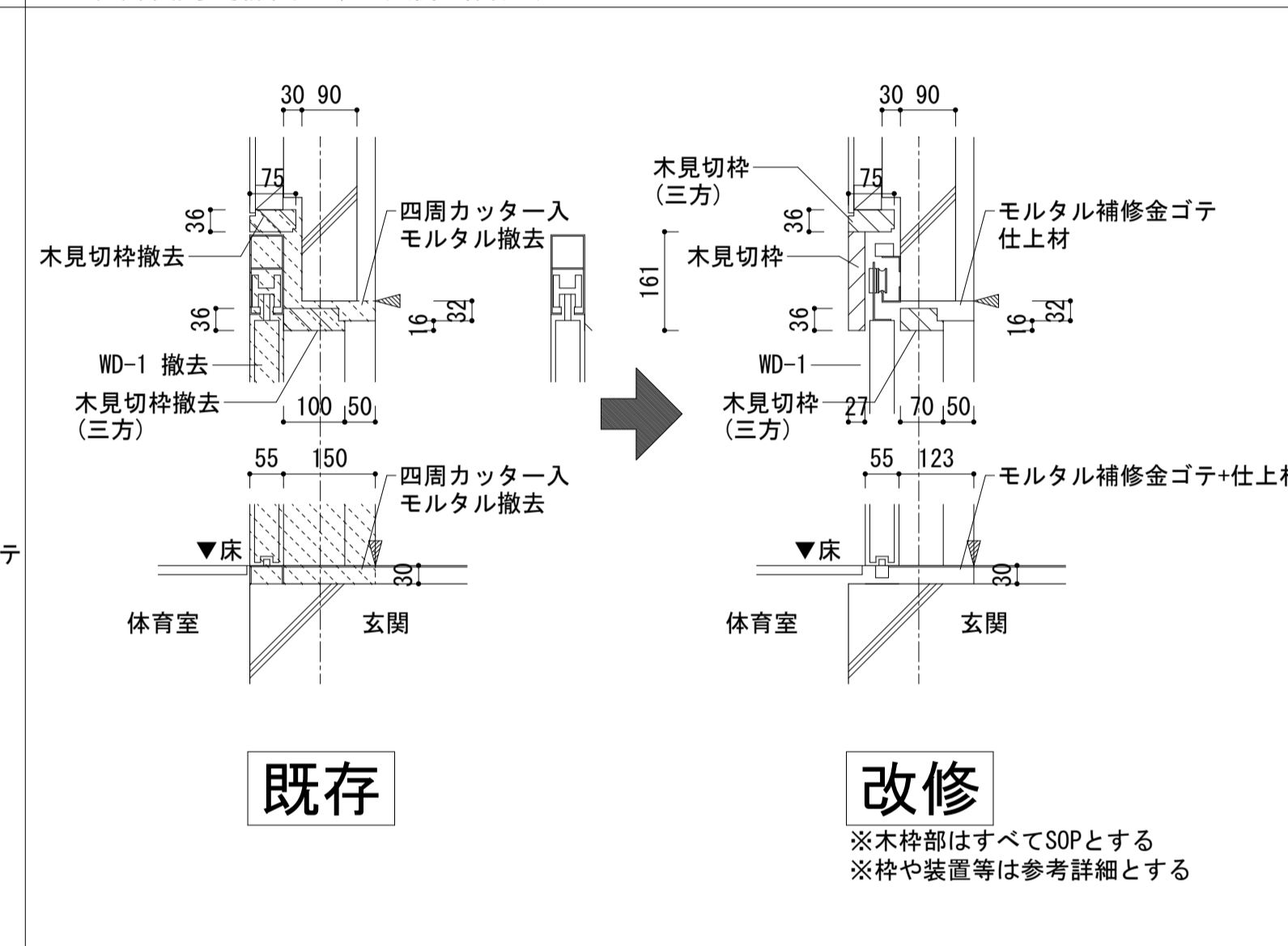
玄関-みんなのトイレ間壁断面詳細図 1/10

LSD-1建具改修参考詳細図 1/10



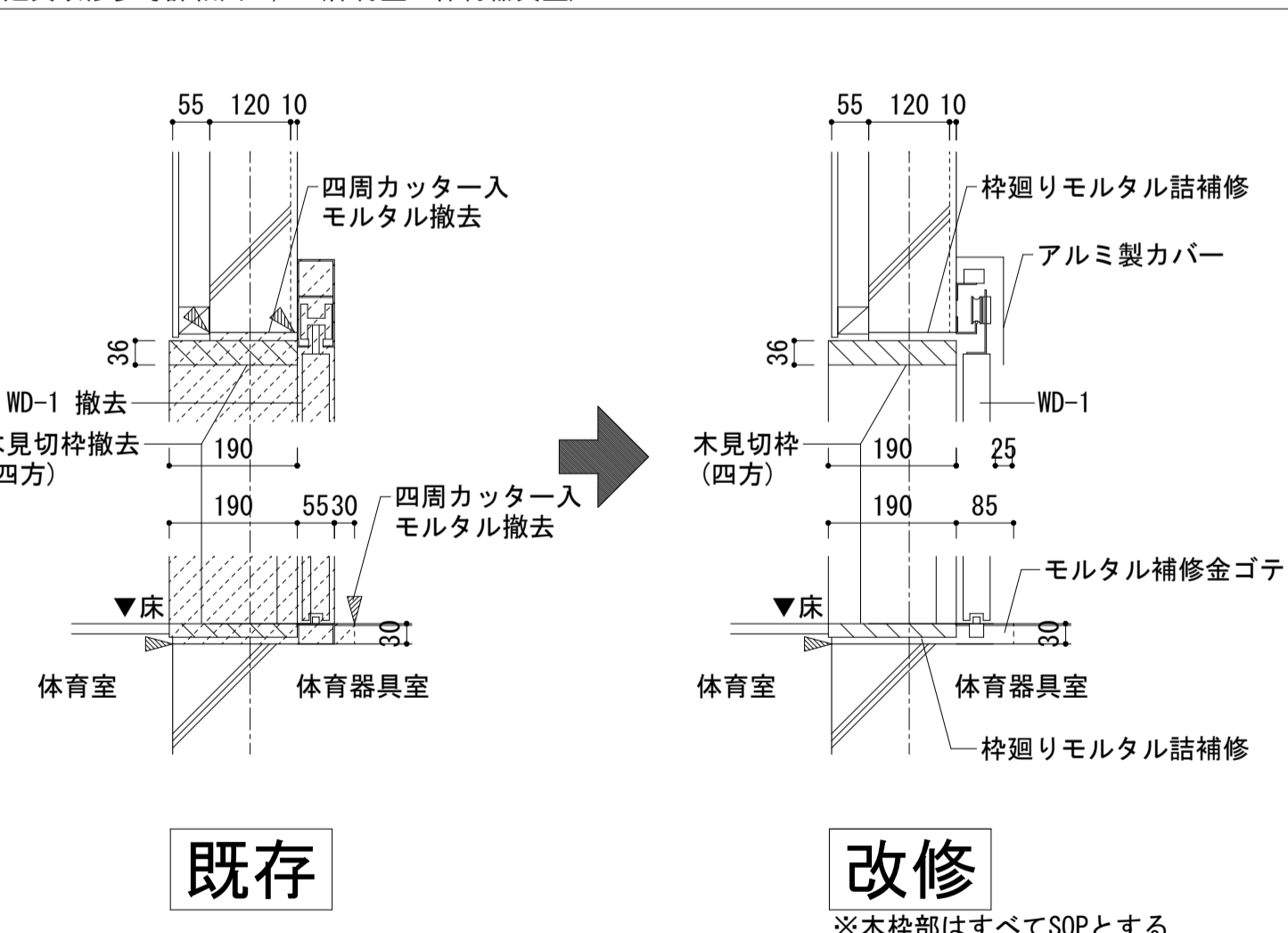
LSD-1改修詳細図 1/10

WD-1建具改修参考詳細図 1/10 (玄関~体育室)



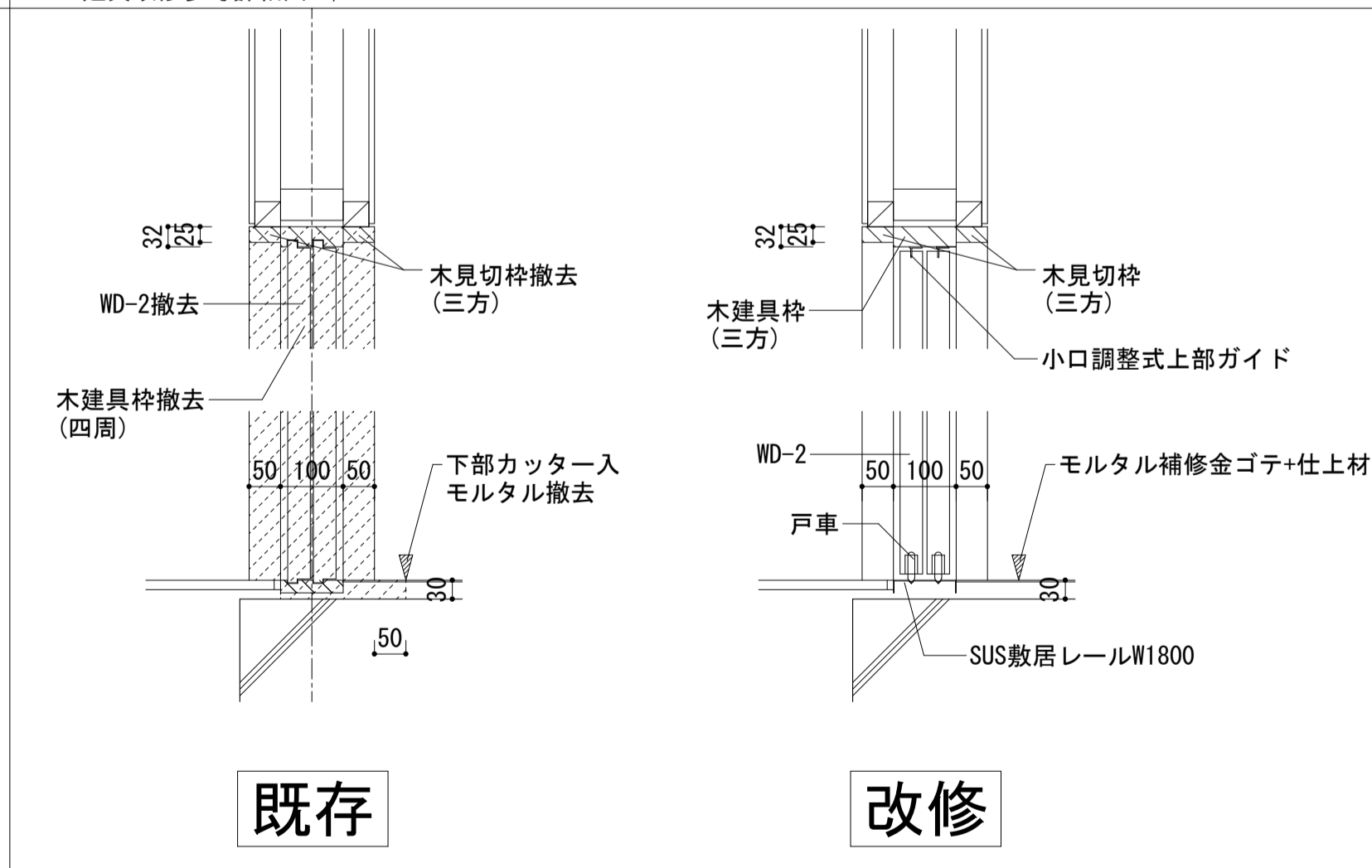
WD-1改修詳細図 1/10 (玄関~体育室)

WD-1建具改修参考詳細図 1/10 (体育室~体育器具室)



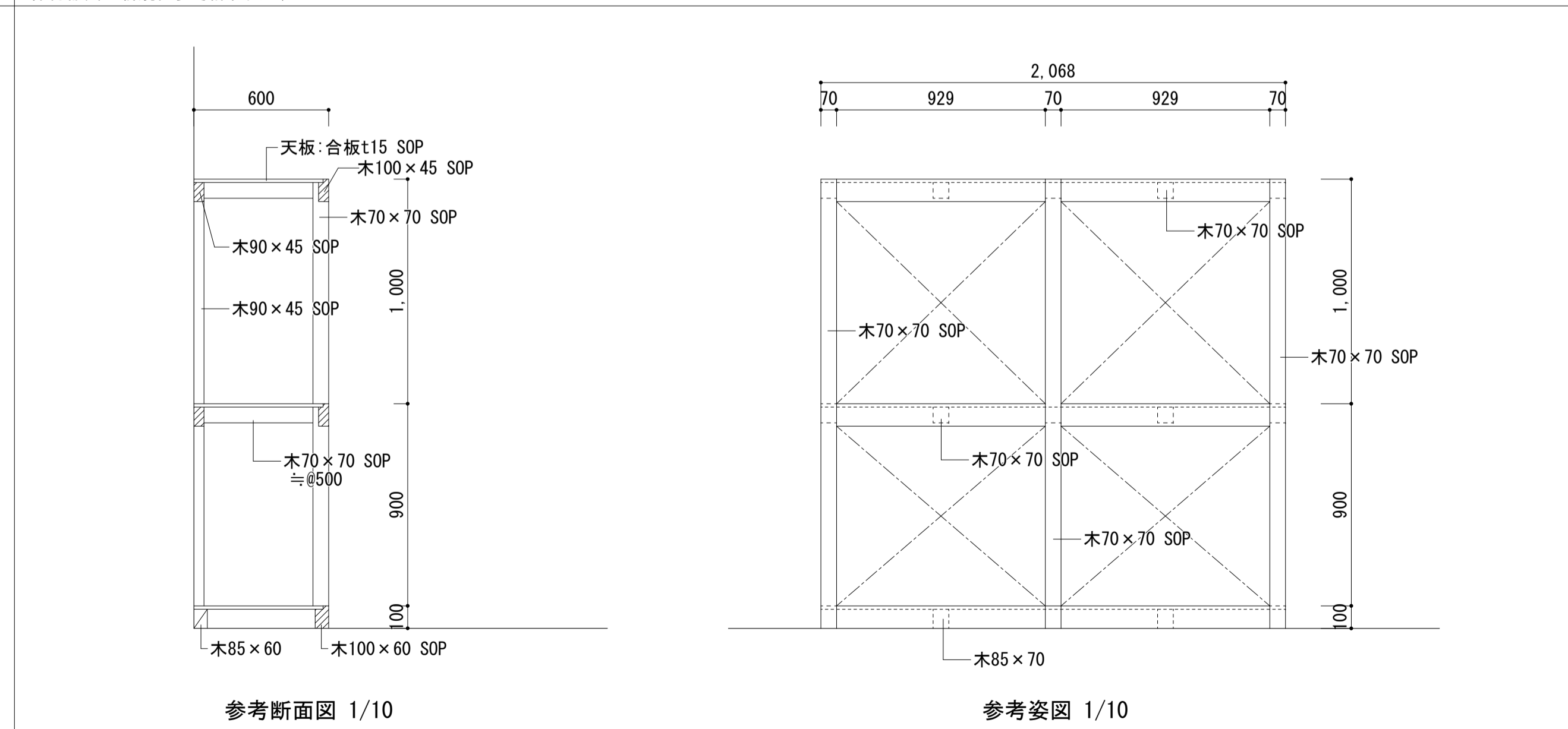
WD-1改修詳細図 1/10 (体育室~体育器具室)

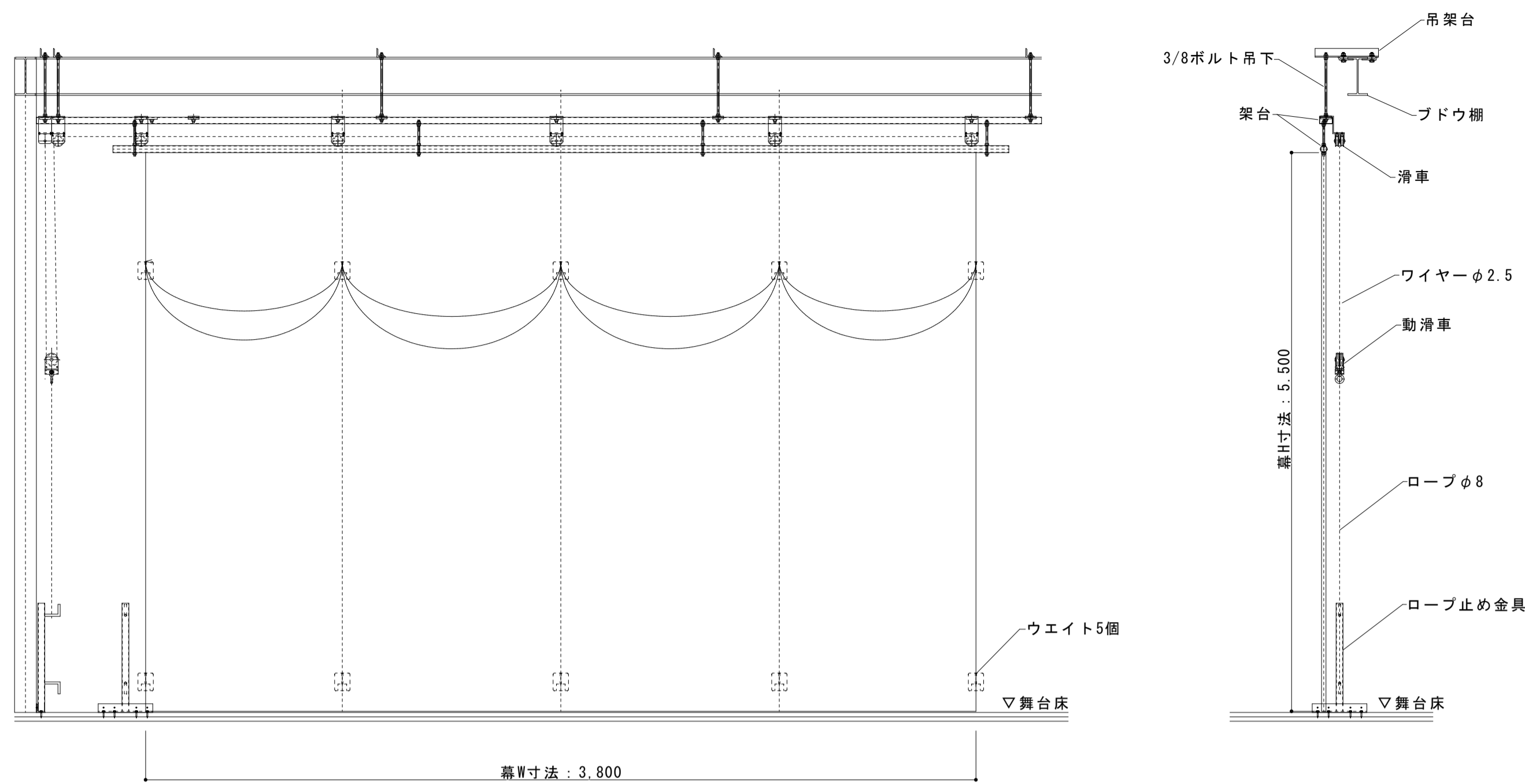
WD-2建具改修参考詳細図 1/10



WD-2改修詳細図 1/10

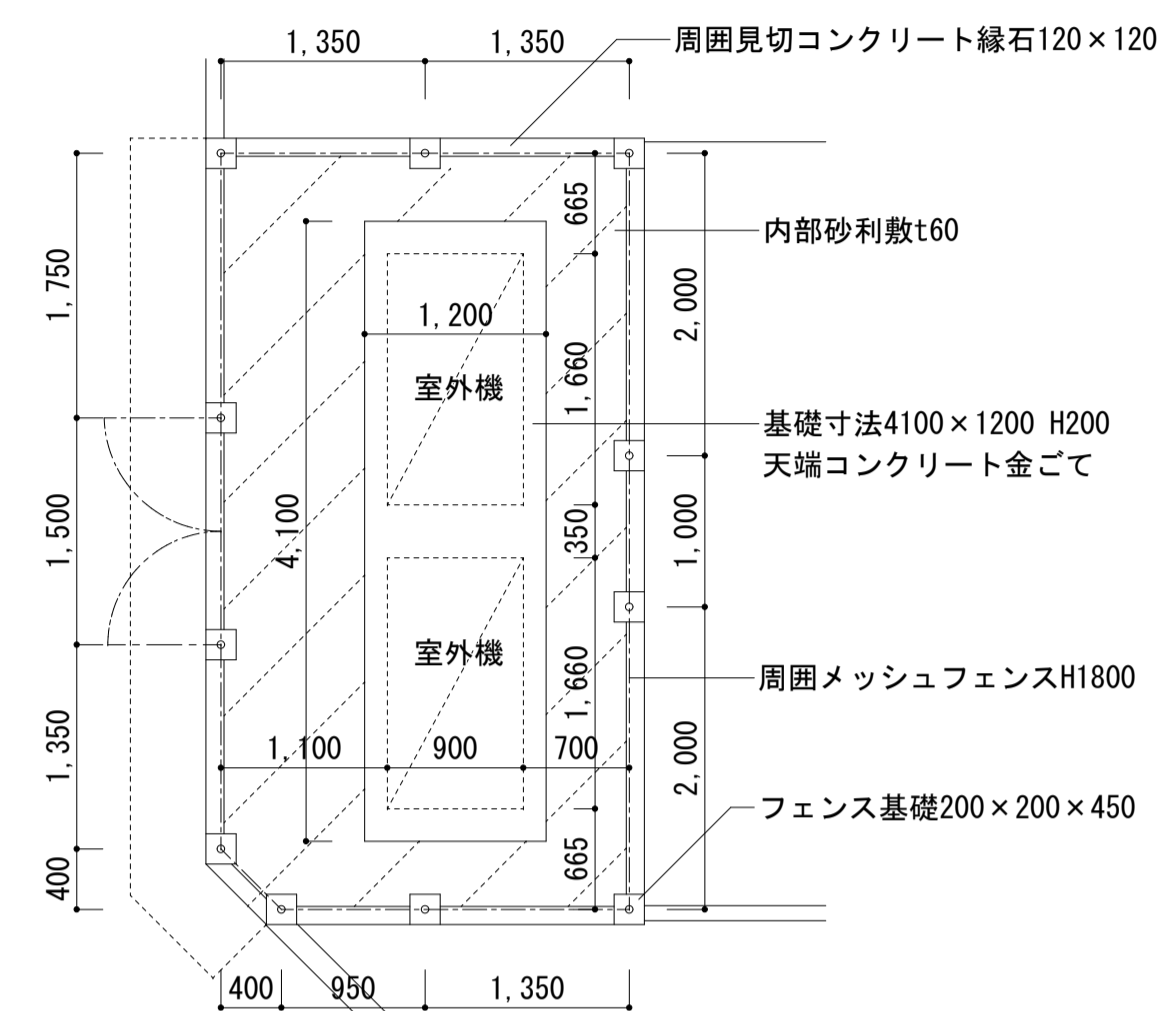
体育器具室新規棚参考詳細図 1/20



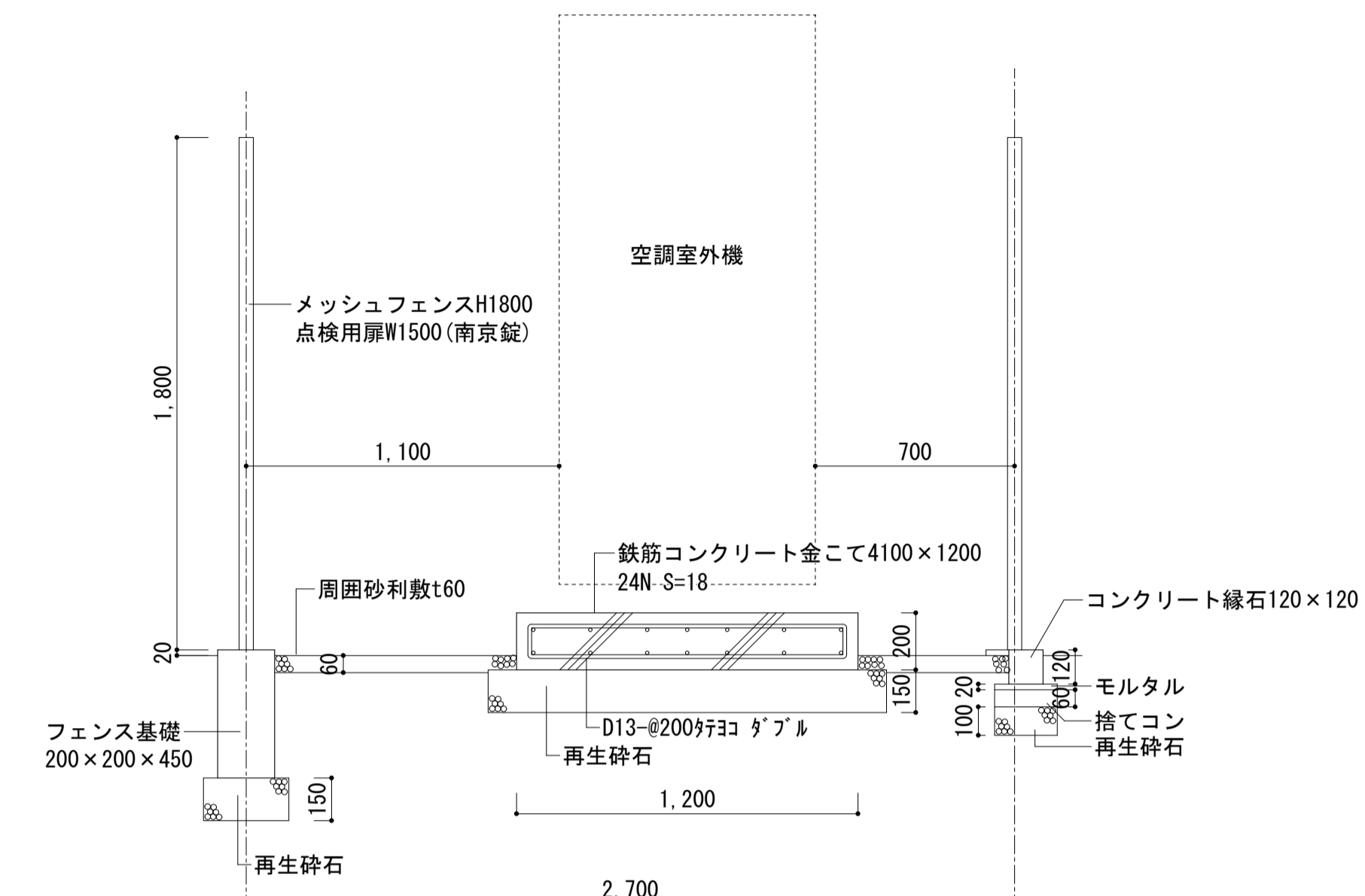


絞上袖幕仕様

幕地	難燃起毛生地 (スミノエナイトシティGII同等以上) W3.800×H5.500 2倍巾 (裏丸縫付)
滑車	φ50滑車1車×2台、φ50滑車2車×4台 固定架台×1台、動滑車φ50×1台
架台	C形鋼 C-60×30×1.6、パイプφ32、L-40×40×5
ロープ止め金具	パイプφ32、L-40×40×5
ロープ	φ8クレモナ金剛打、φ2.5ワイヤー

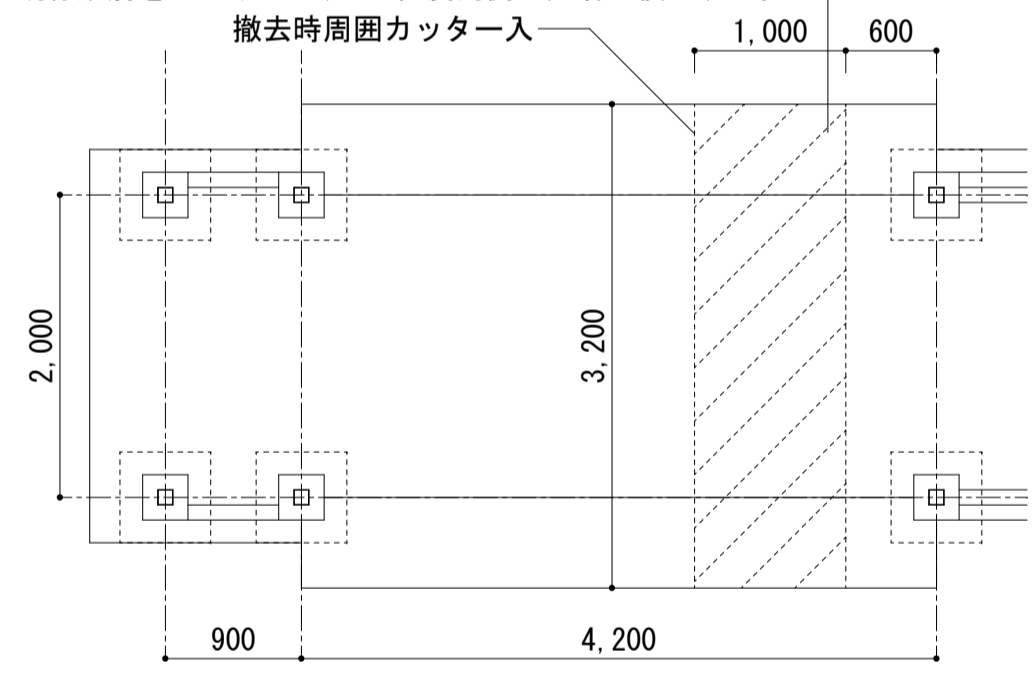


空調室外機周囲平面図 1/50

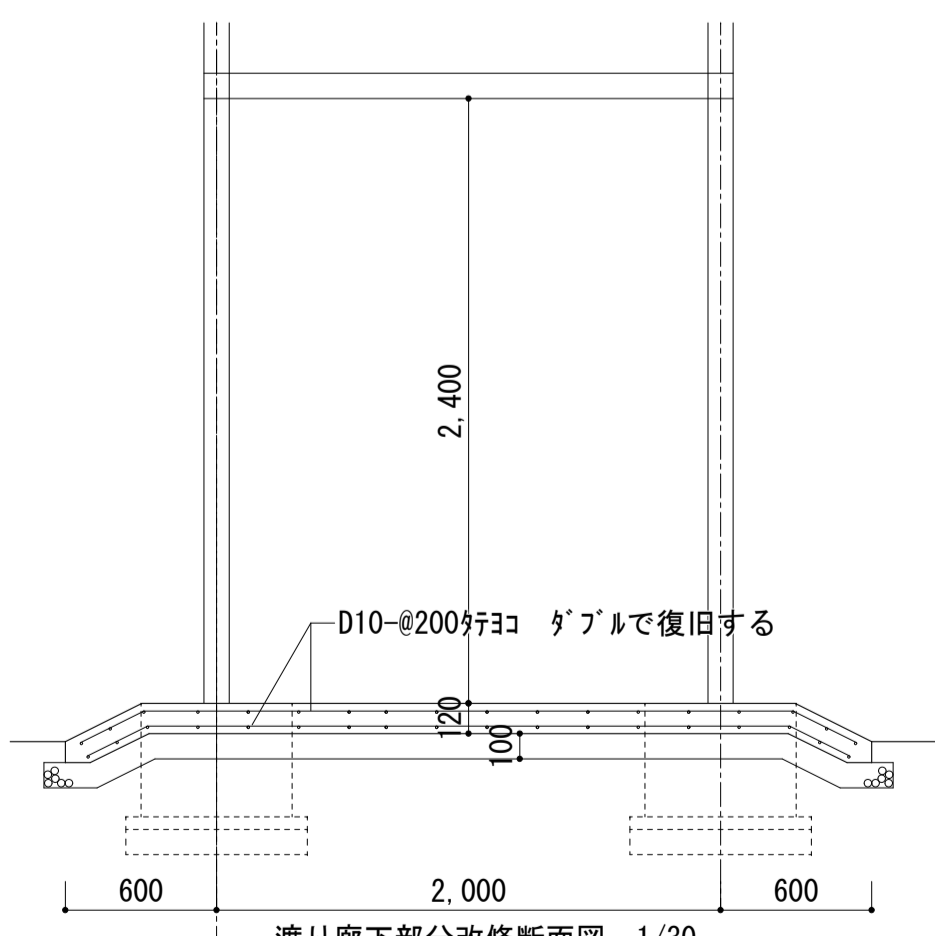


空調室外機周囲断面図 1/20

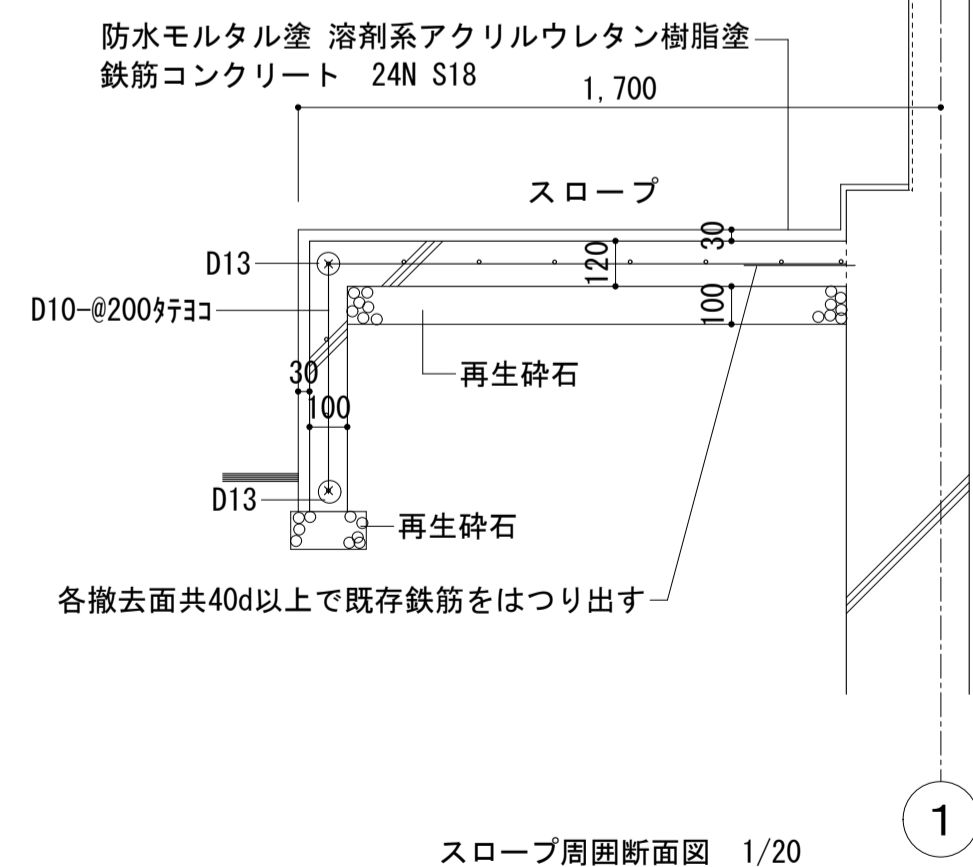
設備排水管新設のため
既存渡り廊下土間コンクリート撤去復旧とする
改修土間コンクリートS=18 24Nとし、コンクリート金ゴテ仕上
鉄筋は既存図より、D10-φ200桁コダブルとし既存土間撤去時に
既存鉄筋をはずり出し、35d程度両側で定着し復旧する。



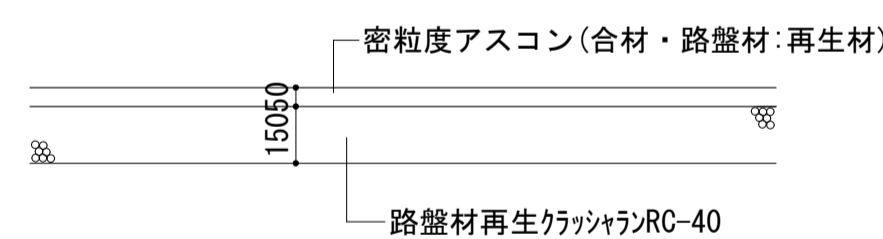
渡り廊下部分改修平面図 1/50



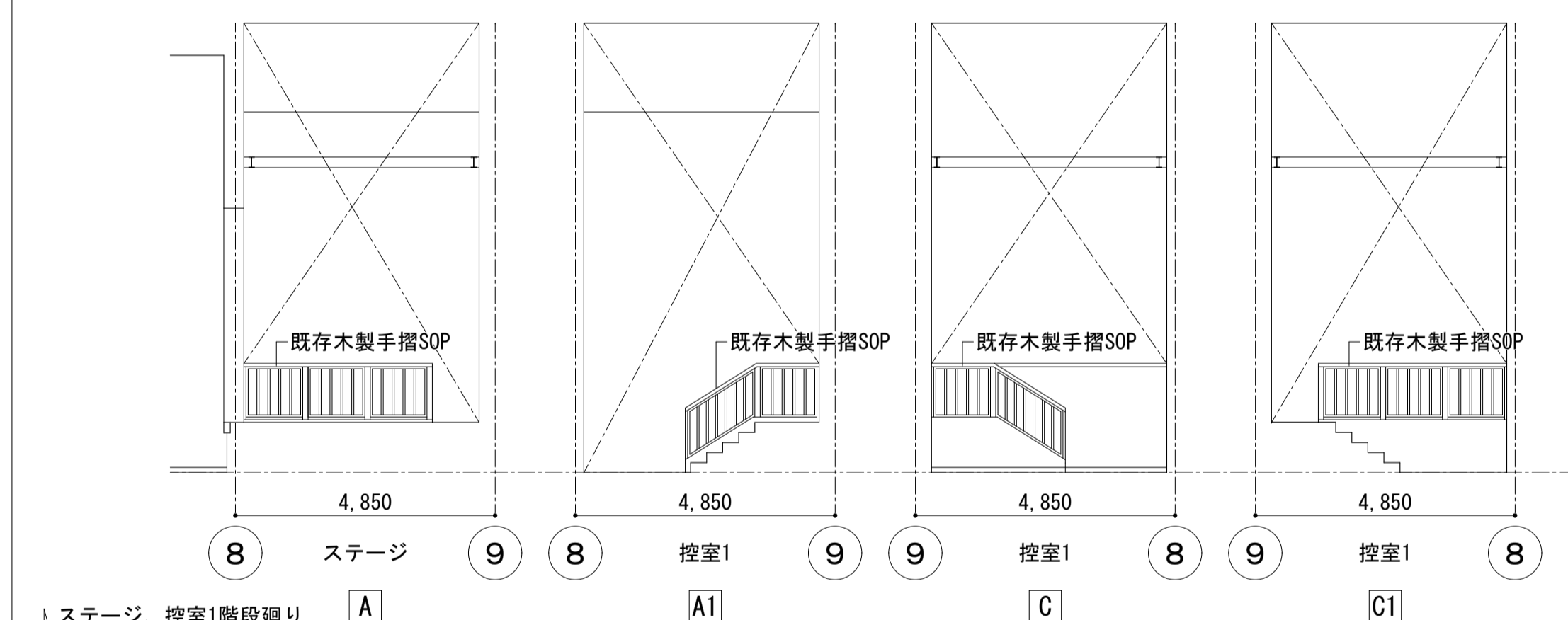
渡り廊下部分改修断面図 1/30



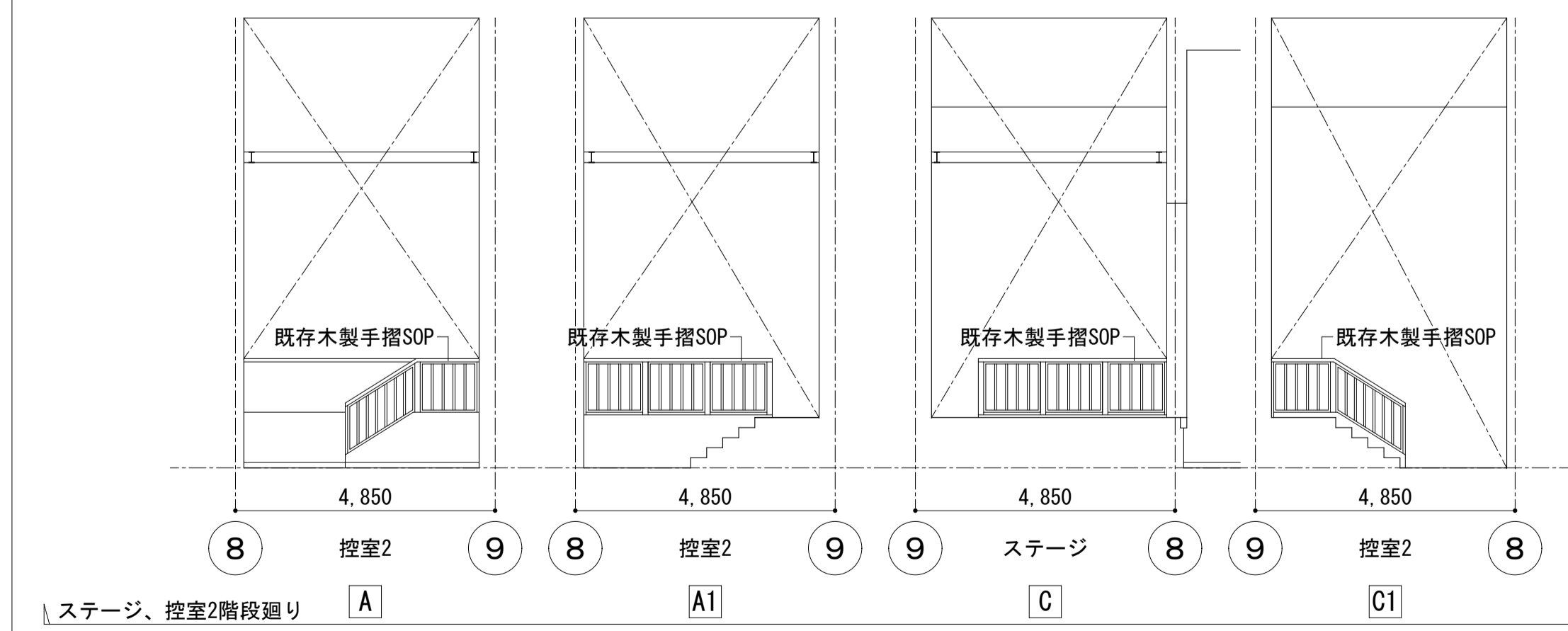
スロープ周囲断面図 1/20



※復旧するアスファルト部分に適用する



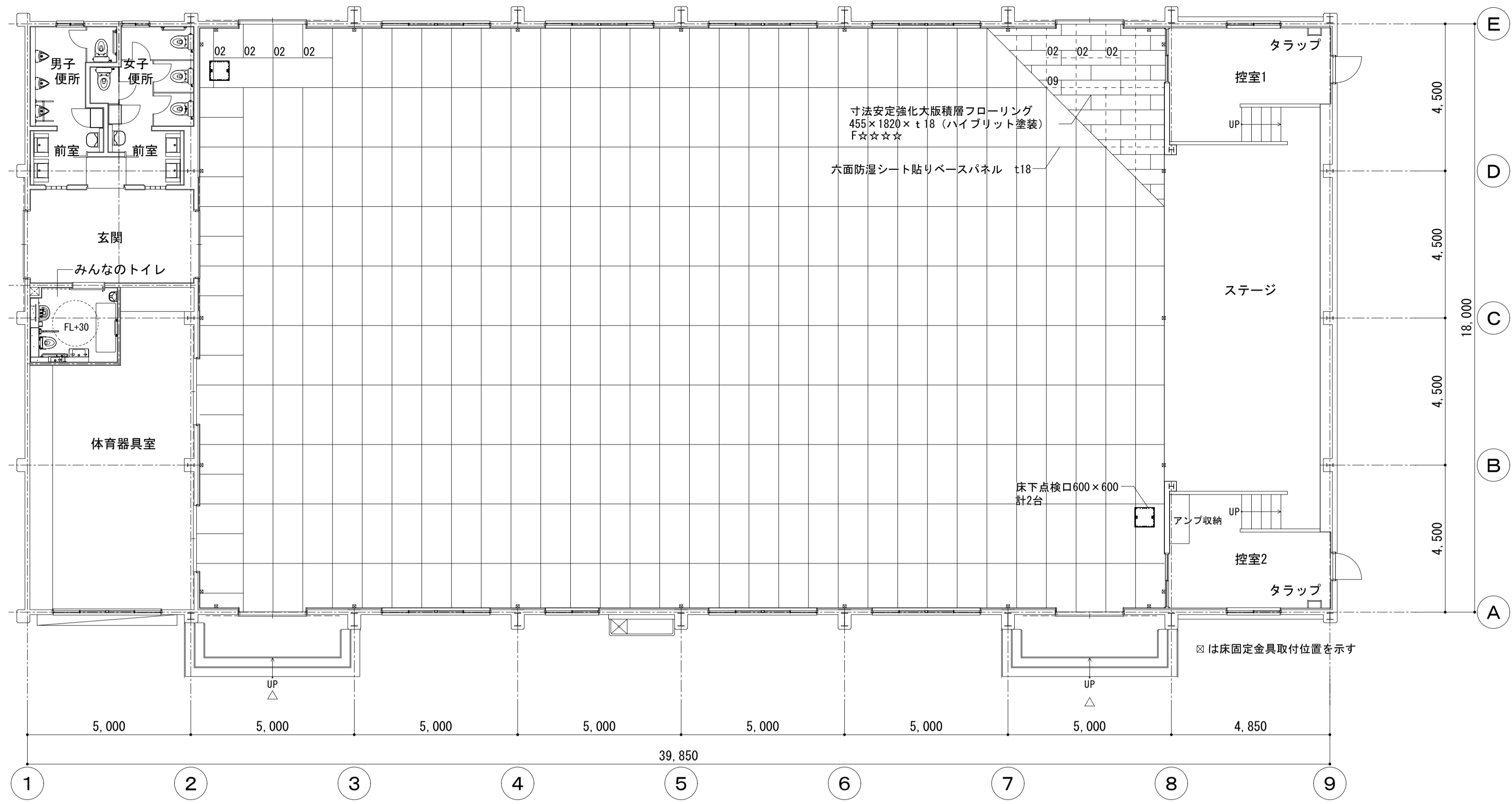
ステージ、控室1階段廻り



ステージ、控室2階段廻り

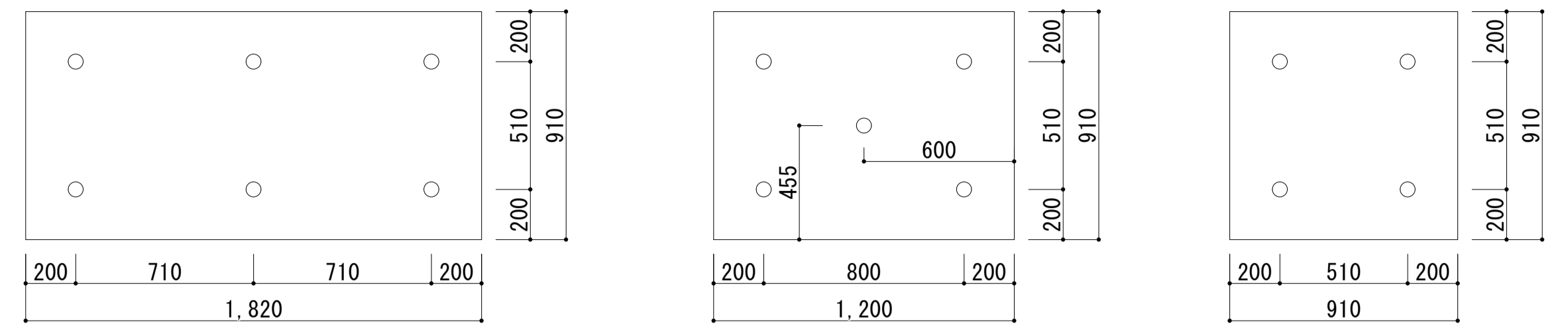


【体育館床伏図 S=1/100】



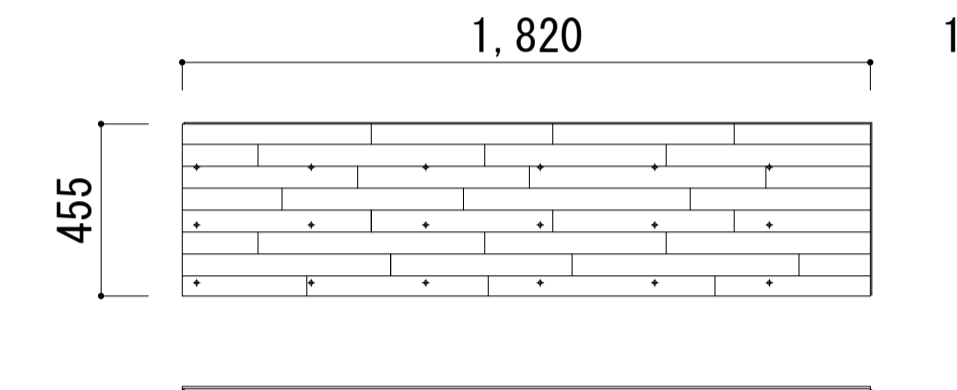
【体育館床パネル一覧 S=1/20】

六面耐湿シート貼りベースパネル t18



【体育館床使用フローリング】

寸法安定強化大版積層フローリング
455×1820×t18 (ハイブリット塗装)
F☆☆☆☆



【鋼製床下地 JIS A6519 該当品】

許容荷重	
積載荷重	長期：800kgf 短期：1200kgf
局部荷重	長期：350kgf 長期：525kgf
緩衝効果値	20～30 (JIS規格値 15～40)
※局部荷重はφ160の集中荷重	

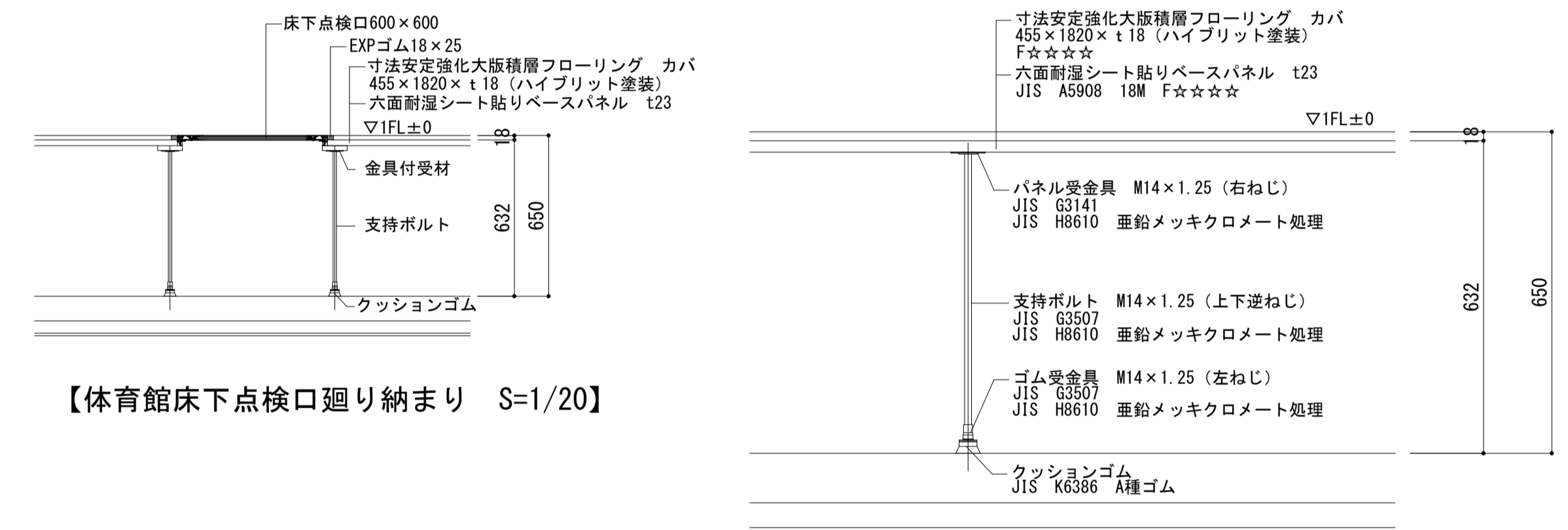
【特記仕様】

フローリングは大版積層フローリング隠し特殊貼りとし加圧樹脂浸透寸法安定強化処理とする
許容荷重は上記を基準とする

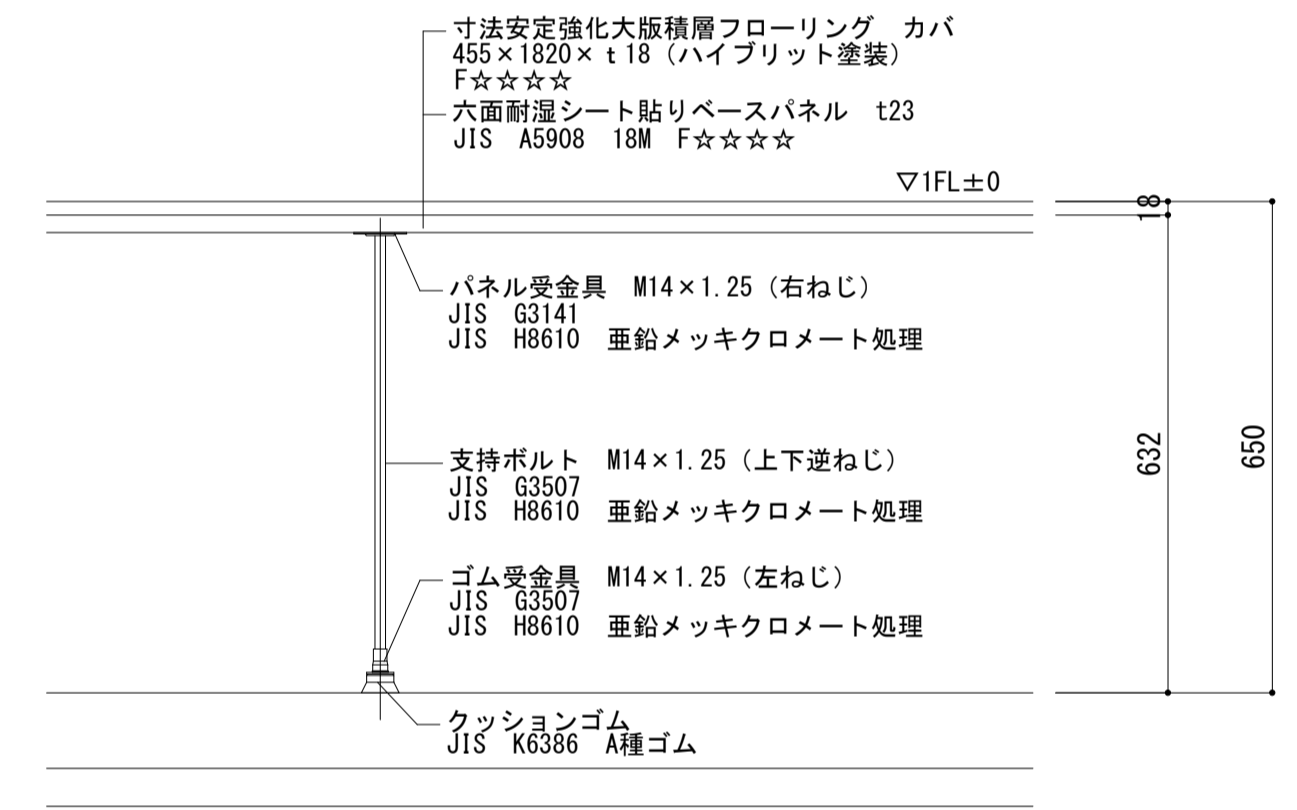
置床式鋼製床下地
体育館用鋼製床下地 JIS A6519認定品

- ベースパネル
JIS A5908 18-M F☆☆☆☆
- パネル受金具
JIS G3141
JIS H8610 垂鉛メッキクロメート処理
M14×1.25 (右ネジ)
- 支持ボルト
JIS G3507
JIS H8610 垂鉛メッキクロメート処理
M14×1.25 上下逆ネジ
- クッションゴム
JIS K6386 A種
ゴム受金具
JIS G3507
JIS H8610 垂鉛メッキクロメート処理
M14×1.25 (左ネジ)
- クッションゴム (端部用)
JIS K6386 A種
ゴム受金具
JIS G3445
JIS G3131
JIS H8610 垂鉛メッキクロメート処理
M14×1.25 (左ネジ)
- ハイブリット塗装
1回目塗装:1液溶剤ウレタン塗装
2回目以降塗装:2液水性ウレタン塗装(3回塗)
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

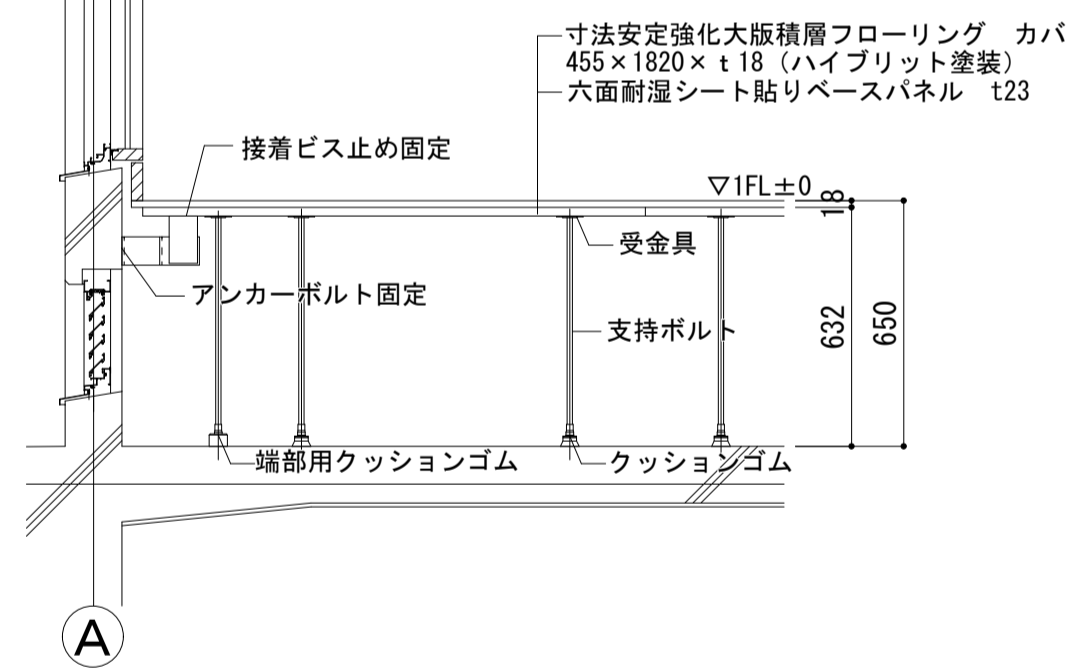
【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



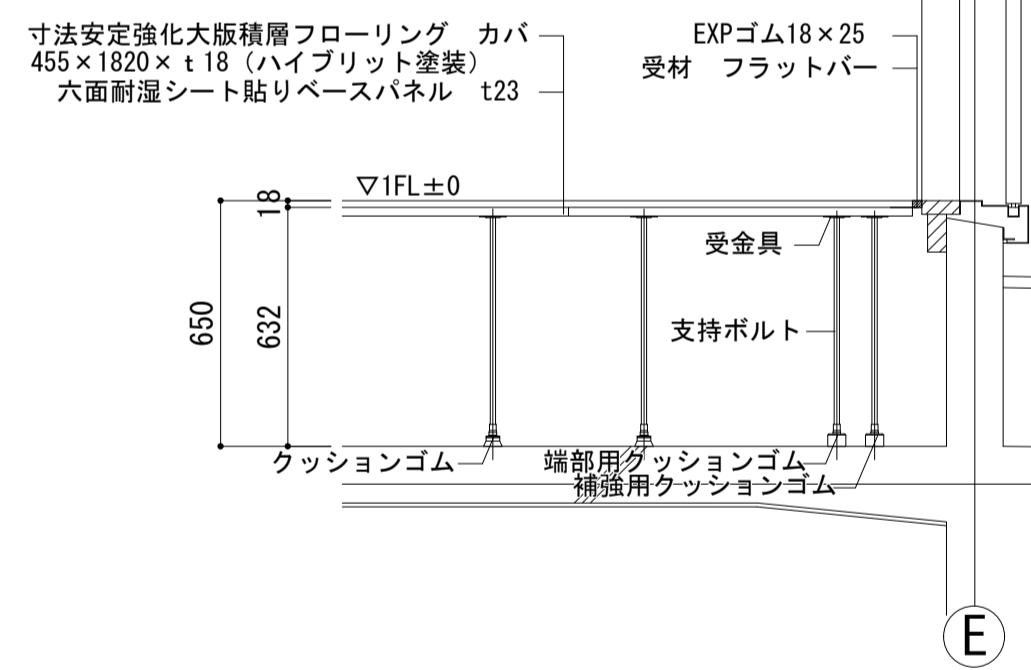
【体育館床基本断面 S=1/10】



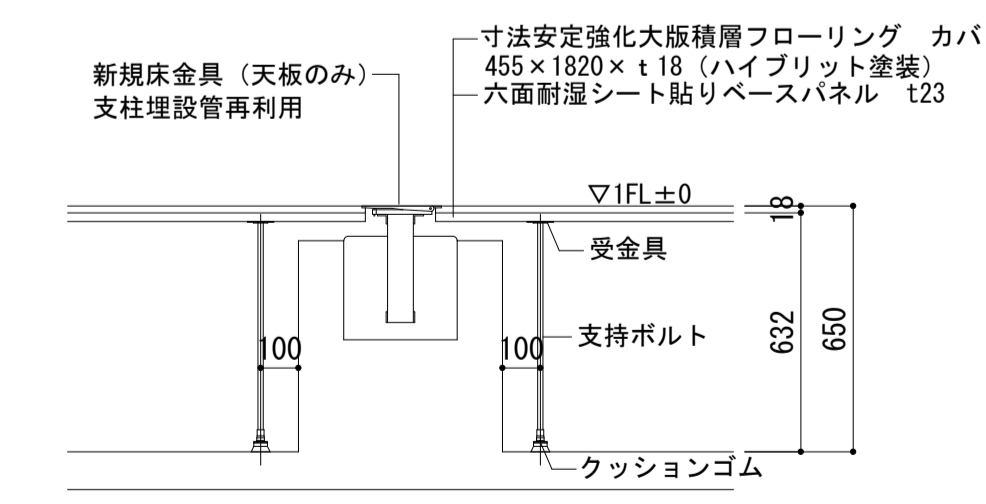
【壁・床固定金具取付部納まり図 S=1/20】



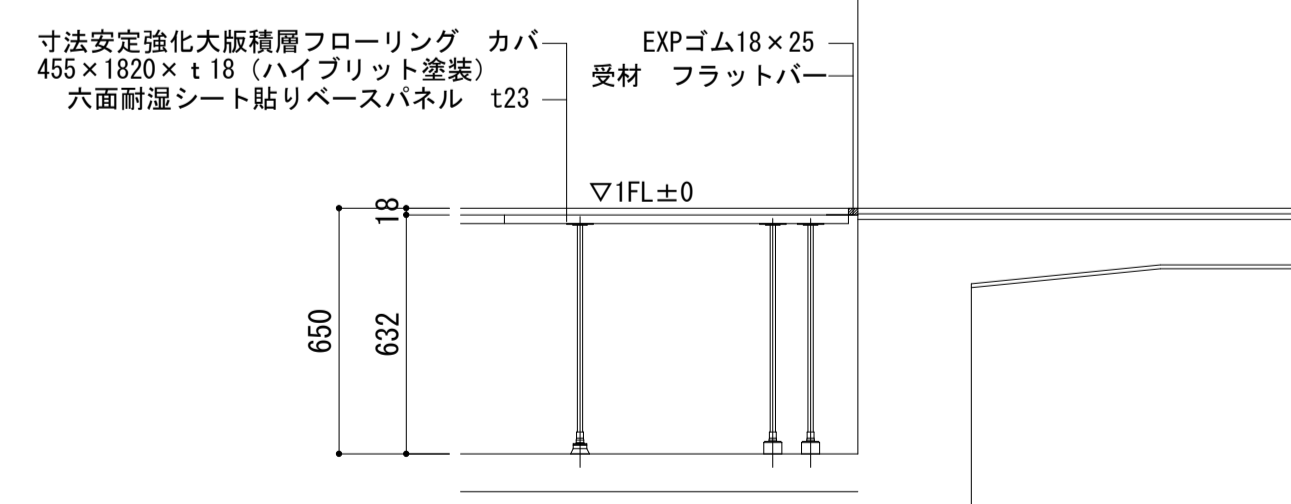
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



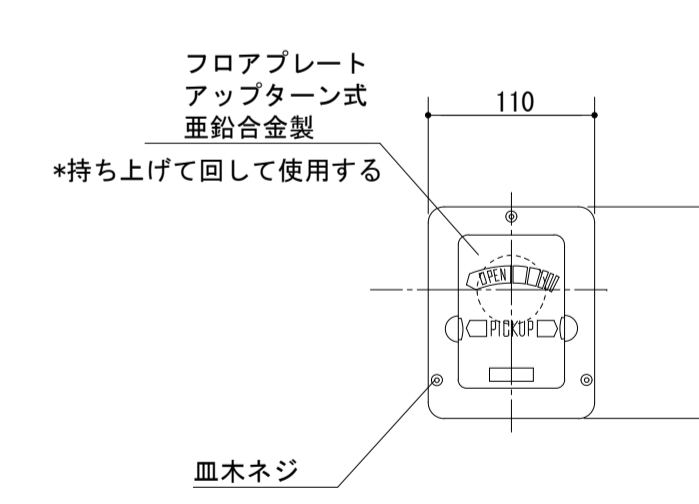
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



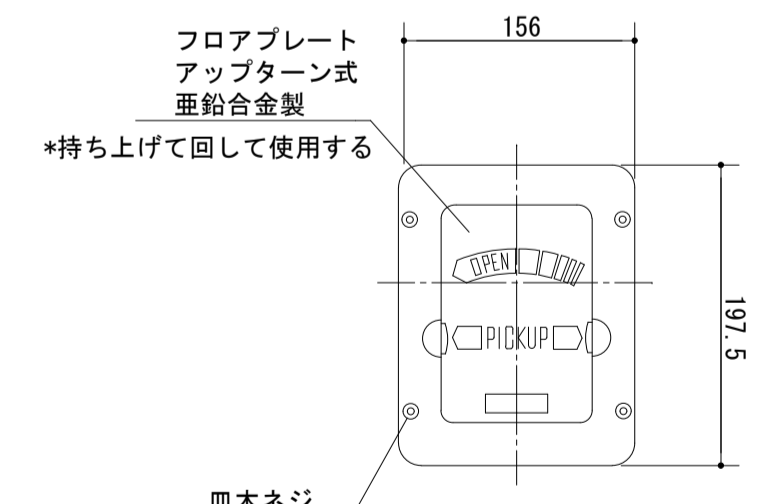
【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】



【バドミントン用床金具 S=1/5】



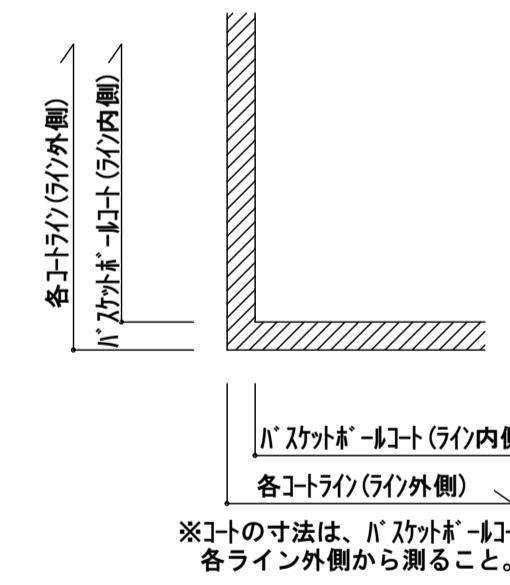
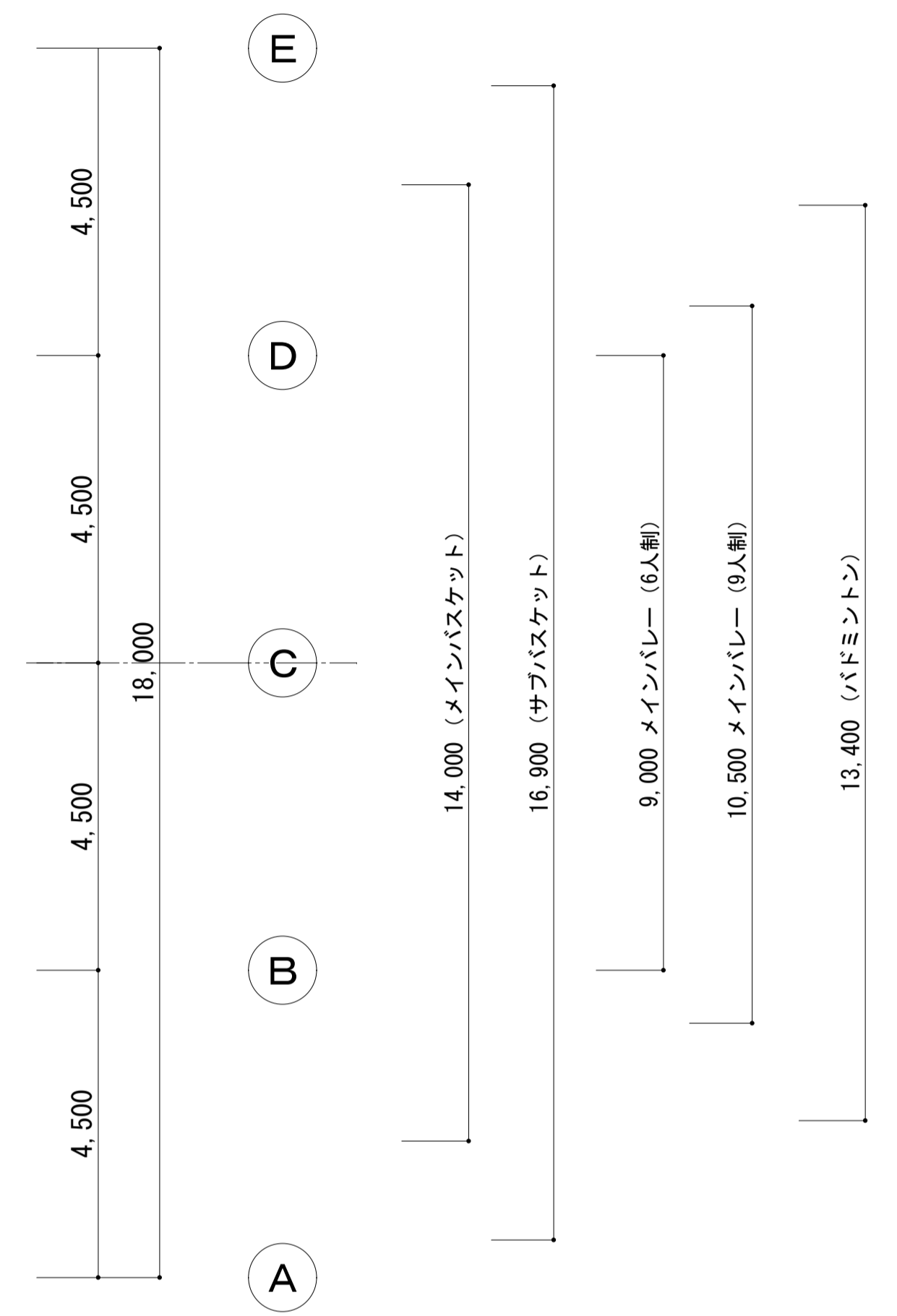
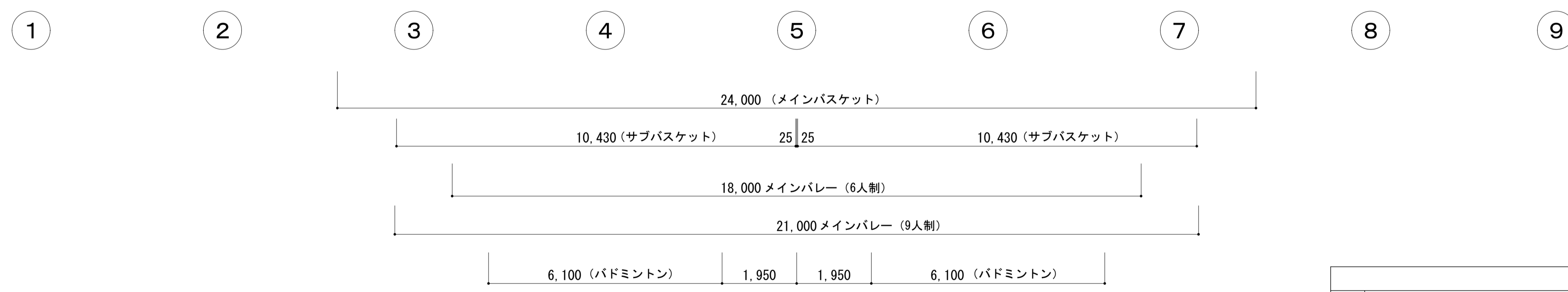
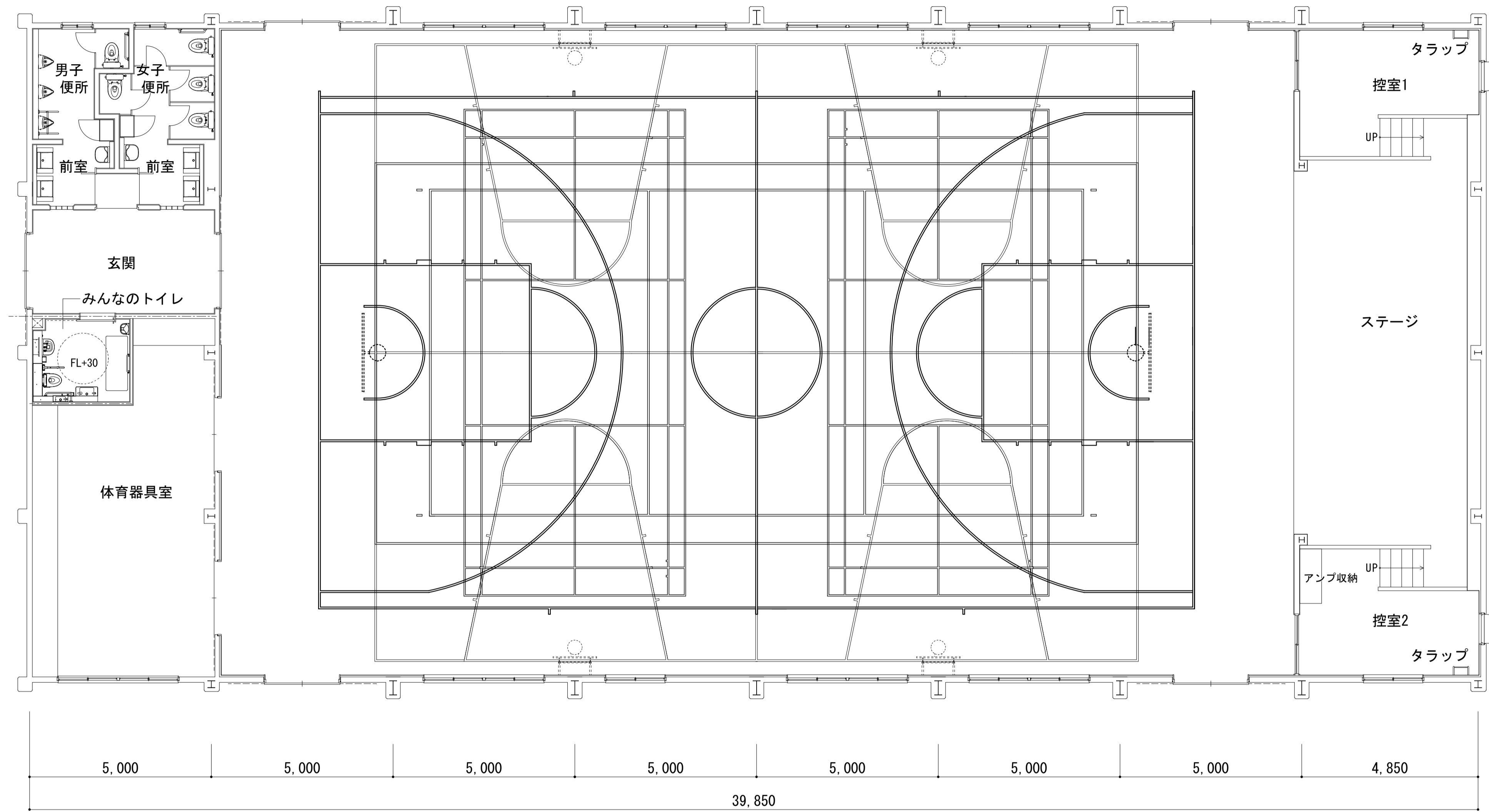
【バレー用床金具 S=1/5】



【床金具数量表】

名称	箇所
バレー用床金具 (天板)	4箇所
バドミントン用床金具 (天板)	4箇所



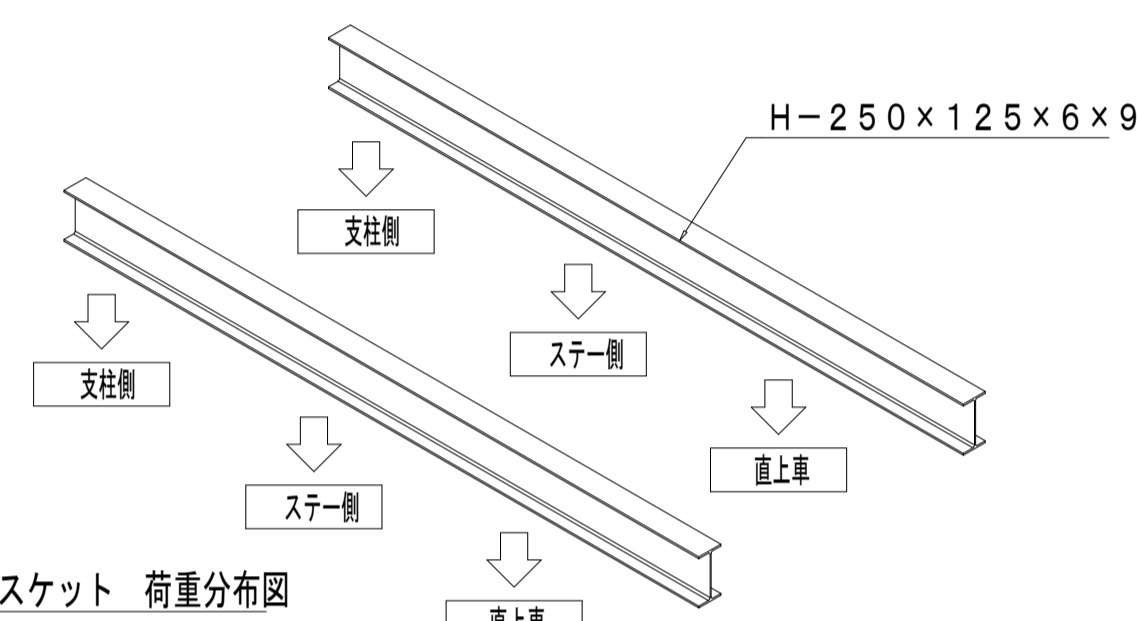
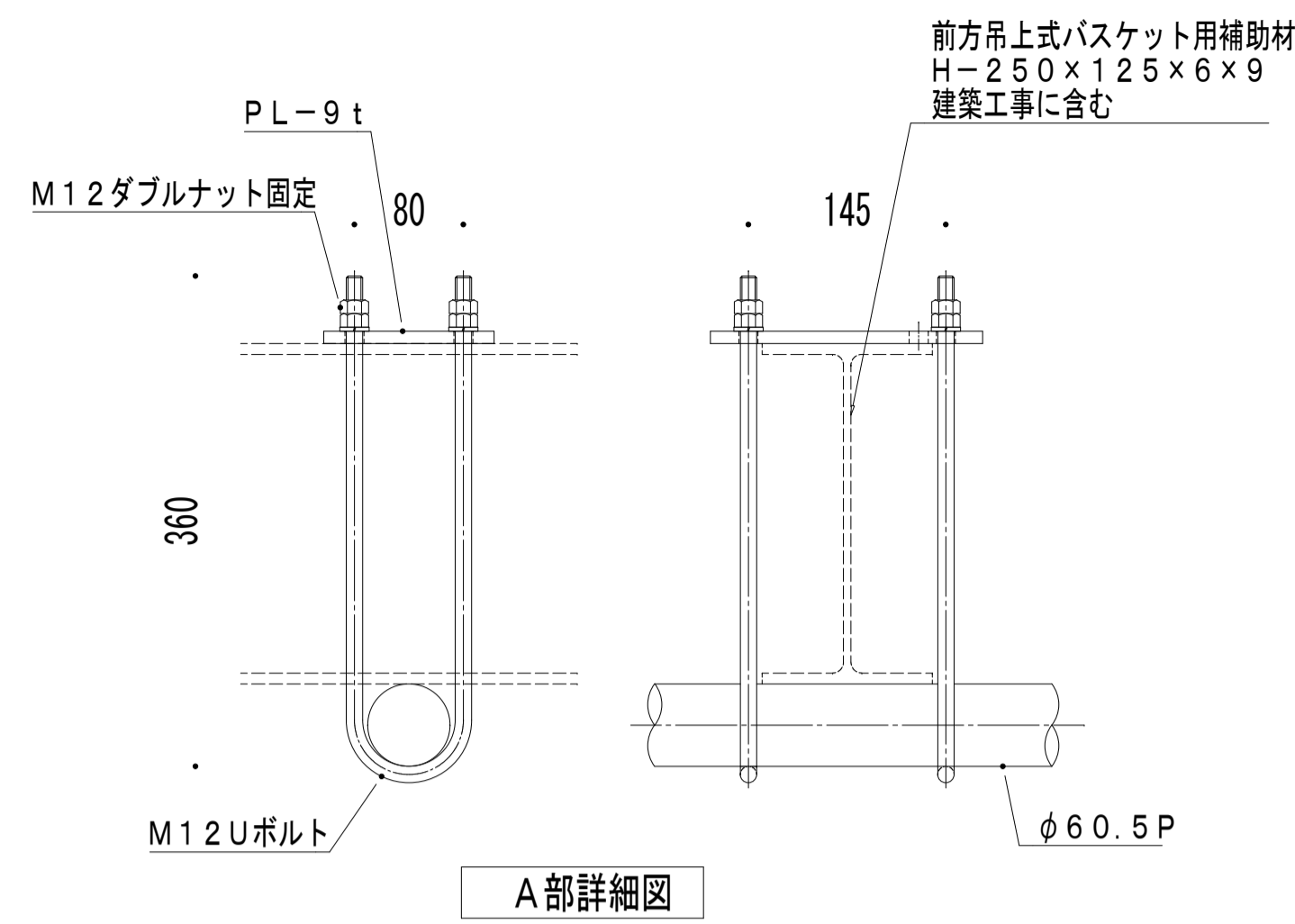


※コートの寸法は、バスケットコートを除き、各ライン外側から測ること。

コートライン内訳表							
記号	種別	寸法	面数	備考	ライン色	優先	
	メインバスケットコート	24,000×14,000	1面	実線 線幅50mm	白		
	サブバスケットコート	16,900×10,430	2面	実線 線幅50mm	水色		
	メインバレーコート (6人制)	18,000×9,000	1面	実線 線幅50mm	赤		
	メインバレーコート (9人制)	21,000×10,500	1面	実線 線幅50mm	緑		
	バドミントンコート	13,400×6,100	2面	実線 線幅40mm	黄		
	反復横跳び	全長18,400	1箇所	実線 線幅50mm	白		

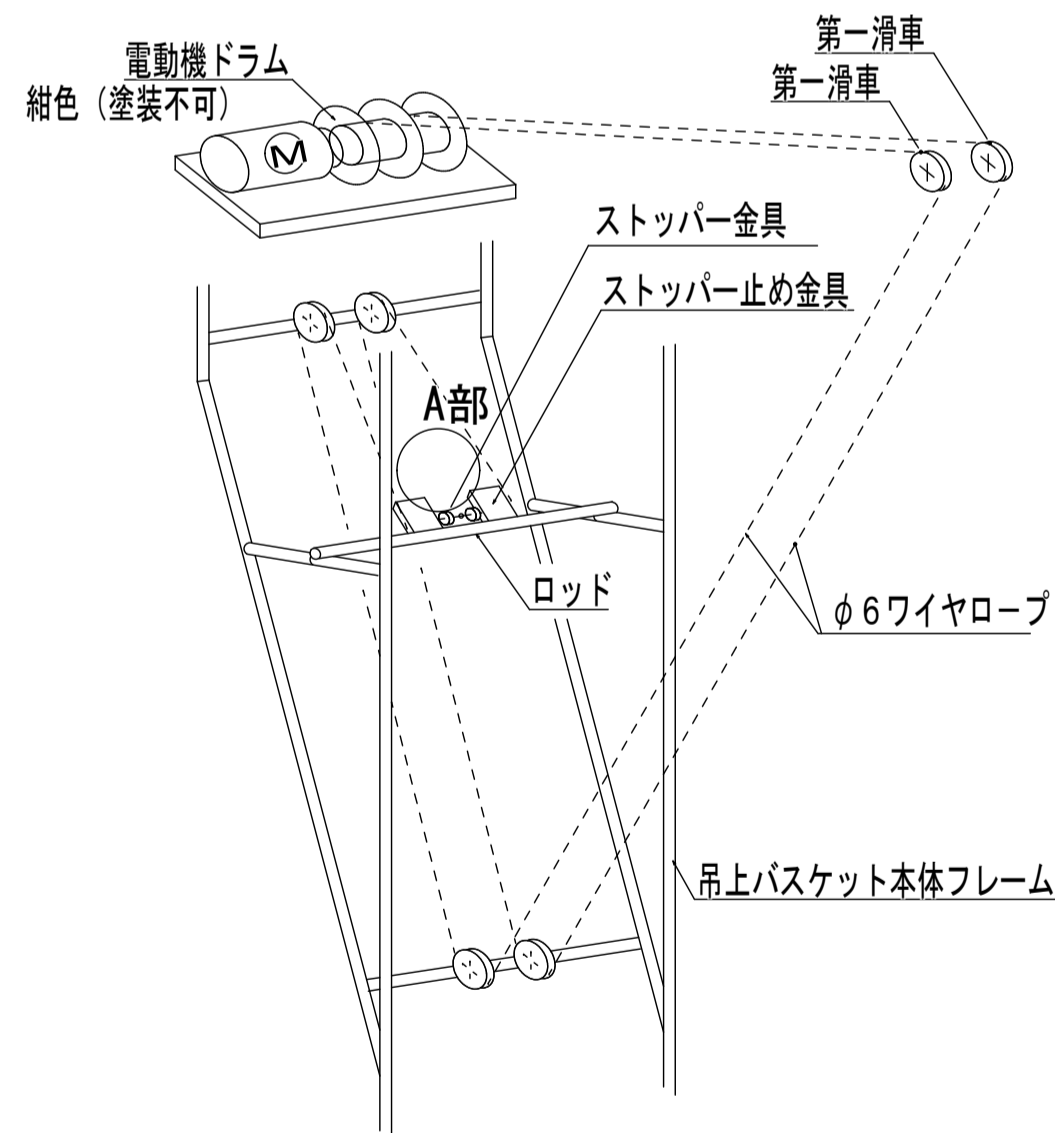
※コートライン寸法等優先順位・コート色は、打合せの上決定する。





吊上式バスケット 荷重分布図
 ※本体総重量：約420Kg
 可動フレーム落下防止装置：約55Kg
 合計：約475Kg

短期 (ダンク時先端に1.5KNの荷重)		長期 (通常線出時)	
直上車	0.13 (kN)	直上車	0.13 (kN)
支柱側	1.23 (kN)	支柱側	1.98 (kN)
ステアー側	1.20 (kN)	ステアー側	1.20 (kN)

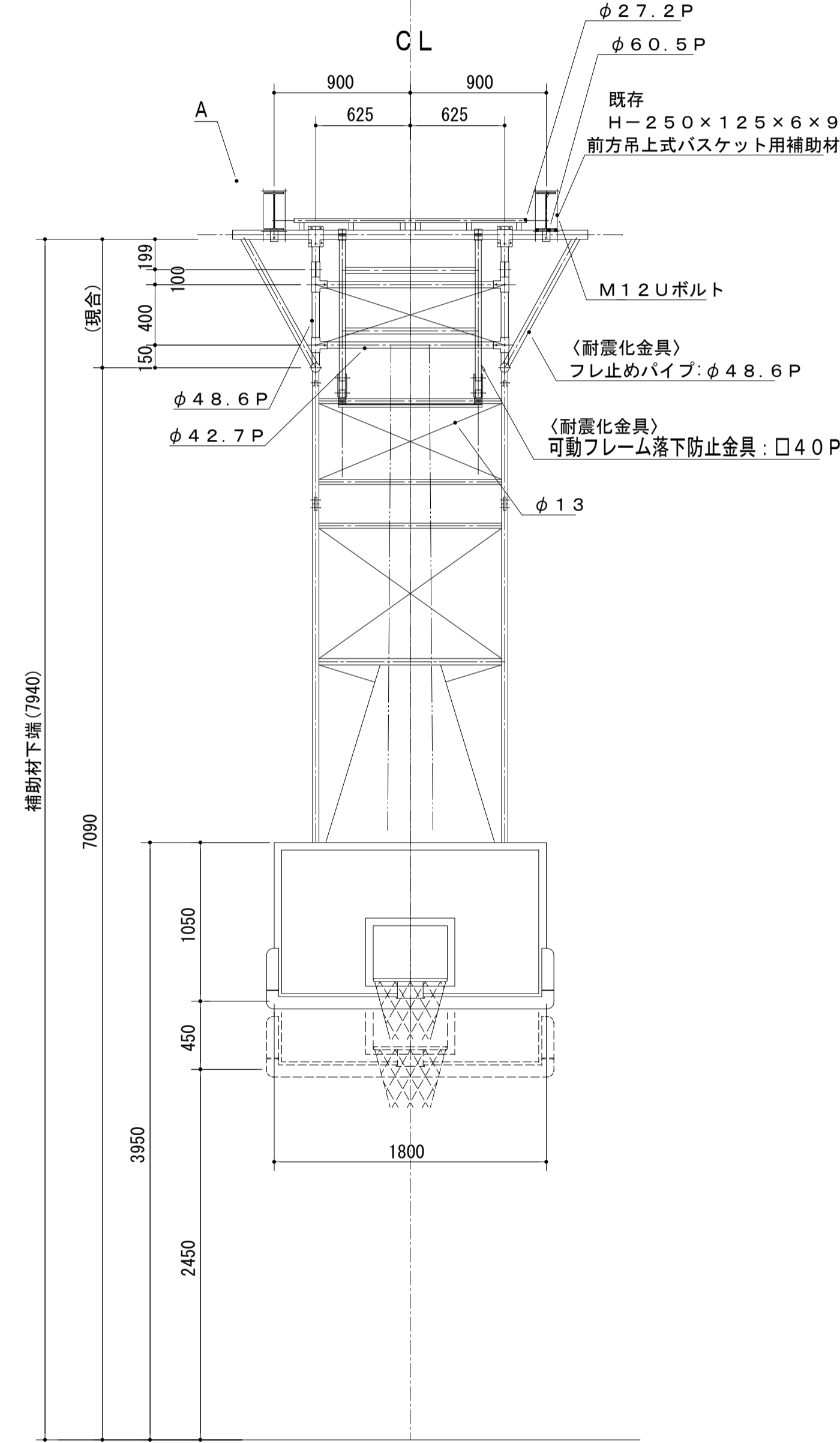
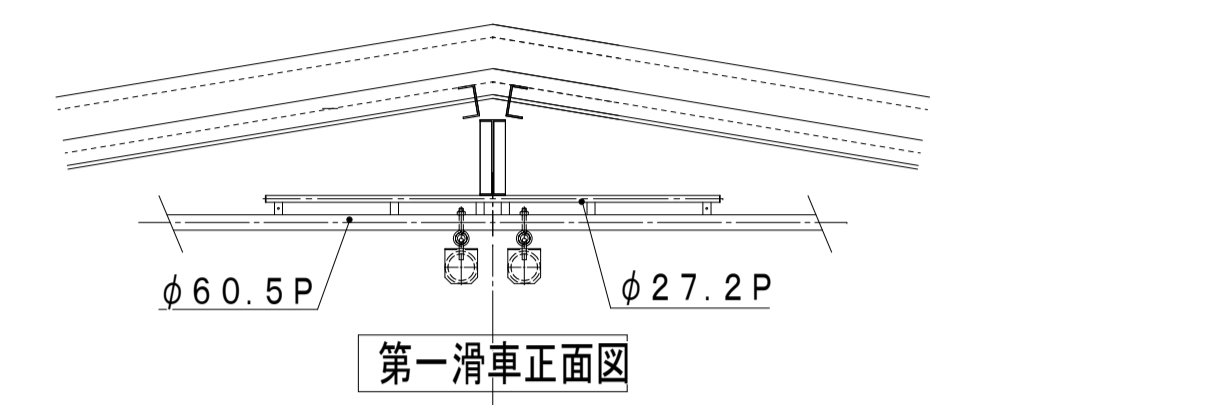
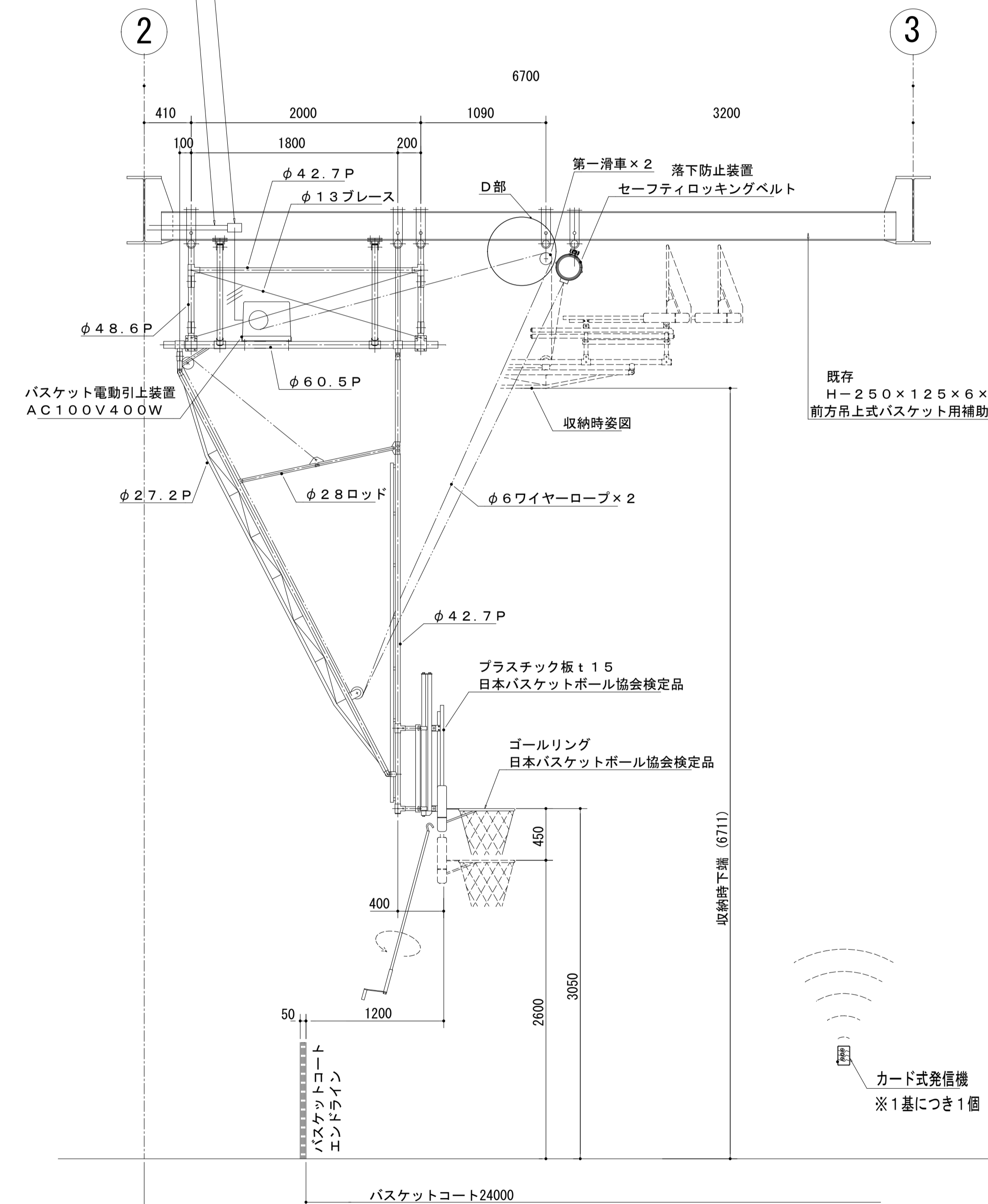


落下防止装置付 (Wワイヤ方式)

- ・2本のワイヤロープは本体中央部で連結しており、端部は電動機 (Wドラム) で巻取ります。
- ・どちらかのワイヤロープがどの箇所でも破断しても、本体中央部にあるストッパー金具により約100mmの移動後 (落下後)、停止します。
- ※前方吊上式バスケット取付位置に昇降式照明、電気配管などの障害物が無い事。
- ※現地確認後、形状等変更になる場合があります。ご了承ください。
- ※落下の安全を確保するために、セーフティロックベルト付とする。

アウトレットボックス
 引掛コンセント WF2315
 電気設備工事に含む

電動式バスケット用配管、配線
 E2.0 2.0x2(19)
 電気設備工事に含む

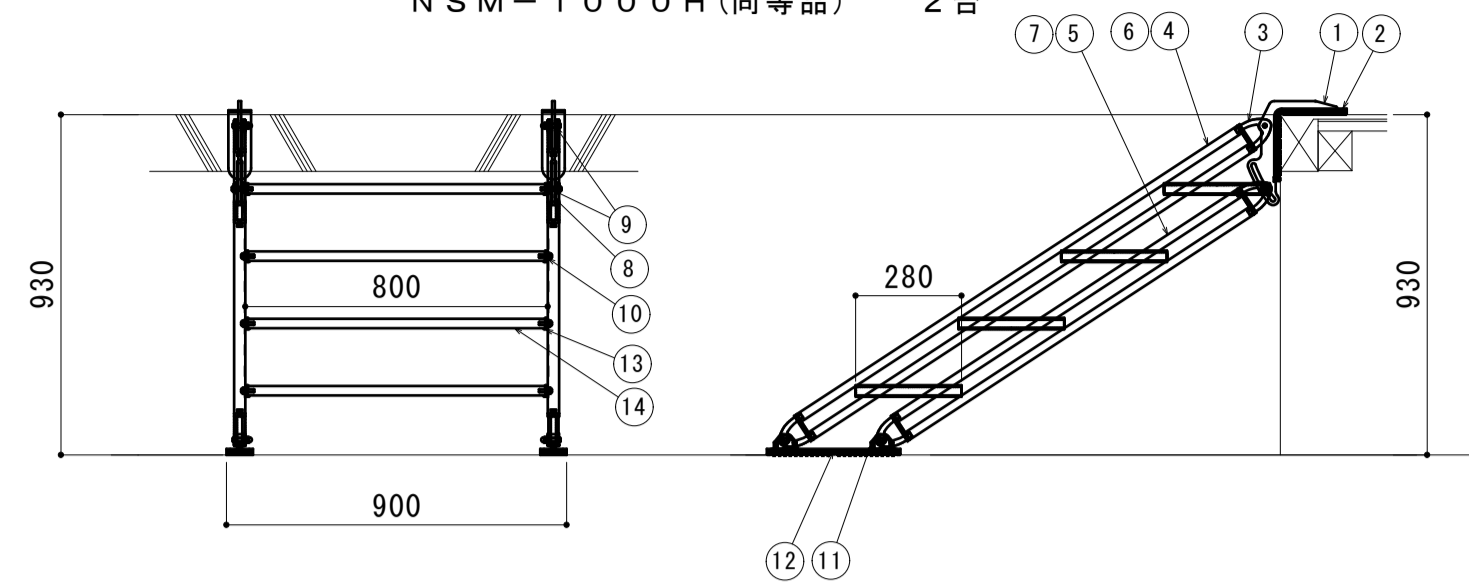


BA-3003 (同等品) 前方吊上式バスケット 1.0対



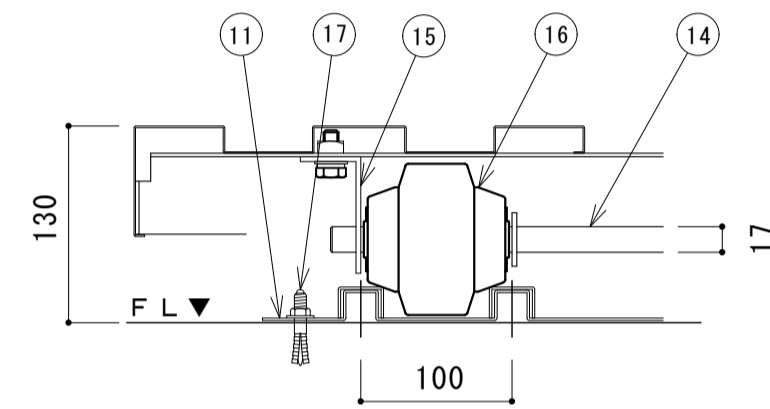
アルミ製移動階段 (S=1/20)

NSM-1000H (同等品) 2台

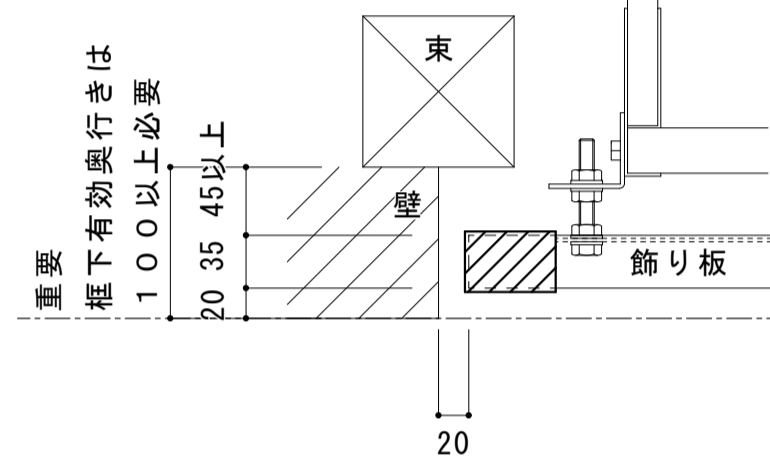


アルミ製移動階段主要構成部品仕様書			
品番	名称	材料・加工等	表面処理
1	フック	ALMダイキャスト製	粉体塗装
2	滑り止めゴム	成形品 6ミリ 差込	
3	Bkt	強化プラスチック製 (成型)	
4	支柱材 1	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
5	支柱材 2	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
6	支柱用フタ 1	ALM押し出し成形品	粉体塗装
7	支柱用フタ 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
8	カラー 1	φ22×5t 穴径φ8.5	
9	カラー 2	鋼スプーサー (G0800)	
10	カラー 3	φ22×3t 穴径φ8.5	
11	Bkt 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
12	脚ベース	ALM押し出し成形品	粉体塗装
13	ステップカバー	ALM押し出し成形品	粉体塗装
14	ステップ材	ALM押し出し成形品	粉体塗装

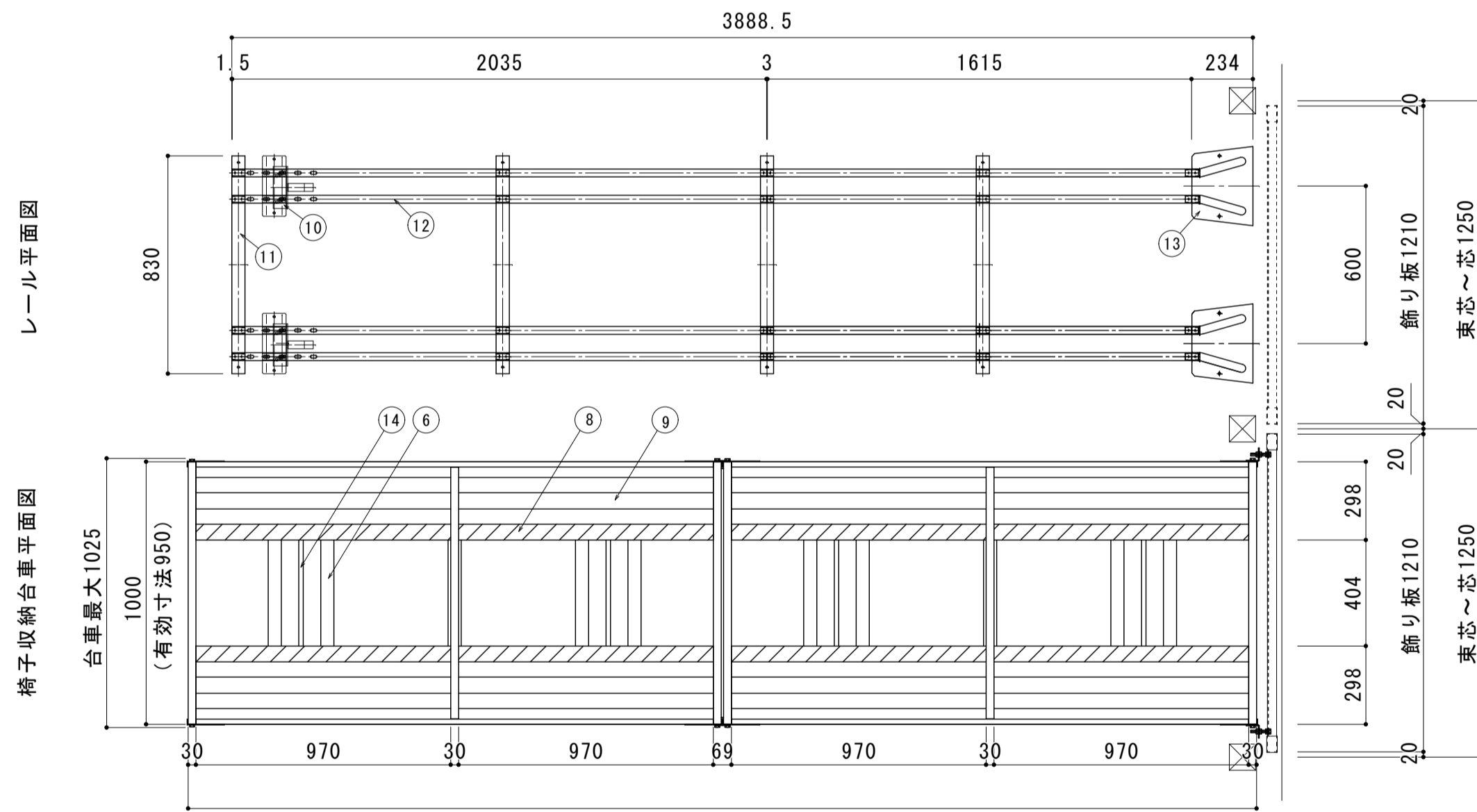
車輪部詳細 (S=1/5)



A部詳細 (S=1/5)



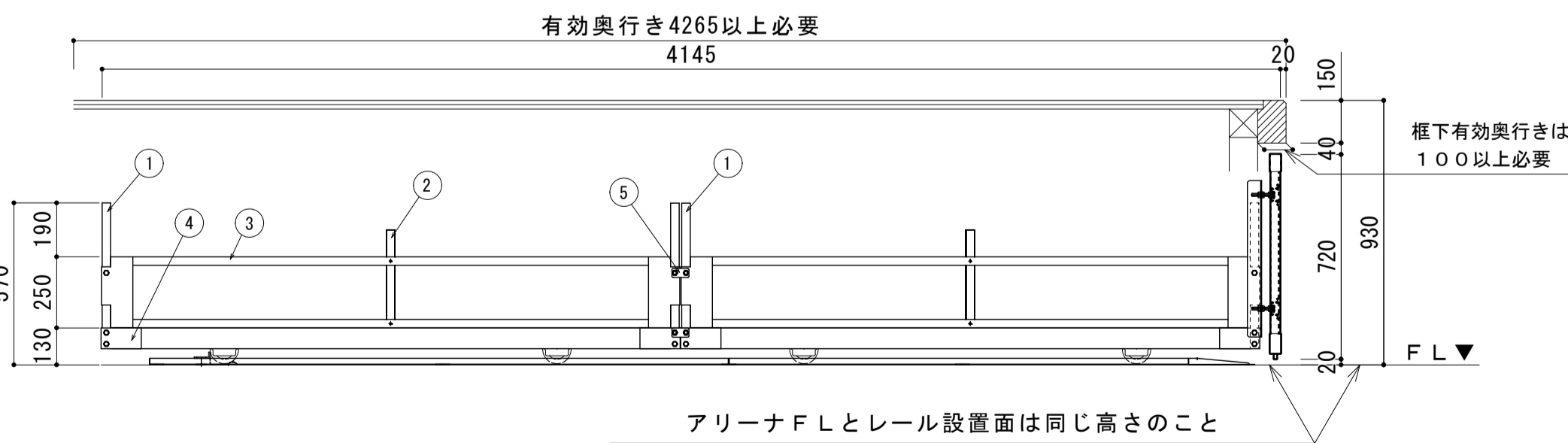
収納台車 (S=1/20)



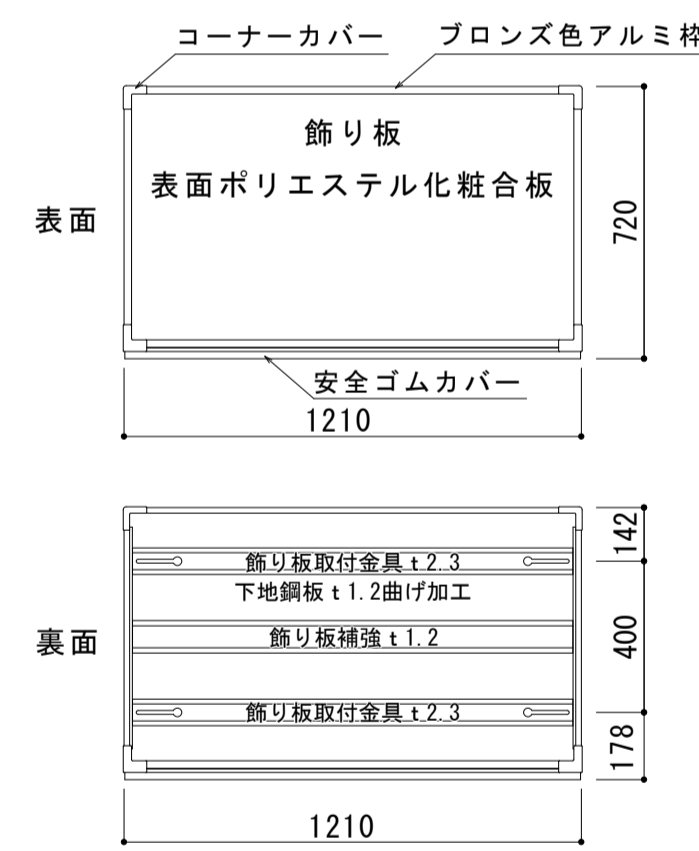
レール平面図

椅子収納台車平面図

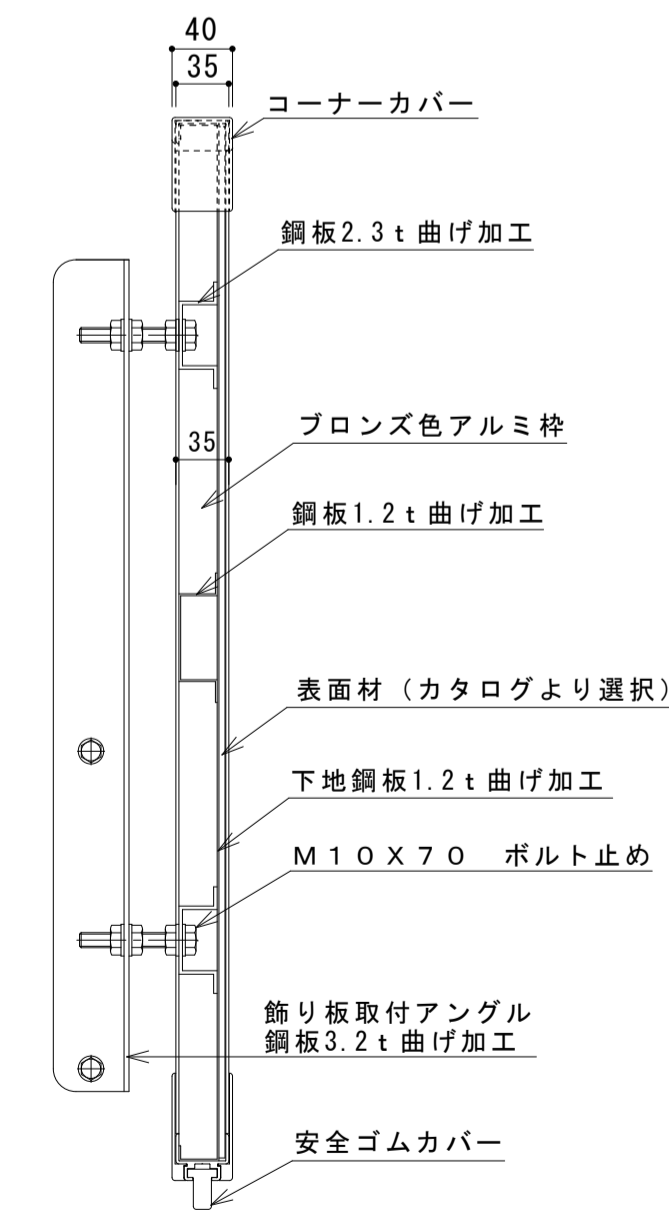
椅子収納台車側面図



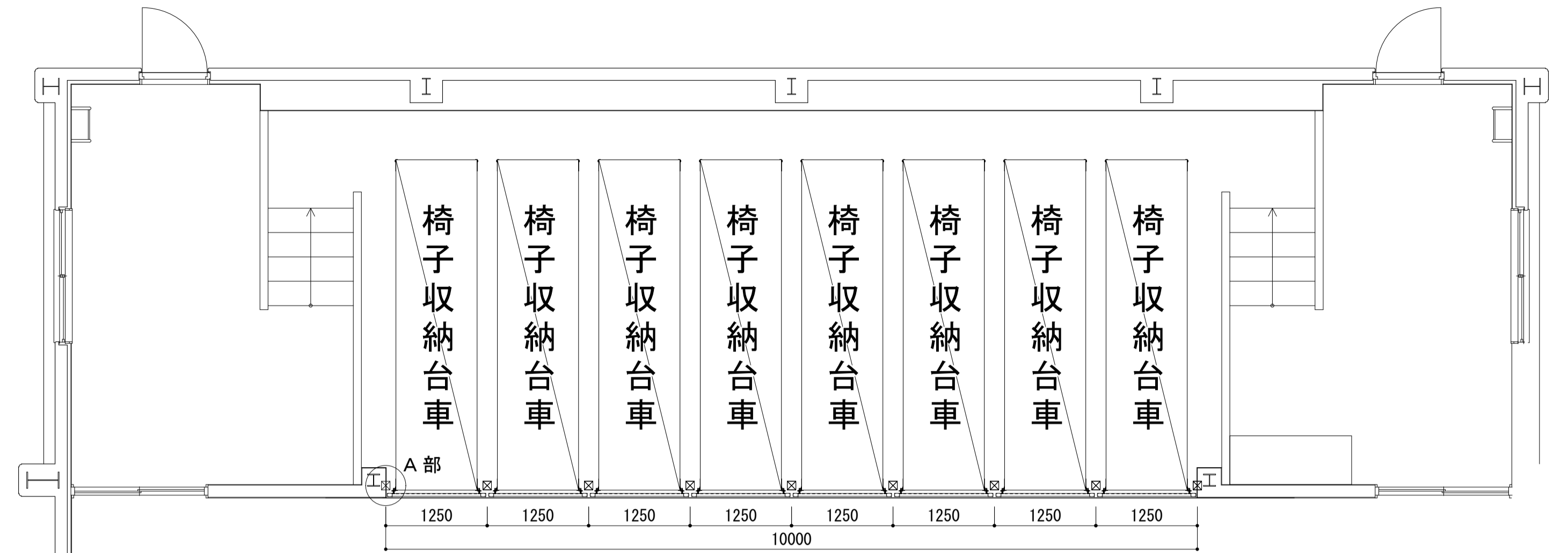
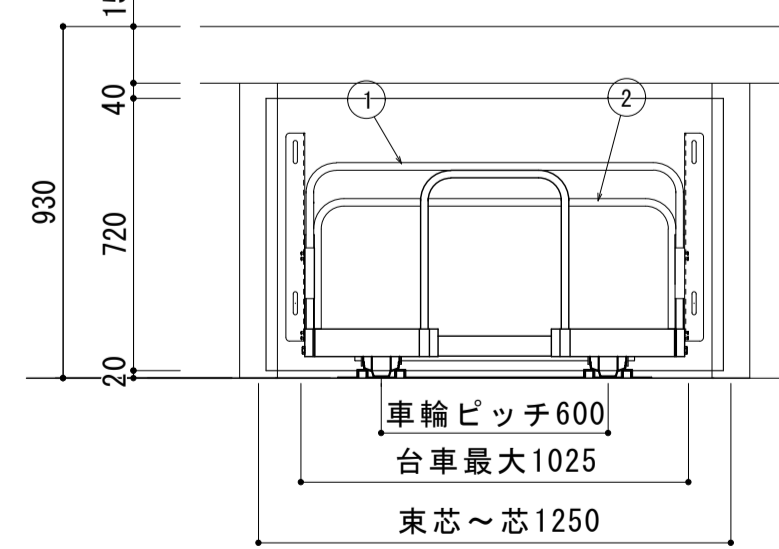
飾り板詳細図 (S=1/20)



飾り板断面図 (S=1/5)

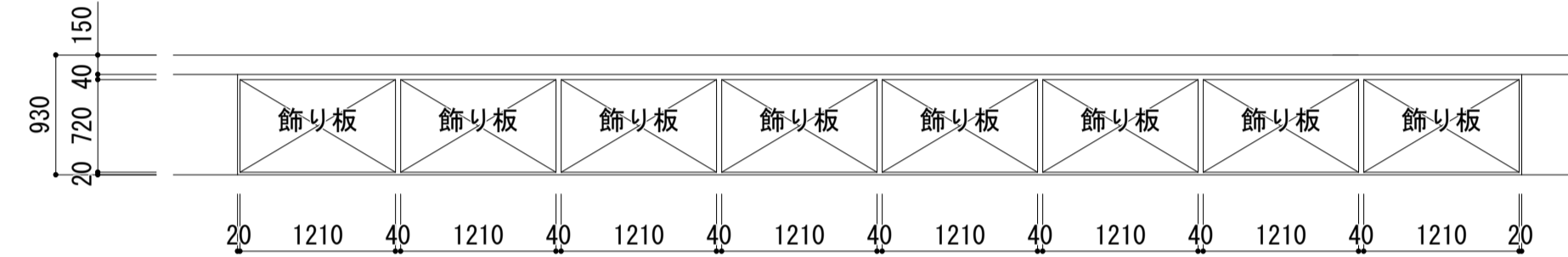


台車正面図 (S=1/25)



台車収納時平面配置図 (S=1/50)

ステージ正面図 (S=1/50)

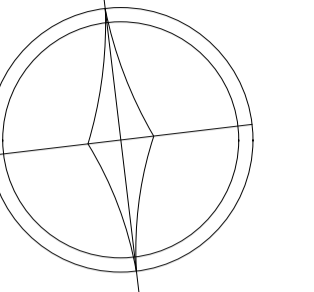


- 仕様
- MTトラック (同等品) 椅子収納台車 8ビット8台
寸法 W1000×L4000×H570
 - 飾り板 8ビット8枚
 - アルミ製移動階段NSM-1000H (同等品) 2台
 - レール下地 モルタル金ゴテ仕上げ

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押し手	角鋼 30×20×1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼 30×20×1.2	亜鉛メッキ
3	サイド枠	角鋼 30×20×1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結PLT1	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪サポートベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車輪	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面材 (カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付



真北



市道1000号線

8,000

ガードフェンス H=2000

変電設備

受水槽

倉庫

枠組本足場

作業員駐車場

ガードフェンス H=2000

トイレ

コンテナ

保管庫

現場事務所

屋内運動場

内部 体育室 ステージ 控室は枠組本足場とし
その他必要な部屋は脚立足場とする

6,000

校舎

渡り廊下

池養生

ガードフェンス H=2000

植栽一部撤去

植栽

植栽一部撤去

植栽一部撤去

ガードマン

工事車両搬入路

18,000

プール

校舎

体育

器具室

遊具撤去

職員駐車場・一般駐車場

市道1001号線

砂場

仮設計画図 1/200

海老名市
Ebina City



図面名称 仮設計画図

縮尺 S=1:200

工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号

A-35

電気設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名称: 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事
2. 工事場所: 神奈川県海老名市分衛寺二丁目13番1号
3. 建物概要: 建物名称: 屋内運動場, 構造: T 間 R 2 階, 階数: 2 階, 延べ面積 (㎡): 742.40, 建築面積 (㎡): 823.90, 消防法施行令別表第一による用途区分: 7 項

4. 工事項目 (○印の付いたものを適用する。)
工事種目: 屋外, 屋内, 工事種別: 屋外, 備考:
○電灯設備: 一式
○動力設備: 一式
○電線設備: 一式
○配管設備: 一式
○避雷設備: 一式
○受電設備: 一式
○電力計設備: 一式
○変圧設備: 一式
○構内情報通信設備: 一式
○構内交換設備: 一式
○情報表示設備: 一式
○放送・音響設備: 一式
○監視設備: 一式
○誘導支援設備: 一式
○テレビ共同受信設備: 一式
○配力カメラ設備: 一式
○防犯・入室管理設備: 一式
○自動火災検知設備: 一式
○中央監視制御設備: 一式

II. 特記仕様書
1. 一般事項
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官庁官庁庁舎建築部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)」、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版) (以下「標準仕様書」という。)、同部監修、環境建設部の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編、最新版)」(以下「標準図」という。)、及び国土交通省大臣官庁官庁庁舎建築部監修の「電気設備工事管理指針(最新版)」による。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

表 2 「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。
表 2 「機器取付高さ」
名 称 取付高さ (mm)
電力計 地上~窓中心 約 1,800
電圧検出装置 床下~中心 1,800~2,200
電線管(地下、室内) 床下~下端 (E-B3など) 床下~中心 1,500(上端1,900以下)
壁付アクトレット(一般) 床下~中心 300
スイッチ(一般) 床下~中心 1,300
コンセント(一般) 床下~中心 1,200
ファン用) 床下~下端 1,300
(扇用) 床下~中心 800~1,000
(機械室) 床下~中心 500~1,000
(土間) 床下~中心 800~1,300
ブラケット(一般) 床下~中心 2,100~2,300
(吊上) 2,000~2,500
避難口誘導灯 床下~下端 1,500以上
(床下) 床下~上端 1,000以下
壁掛形制御盤 床下~中心 1,500(上端2,000以下)
閉閉器 床下~中心 800~1,500
電話機用用ボタン 床下~中心 1,300
非常用照明器具(一般) 床下~中心 900
非常用照明器具(避難) 床下~中心 1,300
表示灯(一般) 床下~中心 2,100
表示灯(玄関手続) 床下~中心 2,300
表示灯(車庫) 床下~上端 1,300
非常用表示灯(備用ボタン付) 床下~上端 1,500
非常用表示ランプ スイッチ 床下~上端 250

1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 施工方法
4. 照明器具
5. 防災用照明器具
6. 照度測定
7. ハイテンションアウトレット
8. 人感センサープレート
9. 予備配管
10. 工事範囲及び施工方法
11. 電気配管
12. 電気方式
13. 施工方法
14. 警報装置
15. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
16. 機器への接続
17. 電動機等の接地
18. 遙相用コンデンサ
19. 電気自動車用充電装置
20. 風圧加重

21. 他工事との工事区分
22. 保温、結露防止
23. 電線類
24. 合成樹脂製可とう管
25. 二種金属製可とう管
26. 電線本数、管路など
27. インサート
28. 呼び線
29. フラッシュプレート
30. フロアプレートベース
31. 支持金物、固定金物
32. 架設アンカー
33. 接地極の種類・表示等
34. 総合調整
35. 山留め
36. 舗装工事
37. はつり
38. 再使用機器
39. 撤去後の清掃等
40. アスベスト
41. 有害物質の取り扱い

1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 施工方法
4. 照明器具
5. 防災用照明器具
6. 照度測定
7. ハイテンションアウトレット
8. 人感センサープレート
9. 予備配管
10. 工事範囲及び施工方法
11. 電気配管
12. 電気方式
13. 施工方法
14. 警報装置
15. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
16. 機器への接続
17. 電動機等の接地
18. 遙相用コンデンサ
19. 電気自動車用充電装置
20. 風圧加重

1. 電気方式
2. 施工場所及び仕様

1. 電気方式
2. 施工場所及び仕様

1. 電気方式
2. 施工場所及び仕様

1. 工事範囲
2. 受電部
3. 避雷導線
4. 接地極
5. 測定用補助接地極
6. 電気方式
7. 引込ケーブル
8. 配電盤
9. 主進断装置
10. 高圧機器類
11. 変圧器
12. 遙相用コンデンサ
13. リアクトル
14. 測定用補助接地極

1. 直流電源装置
2. 交流無停電電源装置
3. 工事範囲
4. 形式
5. 発電機
6. 原動機
7. 燃料
8. 太陽光発電装置

1. 工事範囲
2. 形式
3. 発電機
4. 原動機
5. 燃料
6. 太陽光発電装置

1. 電気交換機
2. 電話機への配線
3. ローションションアウトレット(鳥形架)
4. 保安器用接地

1. 工事範囲及び施工方法
2. 電気配管
3. 電気方式
4. 施工方法
5. 警報装置
6. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
7. 機器への接続
8. 電動機等の接地
9. 遙相用コンデンサ
10. 電気自動車用充電装置
11. 風圧加重

1. 工事範囲
2. 電気配管
3. 電気方式
4. 施工方法
5. 警報装置
6. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
7. 機器への接続
8. 電動機等の接地
9. 遙相用コンデンサ
10. 電気自動車用充電装置
11. 風圧加重

1. 工事範囲
2. 電気配管
3. 電気方式
4. 施工方法
5. 警報装置
6. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
7. 機器への接続
8. 電動機等の接地
9. 遙相用コンデンサ
10. 電気自動車用充電装置
11. 風圧加重

1. 工事範囲
2. 電気配管
3. 電気方式
4. 施工方法
5. 警報装置
6. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
7. 機器への接続
8. 電動機等の接地
9. 遙相用コンデンサ
10. 電気自動車用充電装置
11. 風圧加重

1. 工事範囲
2. 電気配管
3. 電気方式
4. 施工方法
5. 警報装置
6. 電磁閉鎖用押扣器(遠方操作)
7. 機器への接続
8. 電動機等の接地
9. 遙相用コンデンサ
10. 電気自動車用充電装置
11. 風圧加重

1. 工事範囲
2. 監視制御対象設備
3. 表示操作盤
4. 監視制御装置

1. 工事範囲
2. 電気方式
3. 布設方法
4. 柱上機器
5. 高圧ケーブルの端処理
6. その他
7. 外灯設備
8. 上下対策
9. 線路シールド

1. 工事範囲
2. 用途
3. 施工方法
4. 線路シールド

表 2 「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。
表 2 「機器取付高さ」
名 称 取付高さ (mm)
電力計 地上~窓中心 約 1,800
電圧検出装置 床下~中心 1,800~2,200
電線管(地下、室内) 床下~下端 (E-B3など) 床下~中心 1,500(上端1,900以下)
壁付アクトレット(一般) 床下~中心 300
スイッチ(一般) 床下~中心 1,300
コンセント(一般) 床下~中心 1,200
ファン用) 床下~下端 1,300
(扇用) 床下~中心 800~1,000
(機械室) 床下~中心 500~1,000
(土間) 床下~中心 800~1,300
ブラケット(一般) 床下~中心 2,100~2,300
(吊上) 2,000~2,500
避難口誘導灯 床下~下端 1,500以上
(床下) 床下~上端 1,000以下
壁掛形制御盤 床下~中心 1,500(上端2,000以下)
閉閉器 床下~中心 800~1,500
電話機用用ボタン 床下~中心 1,300
非常用照明器具(一般) 床下~中心 900
非常用照明器具(避難) 床下~中心 1,300
表示灯(一般) 床下~中心 2,100
表示灯(玄関手続) 床下~中心 2,300
表示灯(車庫) 床下~上端 1,300
非常用表示灯(備用ボタン付) 床下~上端 1,500
非常用表示ランプ スイッチ 床下~上端 250

完成書類 関係
※ 更新表 A3 (製本 A4 判) 竣工図、施工図 3 部
※ 完成図面電子データ (JIS形式及び PDF 形式) 1式
※ 本工区内設置事項に基づき市指定の工事書類 1式
※ 建築等の維持・保全に関する資料 1式
※ その他監督員が指示したものを 1式

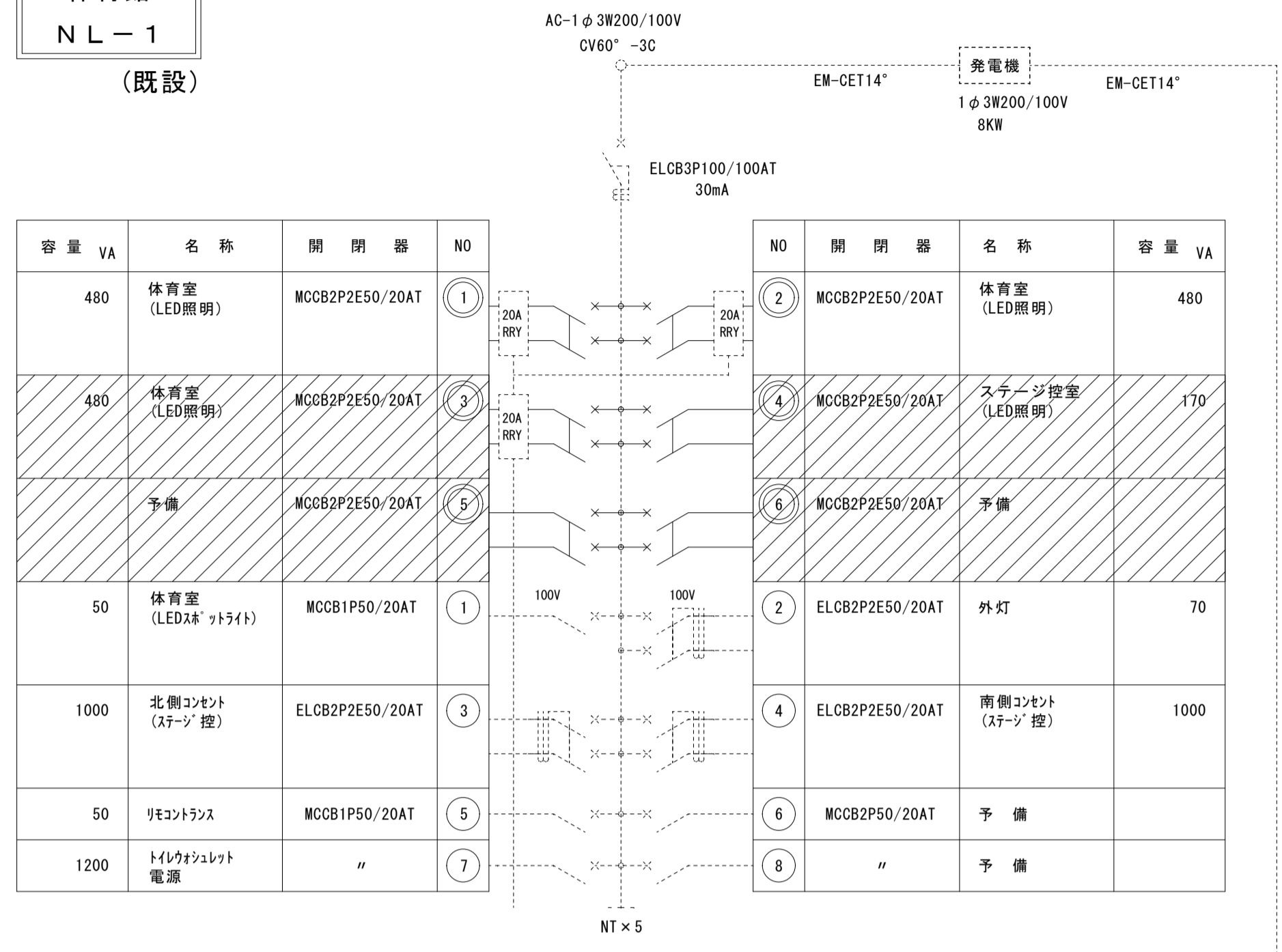
工事写真
※ 作成する
工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法図、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。これらのものについては、その品質、性能が図面と同等級品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。



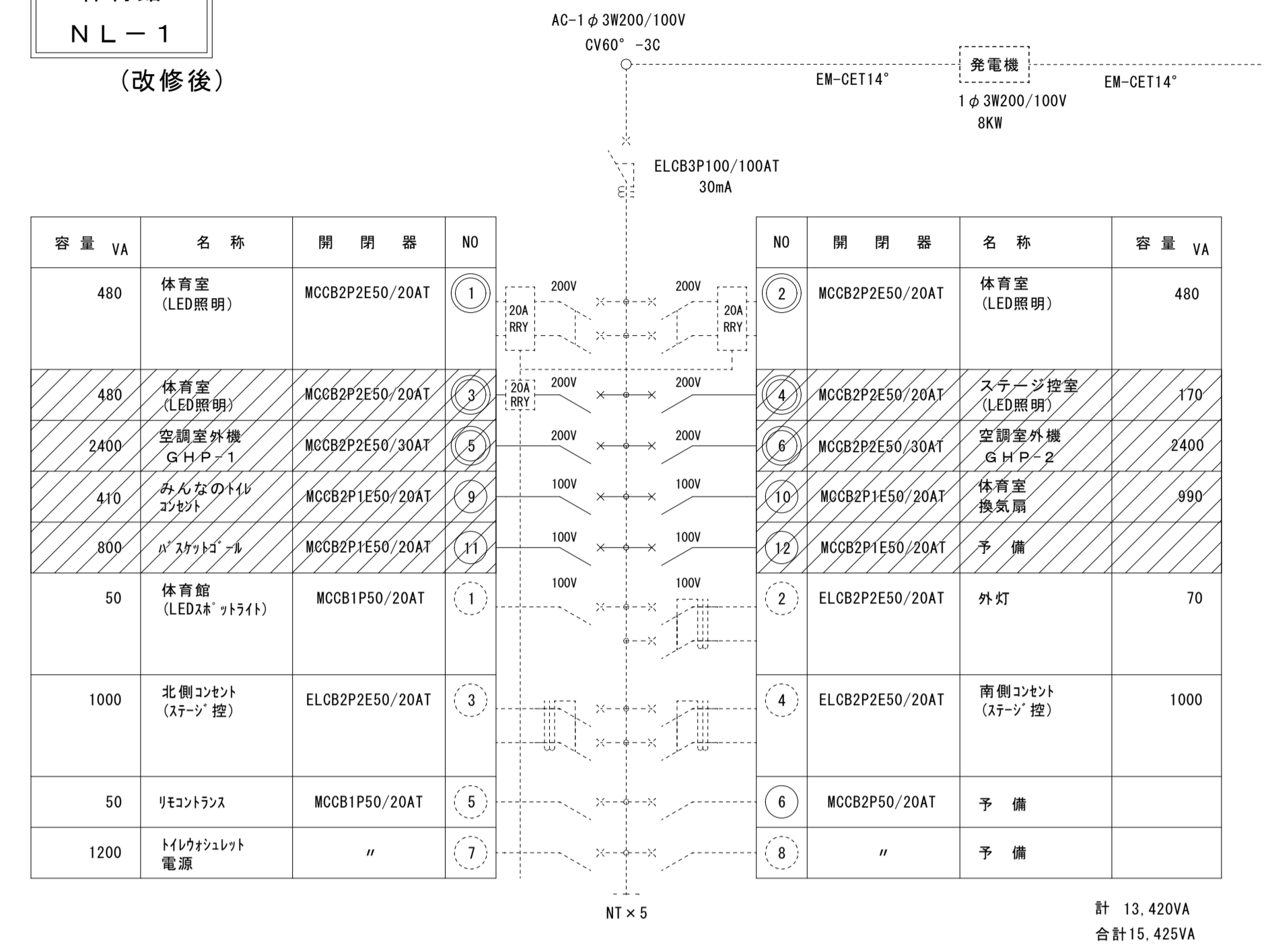
体育館
NL-1

(既設)



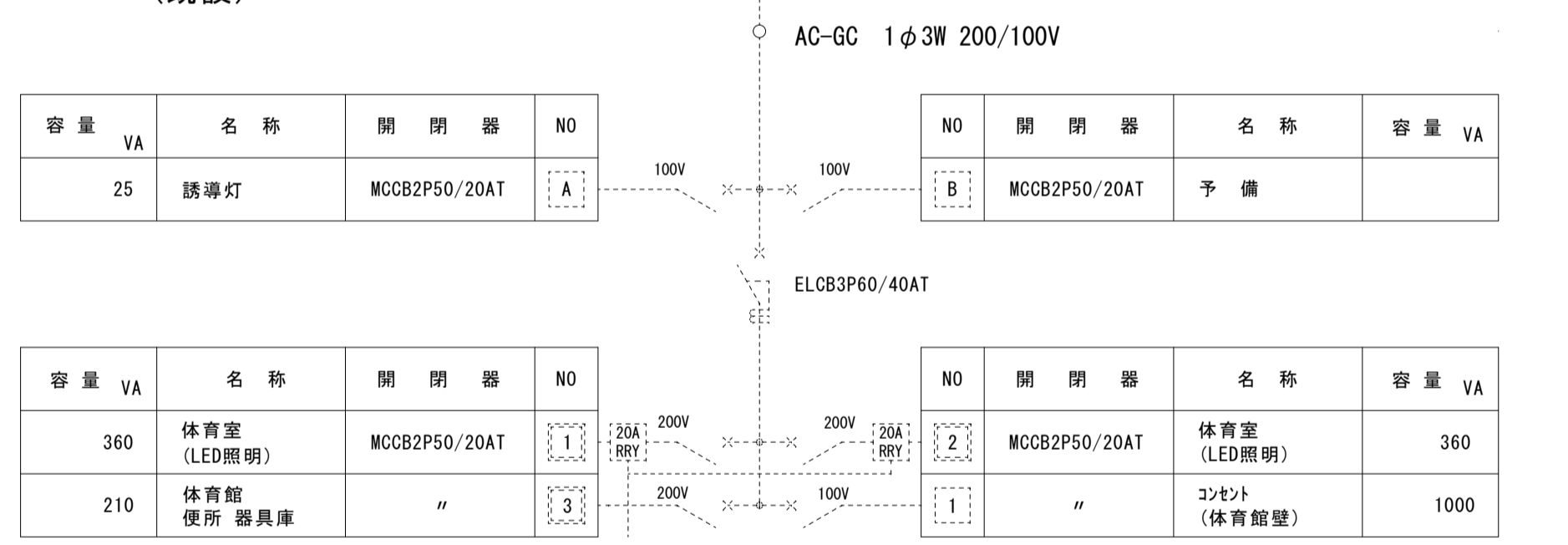
体育館
NL-1

(改修後)



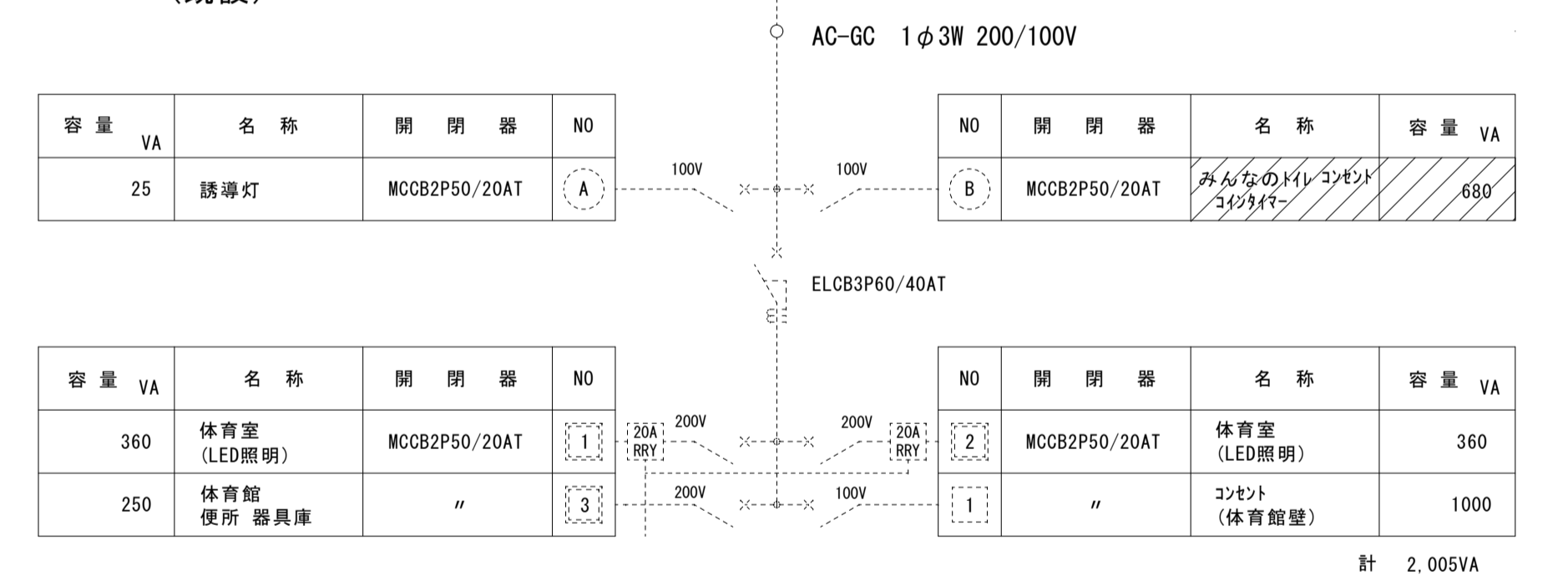
体育館
L-2

(既設)



体育館
L-2

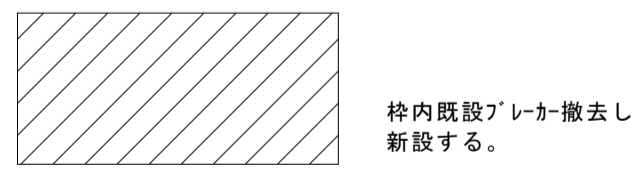
(既設)



凡例

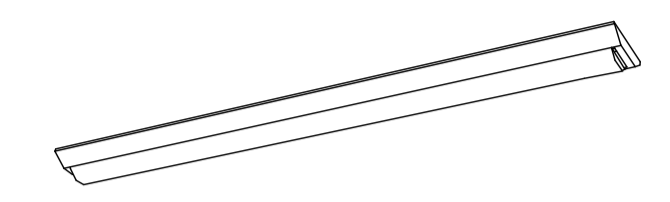
- 注記 (各盤共通)
- 図中記号は、下記による。
 - ① 回路盤号 AC-1φ 2W-100Vを示す。
 - ② 回路盤号 AC-1φ 2W-200Vを示す。
 - ① 回路盤号 AC-GC-1φ 2W-100Vを示す。
 - ① 回路盤号 AC-GC-1φ 2W-200Vを示す。
 - 改修後の分岐用遮断器は、JIS協約1Pモジュールとし100Vは、1E、200Vは、2Eとする。
3. 凡例
- 分岐 配線用ブレーカー
 - 分岐 漏電ブレーカー 30mA
 - 20A7&W-リモコンリレー 種数は、ブレーカーによる。
 - 実線は撤去 新設を示す。
 - 破線は既設を示す。

凡例

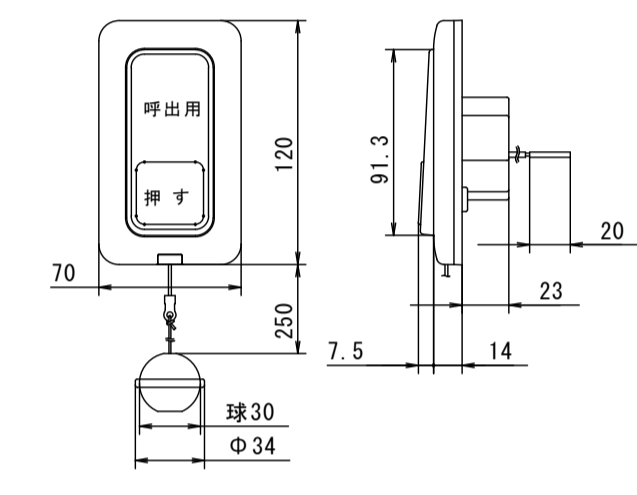


LEDベースライト直付型40形

公共施設型番 LSS9-4-30



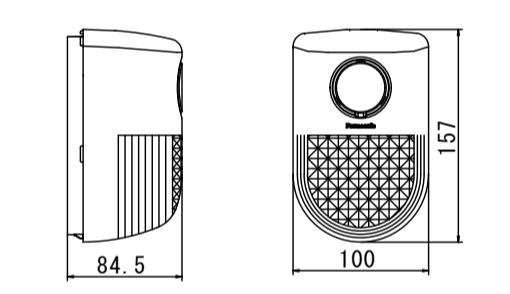
埋込プルスイッチ付押釦スイッチ 常開形



定格 30V 0.1A

WS 65771

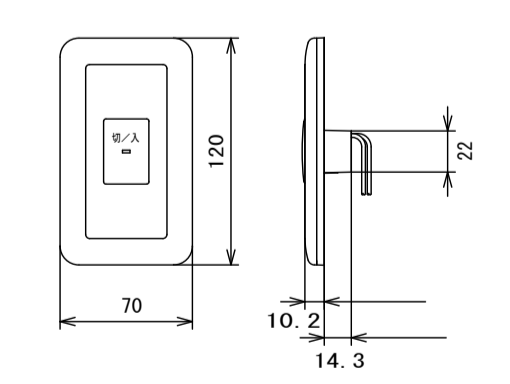
警報ランプ付プザー (屋外用) (AC100V)



定格	電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	-10°C ~ +50°C
質量	約530g
音圧	警報音: 約90dB (前方1mにて) 報知音: 約65dB (前方1mにて)

EA5501相当品

復旧スイッチ

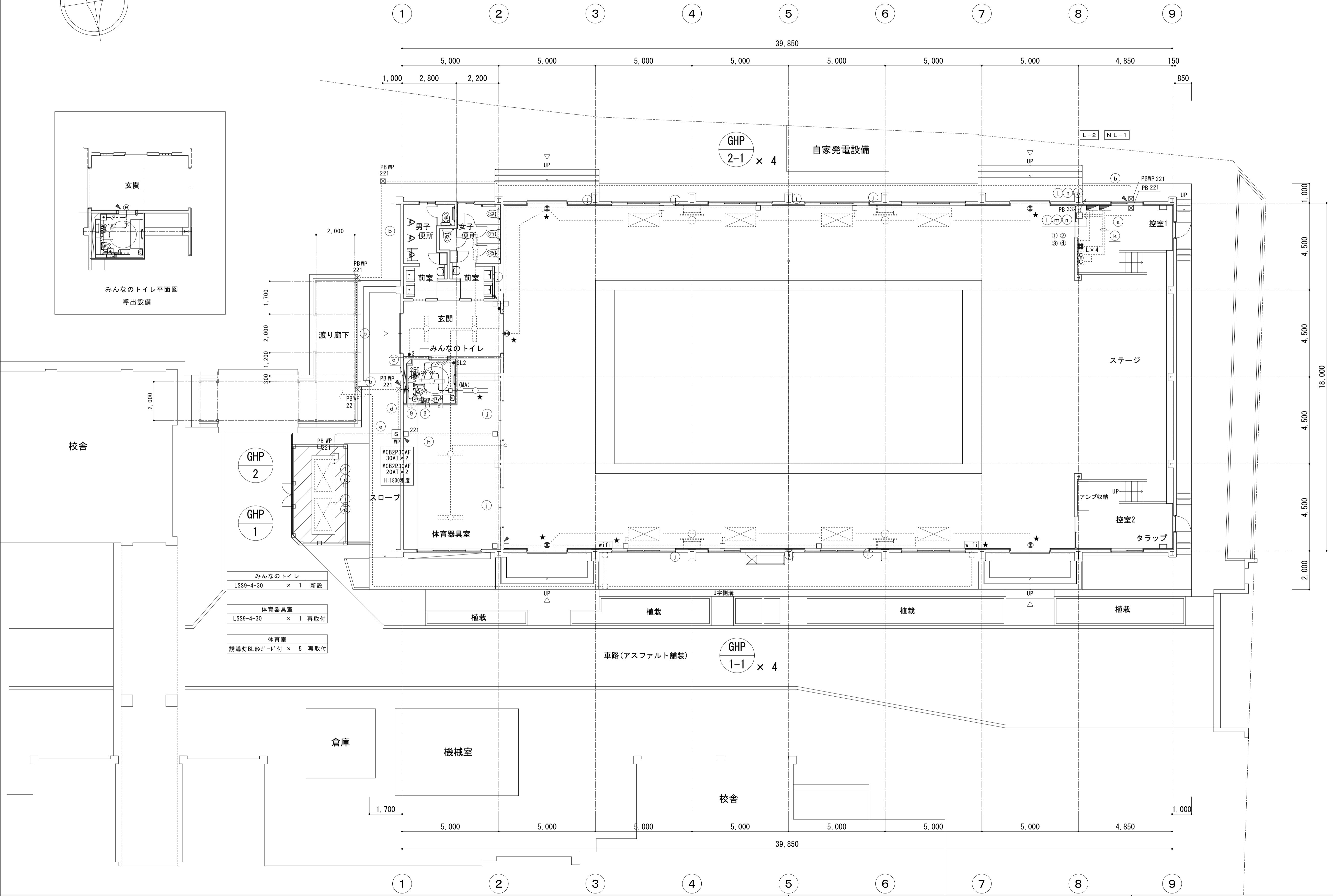
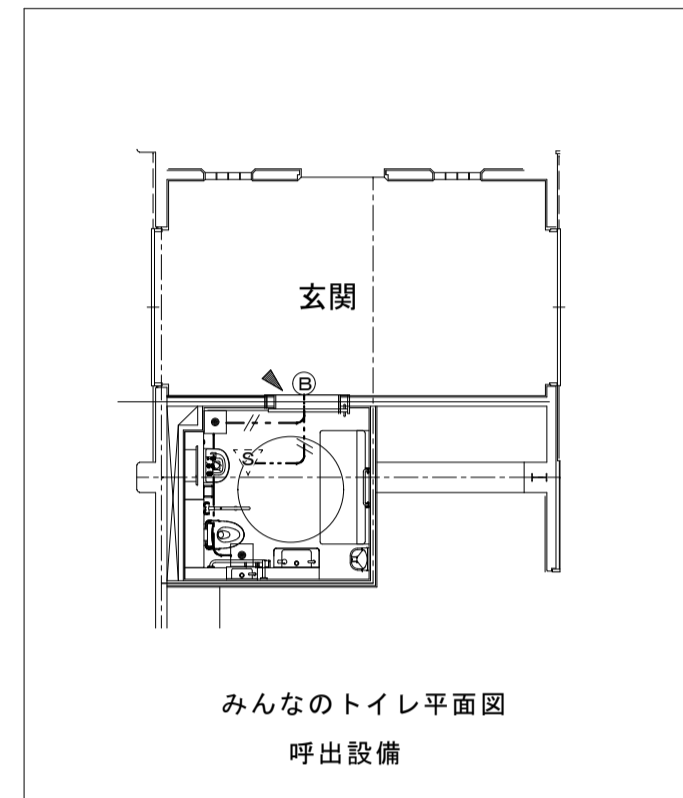
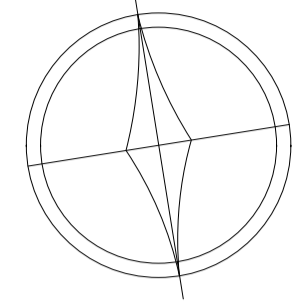


器具姿図



改修

真北



- 工事概要
1. トイレ・バス・シャワー・新設に伴う電気設備工事を行う。
 2. 機械設備の空調機器新設に伴う電気設備工事を行う。
 3. 建築改修に伴ない誘導灯ほかの取外し再取付を行う。
 4. トイレ新設に伴ない照明器具等の移設を行う。

凡例

記号	名称	規格・形式
■	電灯分電盤	N L-1 改修
S WP	手元開閉器盤	屋外防水型銅板製
○	照明器具	LED一体型用 LSS9-4-30
⊙	避難口誘導灯	BL形が'-1'付
●	埋込スイッチ	1P15A×1
●3	埋込スイッチ	3W15A×1
●L	埋込スイッチ	1P15A×1 1P15A×1付
⊖	埋込コンセント	2P15A×1
⊖ET	埋込コンセント	2P15A×1 接地端子付
⊖EET	埋込コンセント	2P15A×1 接地種+端子付
⊙3P-1P15A	引掛コンセント	3P15A+2P15A接地付 3'分
⊙3P15A	引掛コンセント	3P15A×1 125V 3'分
	コンセントの電流値・個数は傍記による。	
▽	天井埋込形 人感センサー 観機	
●SL2	操作スイッチ	2回路用 8'-1'付
□	呼出ボタン	(ひも付)
Ⓚ	警報ラフ付プザー	AC100V
□	ブネックス	221:200口×100 特記なきは100口×100
WP	手元開閉器	電力用はET付とする。
▲	はつり補修	
★	既設取外し後再取付を示す。	
○	コウライ	(機械設備工事)
WiFi	wifiアンテナ	(再取付)
---	天井内隠ぺいケーブル配線	
---	露出配管配線	屋内:塗装 屋外:溶融亜鉛メッキ管
---	地中埋設配管配線	
---	既設配線を示す。	

記号	電線・ケーブル	電線管	摘要
a	EM-CE8* -2C×2	(E39)	5 6 空調機
	EM-CE5.5* -2C×2E2.0 (E39)		9 B トイレ
b	EM-CE8* -2C×2	(G36)	空調機
	EM-CE5.5* -2C×2E2.0 (G36)		トイレ
c	EM-EEF2.0-3C×2	(PF28)	トイレ
d	EM-CE8* -2C×2E2.0 (G36)		空調機
e	EM-CE5.5* -2C×2E2.0 (G36) (FEP40)		室外機
	EM-CE3.5* -2C×2 (G36) (FEP40)		室内機
f	EM-CE5.5* -2C×2E2.0 (G28) (F2WP30)		室外機
	EM-CE3.5* -2C (G22) (F2WP24)		室内機
g	JIS協約が'ELCBP30/20AT自立ユニット内取付		各1台
h	EM-IE2.0×4E2.0 (E25)		室内機
j	EM-IE2.0×2E2.0 (E19) (F2WP17)		室内機
k	EM-IE1.6×5 (E25)		換気扇
	EM-IE2.0×2E2.0 (E19)		8 コウライ
l	EM-IE5.5* ×2 E2.0 (E25)		11 ハスガ
m	EM-IE2.0×2 (E19)		10 換気扇
n	EM-IE2.0×10E2.0 (E31)		既設照明
	EM-IE2.0×6 (E25)		既設回路
	FOPEO.9-5P (E25)		既設接続
p	EM-IE1.6×6 (E25)		換気扇

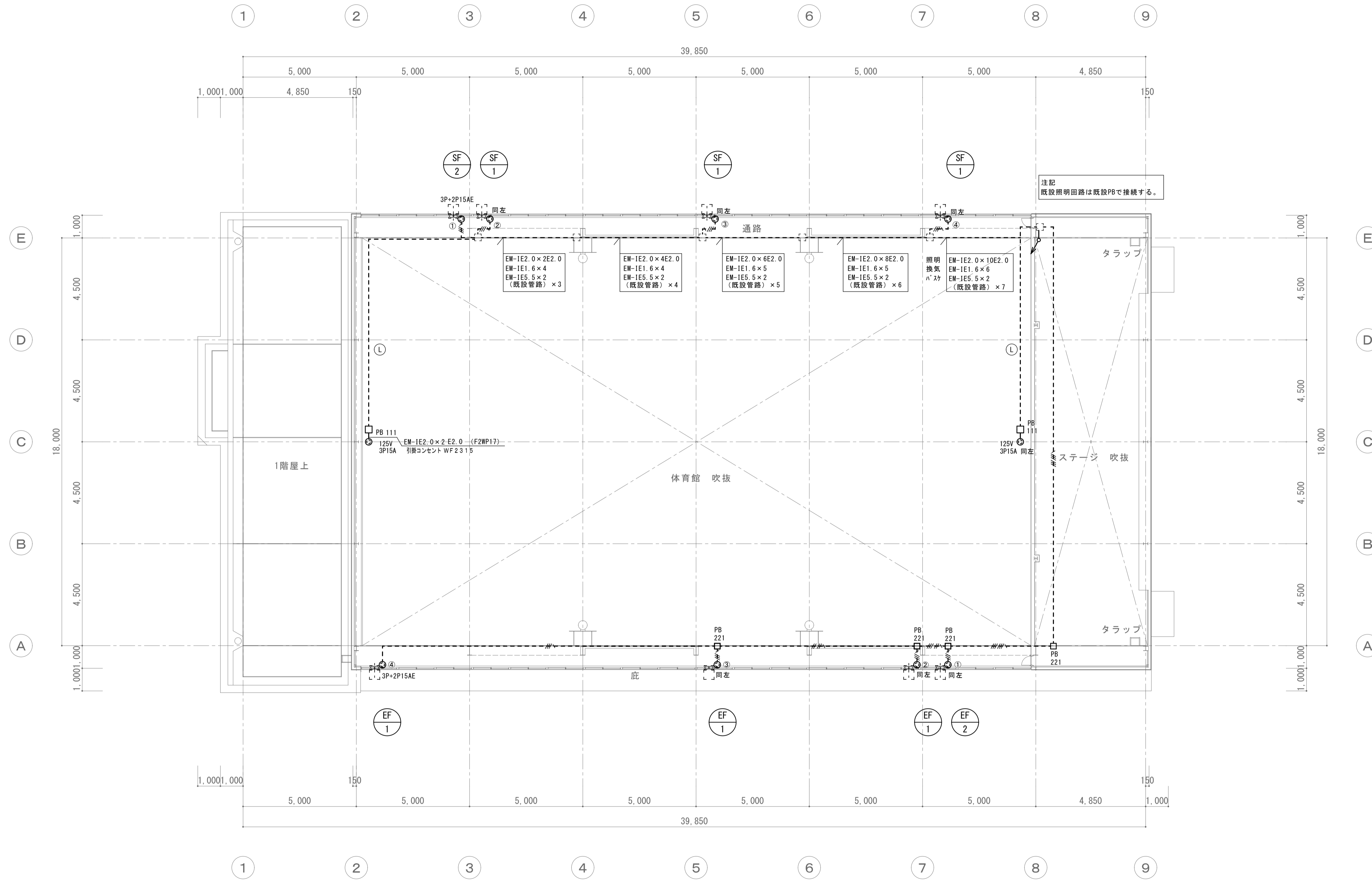
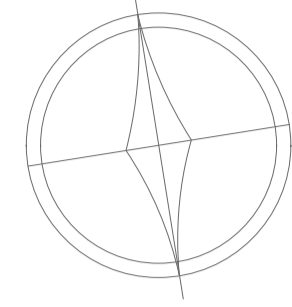
特記なき配線は、下記による。

記号	電線・ケーブル	壁内隠ぺい保護管
---	EM-EEF2.0-3C	(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C	(PF22)
---	EM-EEF1.6-3C	(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C×2	(PF22)
---	EM-EEF1.6-2C+3C	(PF22)
---	EM-IE2.0×2E2.0 (PF16)	
---	EM-IE2.0×2E2.0 (E19)	露出配管(屋内)
---	EM-IE1.6×3E1.6 (E19)	"
---	EM-IE1.6×4E1.6 (E25)	"
---	EM-IE1.6×5E1.6 (E25)	"
---	EM-IE2.0×6E2.0 (E25)	"

---(MA) 一種金属線び (99&E-A形)



真北

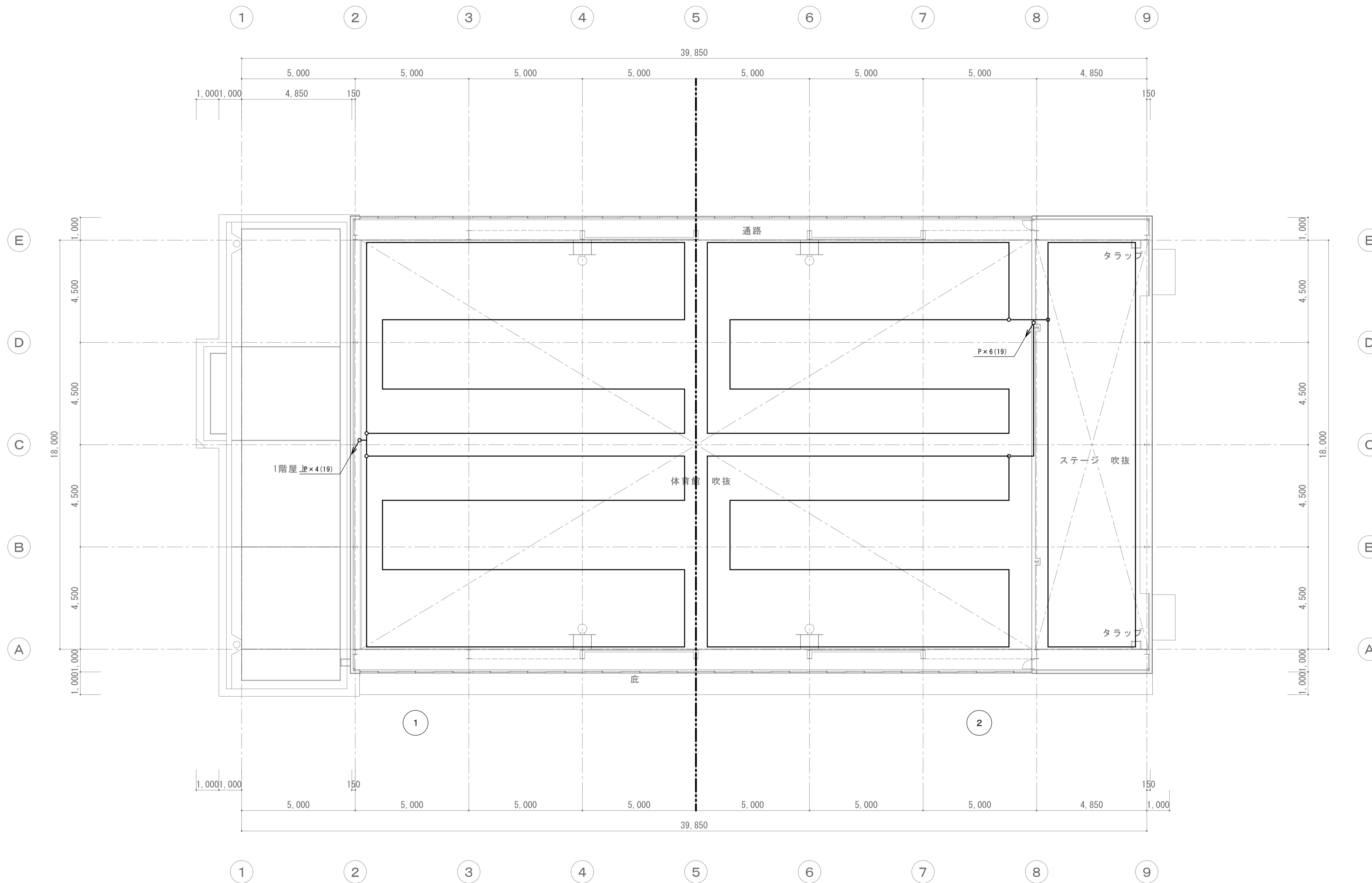
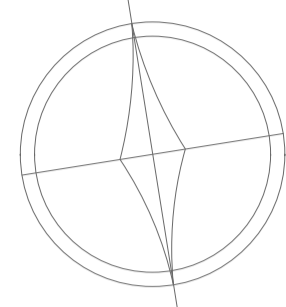


2階平面図 1/100



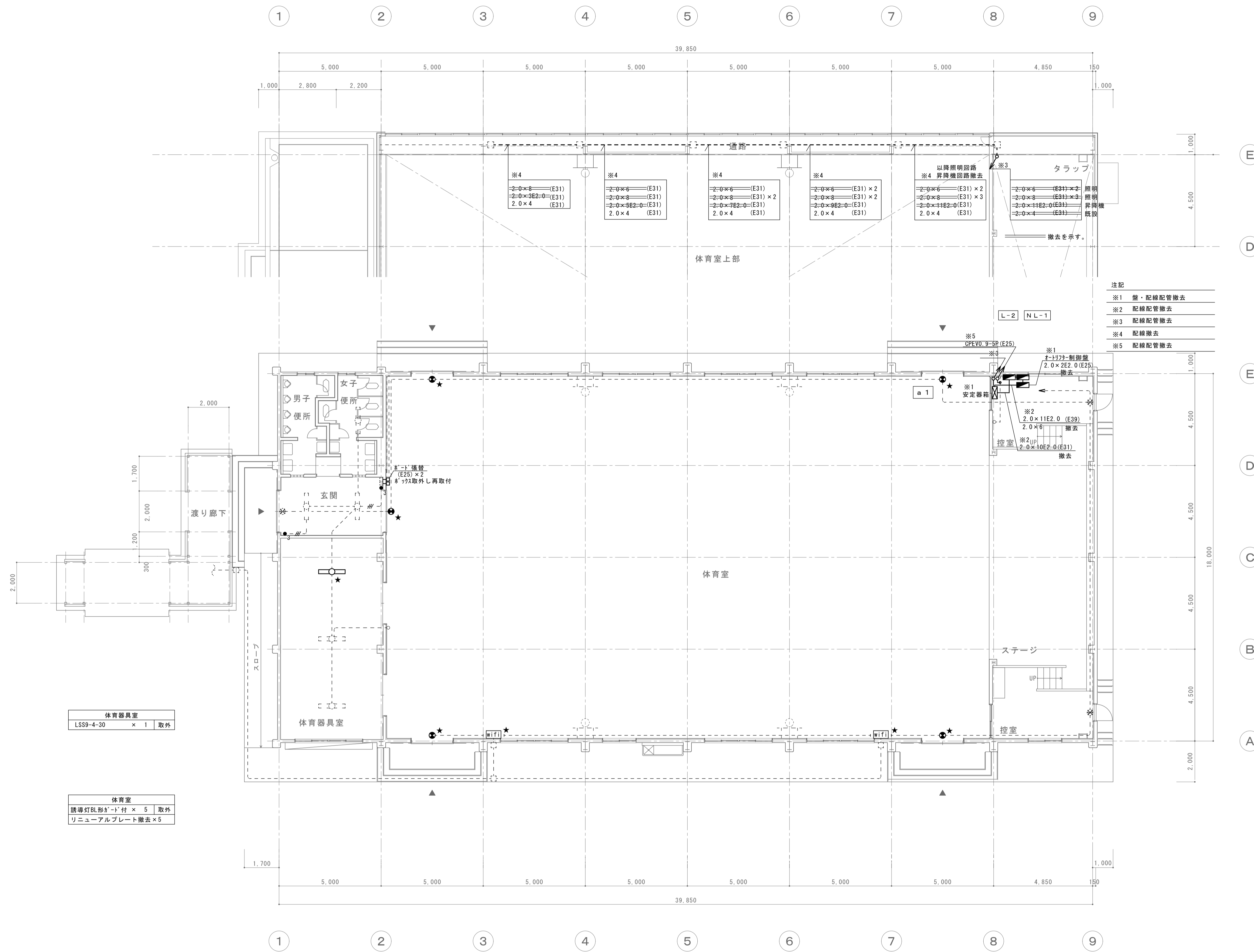
図面名称	電灯設備 2階平面図	図面番号	E-04
縮尺	S=1:100		
件名	海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事		

真北



2階平面図 1/100





- 工事概要
1. 建築改修に伴ない誘導灯ほかの取外し再取付を行う。
 2. トイレ新設に伴ない照明器具の移設を行う。
 3. 不要は配管配線一式撤去。

凡例

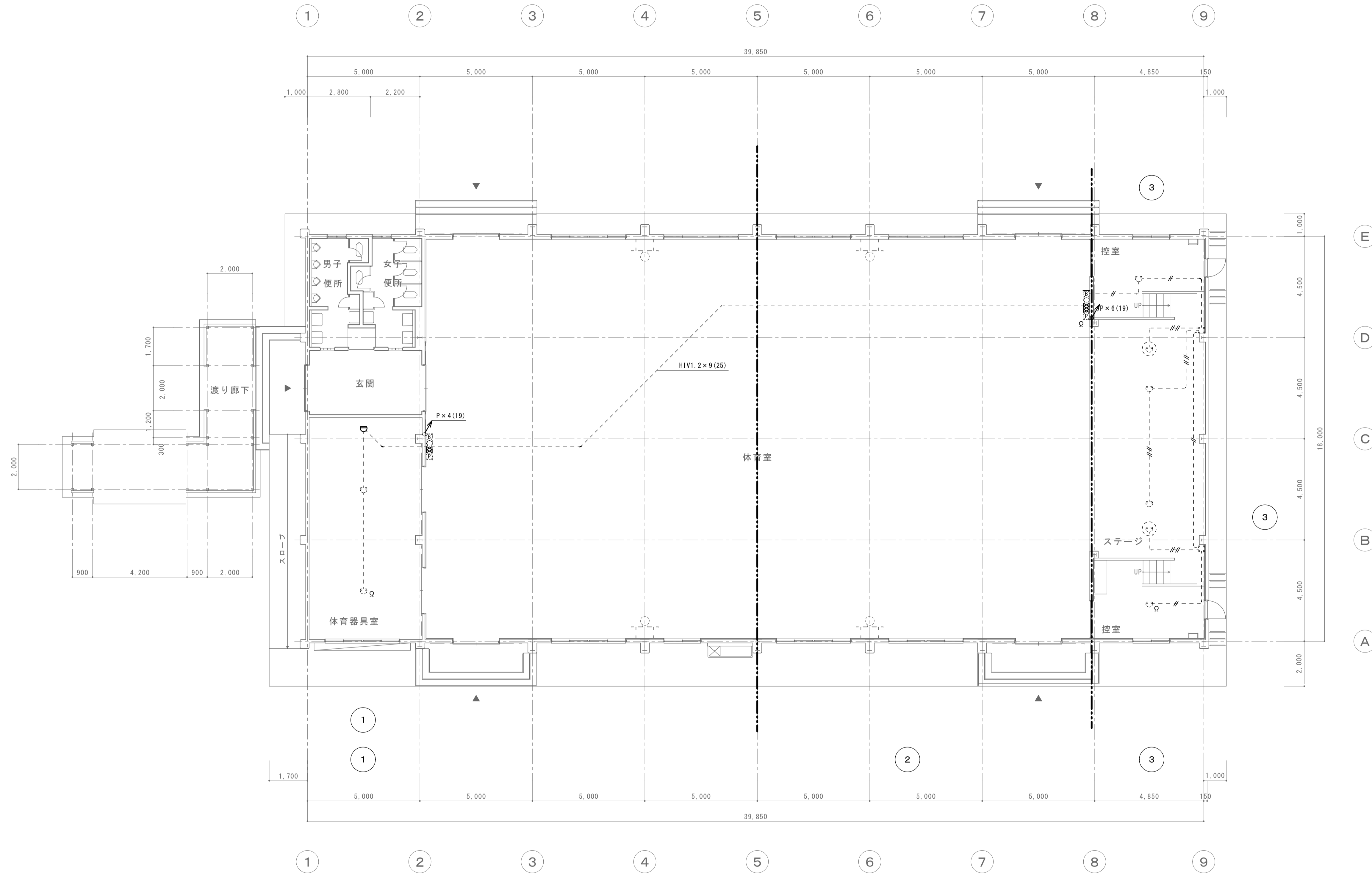
記号	名称	規格・形式
■	電灯分電盤	NL-1改修
□	照明器具	LED一体型用 取外し再取付
●	避難口誘導灯	BL形が'-t'付 取外し再取付
●	埋込スイッチ	1P15A×1
●	埋込スイッチ	3W15A×1
⊖	埋込コンセント	2P15A×1
□	アタッシュボックス	221:200口×100
★	既設取外し後再取付又は移設を示す。	
[wifi]	wifiアンテナ	取外し再取付
---	既設配線を示す。	
—	2.0×2E2.0 (E19)	撤去
—	1.6×2E1.6 (E19)	撤去
—	1.6×3 (E19)	撤去
躯体内埋込配管は残置とする。		

- 注記
- ※1 盤・配線配管撤去
 - ※2 配線配管撤去
 - ※3 配線配管撤去
 - ※4 配線撤去
 - ※5 配線配管撤去

体育器具室
LSS9-4-30 × 1 取外

体育室
誘導灯BL形が'-t'付 × 5 取外
リニューアルプレート撤去×5





工事概要

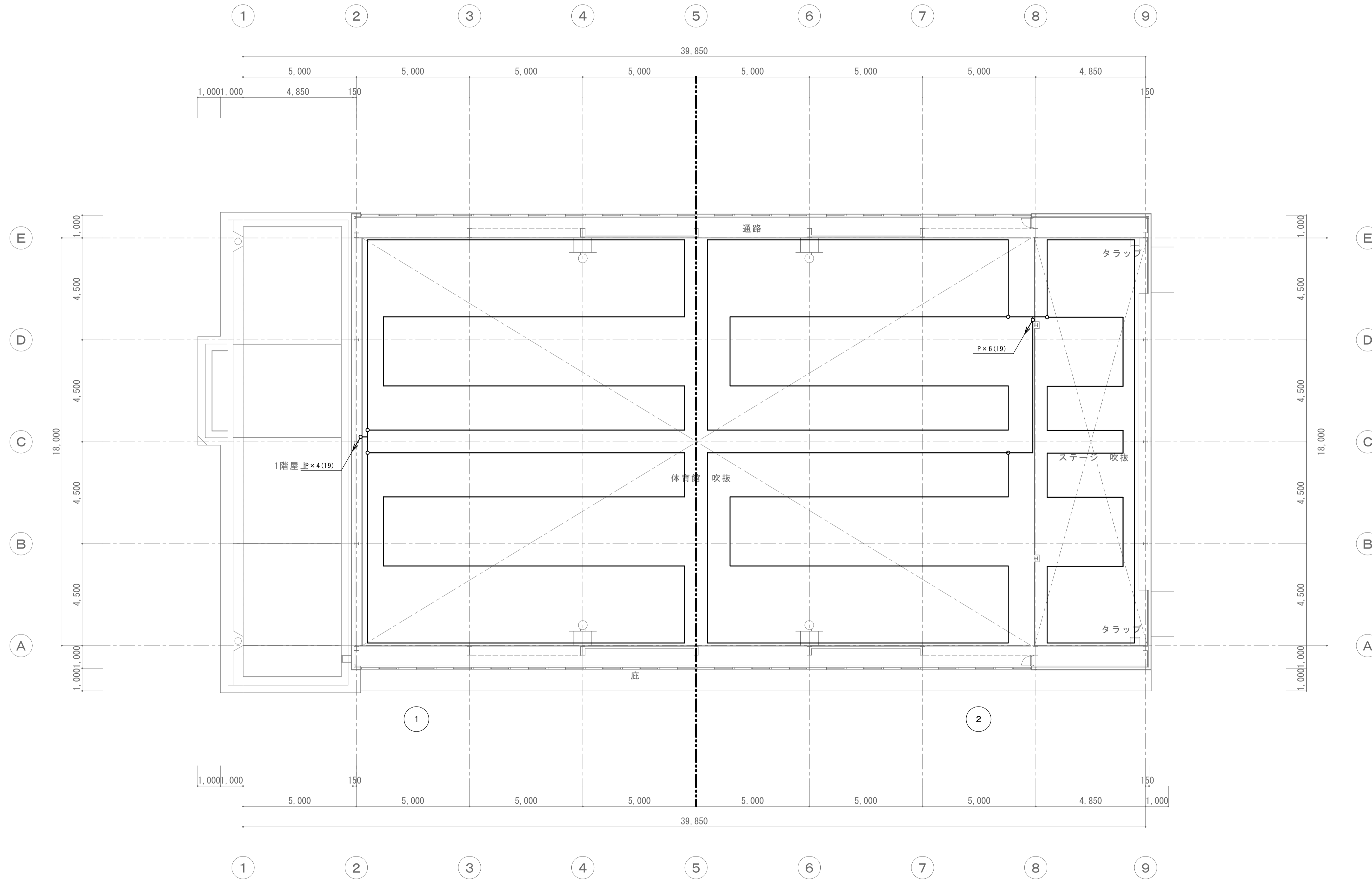
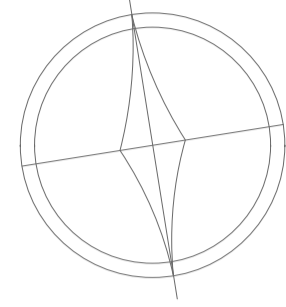
1. 建築改修に伴ない空気の更新を行う。
2. トイレ新設に伴ない感知器の移設を行う。

記号	名称	規格・形式	摘要
⊙	発信機	P型1級	既設
⊙	電鈴	DC24V	既設
⊙	表示灯	AC24V	既設
□	機器収容箱		既設
⊙	差動式スポット型感知器	2種	撤去
⊙	差動式スポット型感知器	2種	既設
⊙	差動式スポット型感知器	2種	ステージ下
⊙	差動式分布型感知器の検出部	2種用 3種用	撤去
⊙	差動式分布型感知器 (空気管式)		撤去
Ω	終端抵抗		既設
AE1.2-2C			撤去
AE1.2-4C			撤去
P×4(19)	空気管×4	(既設管路)	撤去
P×6(19)	空気管×6	(既設管路)	撤去
---	警戒区域境界線		
---	細破線は既設を示す。		
(N)	警戒区域番号	火災報知器	



既存

真北



2階平面図 1/100



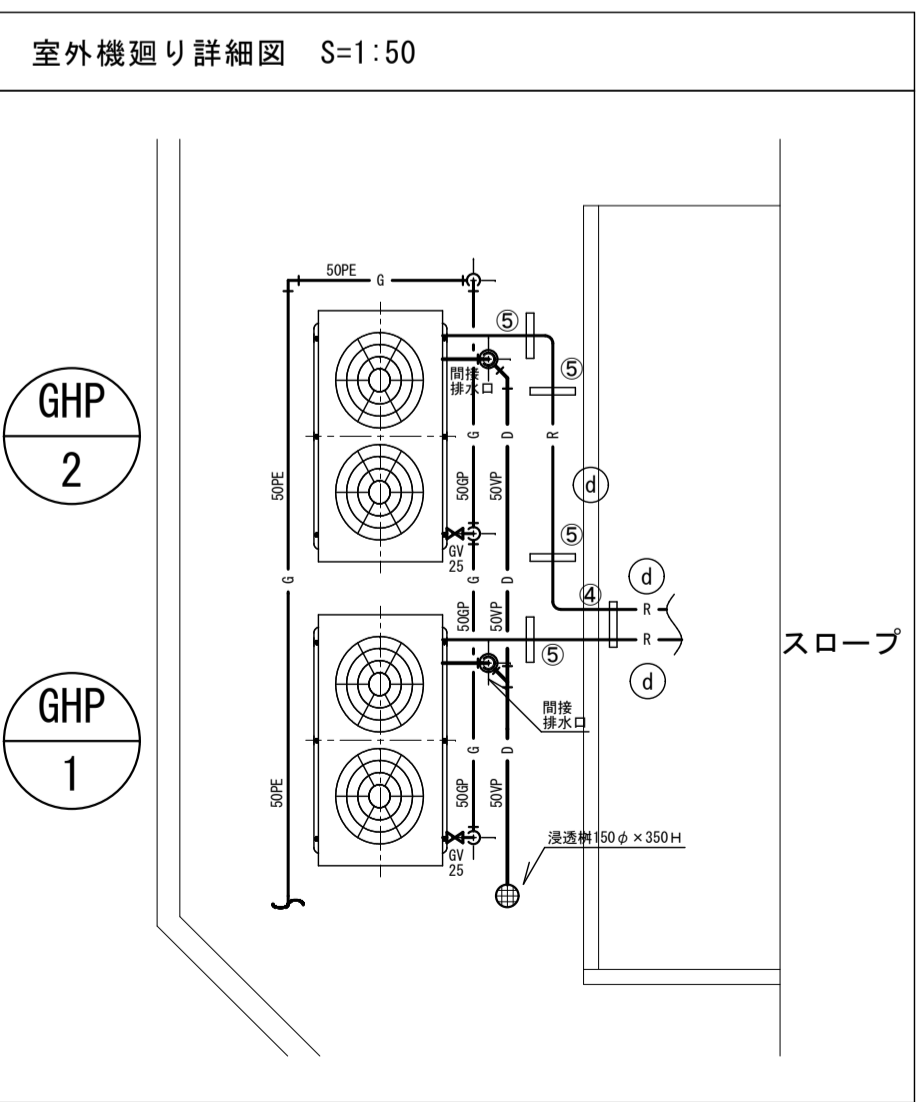
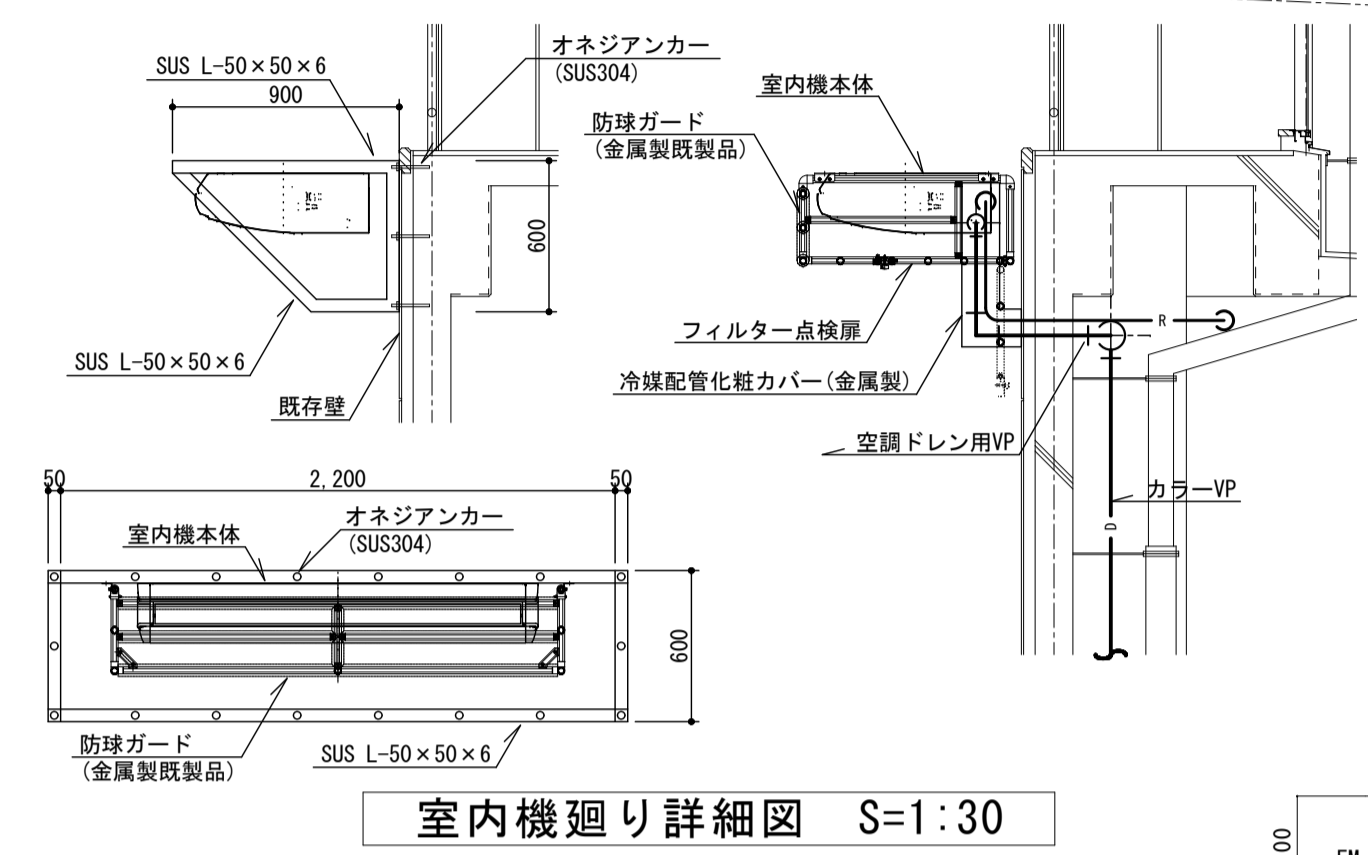
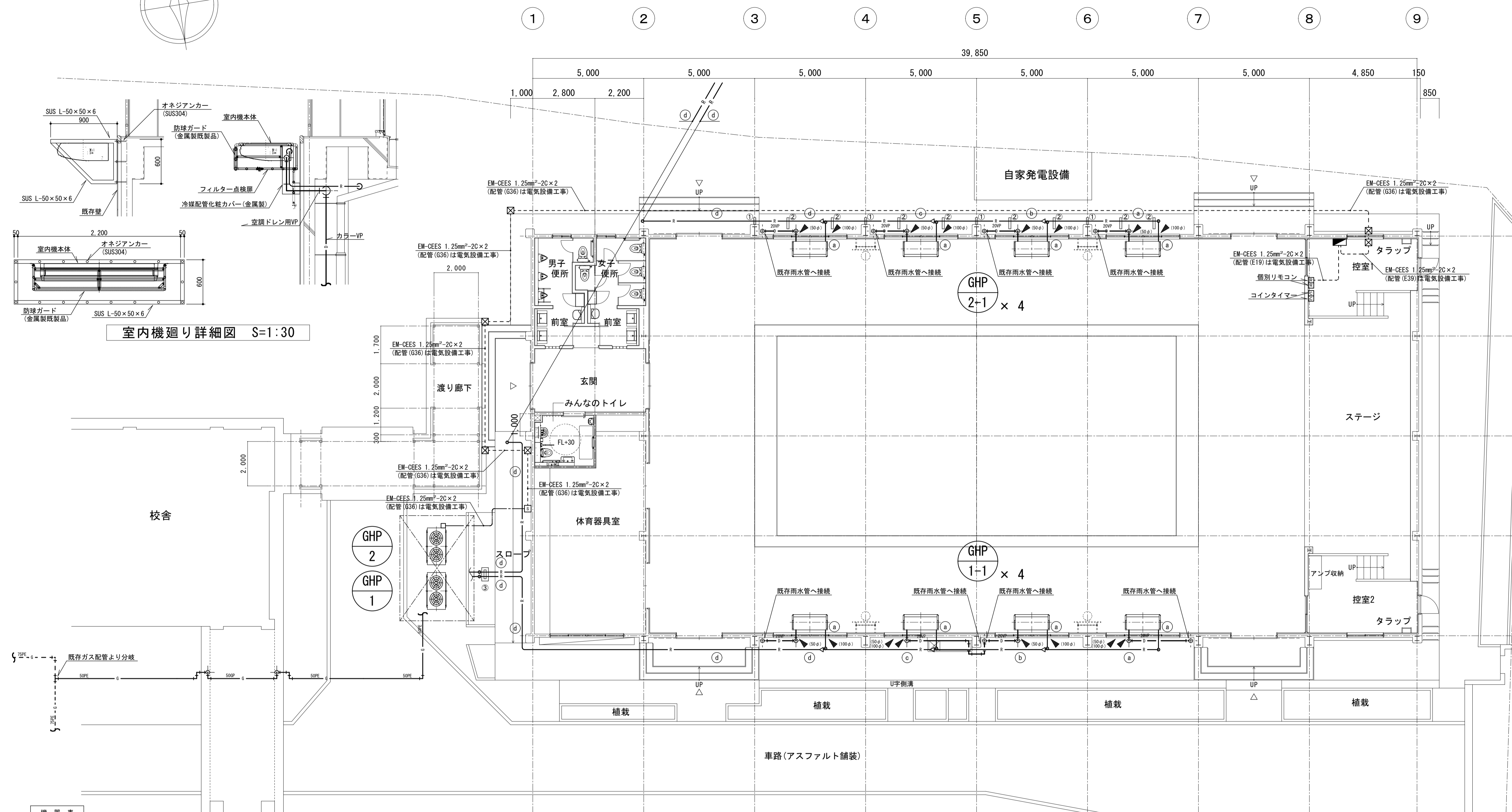
図面名称	火災報知設備 2階平面図 (撤去図)	図面番号	E-09
縮尺	S=1:100		
件名	海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事		

改修

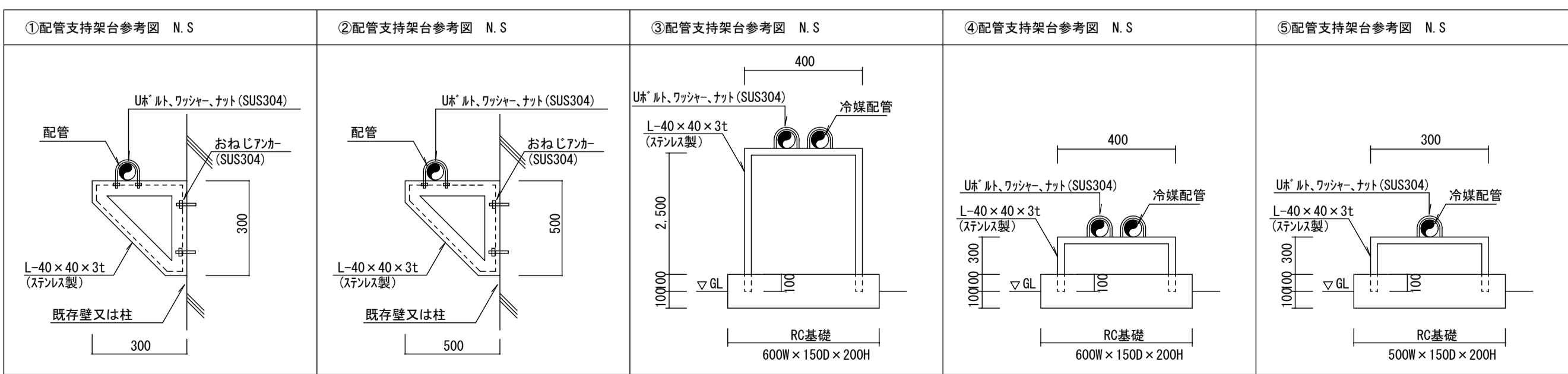
真北

記号	冷媒管(CUP) (液管/ガス管)	制御配線	電源配線
ⓐ	9.5φ/15.9φ	EM-OES-1.25 ² -2C	EM-EEF-2.0 ² -3C
ⓑ	9.5φ/22.2φ	EM-OES-1.25 ² -2C	EM-EEF-2.0 ² -3C
ⓒ	12.7φ/28.6φ	EM-OES-1.25 ² -2C	EM-EEF-2.0 ² -3C
ⓓ	15.9φ/28.6φ	EM-OES-1.25 ² -2C	EM-EEF-2.0 ² -3C

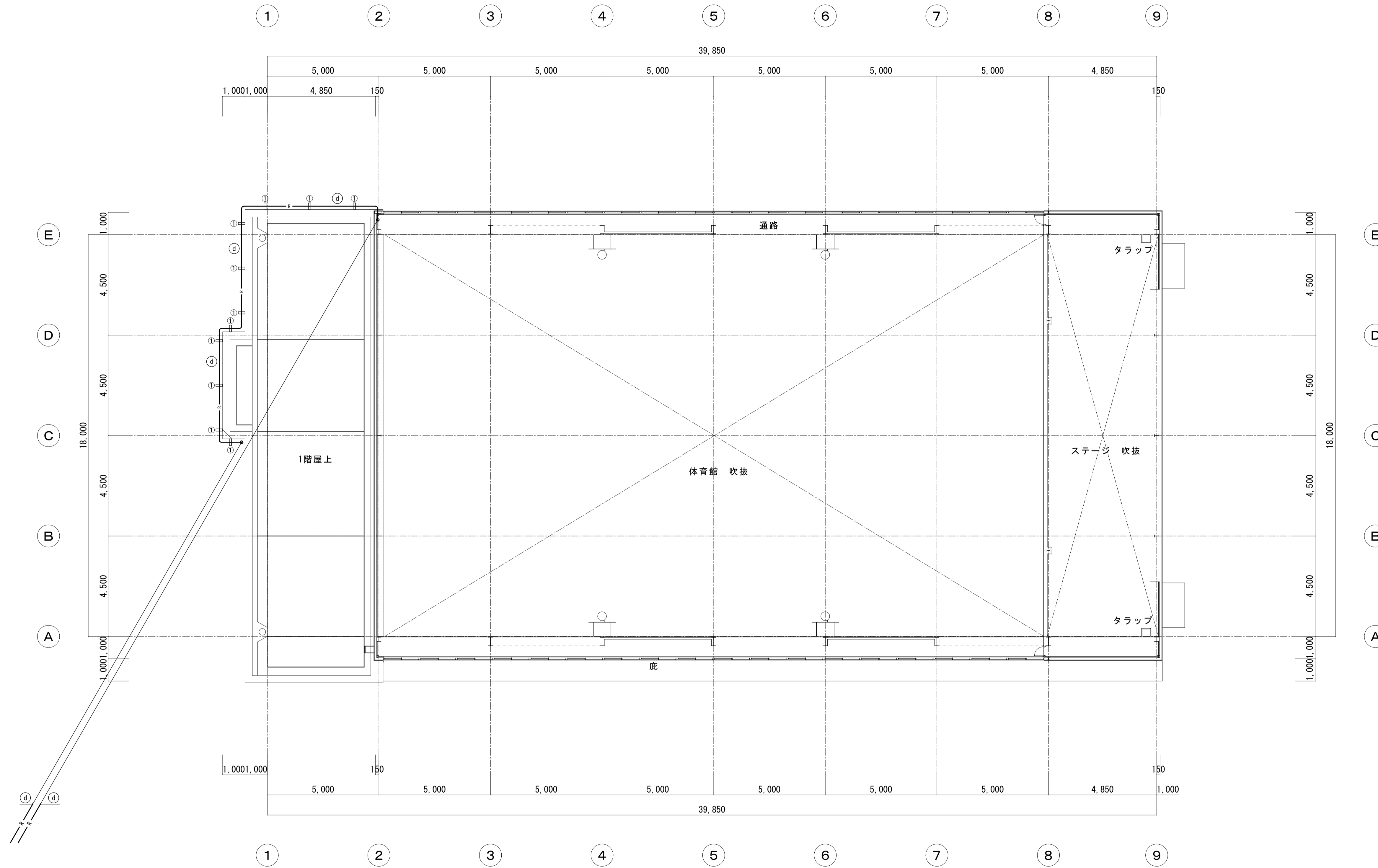
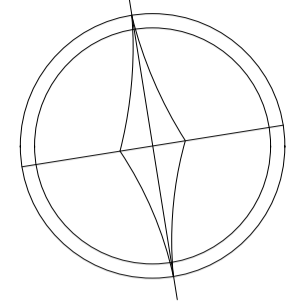
- 注記
- 部分をはつり補修部分とする。
 - 本図中の実線部分は改修範囲を示す。
 - 本図中の破線部分は既存設備を示す。



記号	機器名称	仕様	電気容量		台数	設置場所		備考	
			相	電圧(V)		出力(kW)	階		室名
GHP-1	室外機	形式：ガス吹き空冷ヒートポンプマルチエアコン(電源自立型)	1	200	1.66	2	1	室外機置場	コンクリート基礎(建築工事)
GHP-2	室外機	冷房能力：56.0kW 暖房能力：63.0kW ガス消費量：13A 冷房41.9kW 暖房39.7kW 冷媒：R410A 付属品：SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3 その他標準付属品共	1	200	1.66	2	1	室外機置場	コンクリート基礎(建築工事)
GHP-1-1	室内機	形式：天井形	1	200	8	1	1	体育館	金属製防球ガード
GHP-2-1	室内機	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW 付属品：ゴムパッド その他標準付属品共	1	200	8	1	1	体育館	金属製防球ガード
R	個別リモコン	形式：ワイヤードリモコン 機能：運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー 付属品：鍵付リモコンボックス	1	100	2	1	1	控室1	
C	コインタイマー	形式：コインタイマー 仕様硬貨：100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間：10分~190分(10分単位)	1	100	0.004	2	1	控室1	屋内機用中継基盤共 電源供給は電気工事



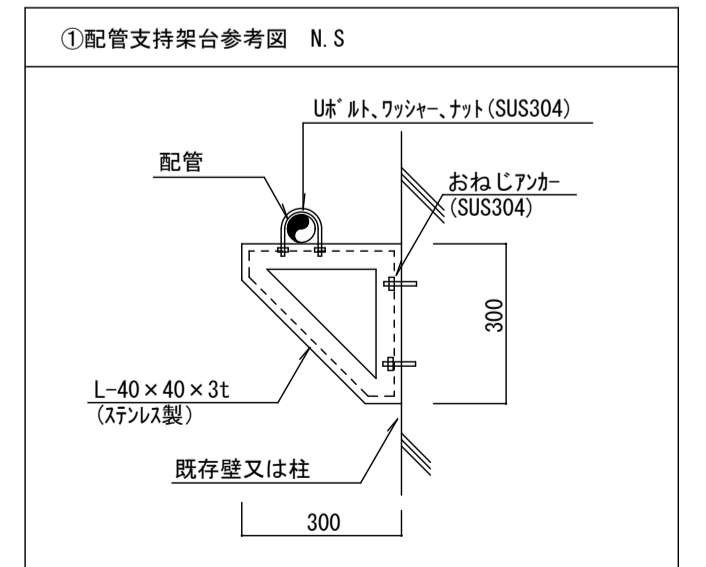
真北



2階平面図 1/100

記号	冷媒管(CUP) (透管/ガス管)	制御配線	電源配線
Ⓐ	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1.25 ² -20	EM-EEF-2.0 ² -30
Ⓑ	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1.25 ² -20	EM-EEF-2.0 ² -30
Ⓒ	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1.25 ² -20	EM-EEF-2.0 ² -30
Ⓓ	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1.25 ² -20	EM-EEF-2.0 ² -30

- 注記
1. 本図中の実線部分は改修範囲を示す。
 2. 本図中の破線部分は既存設備を示す。



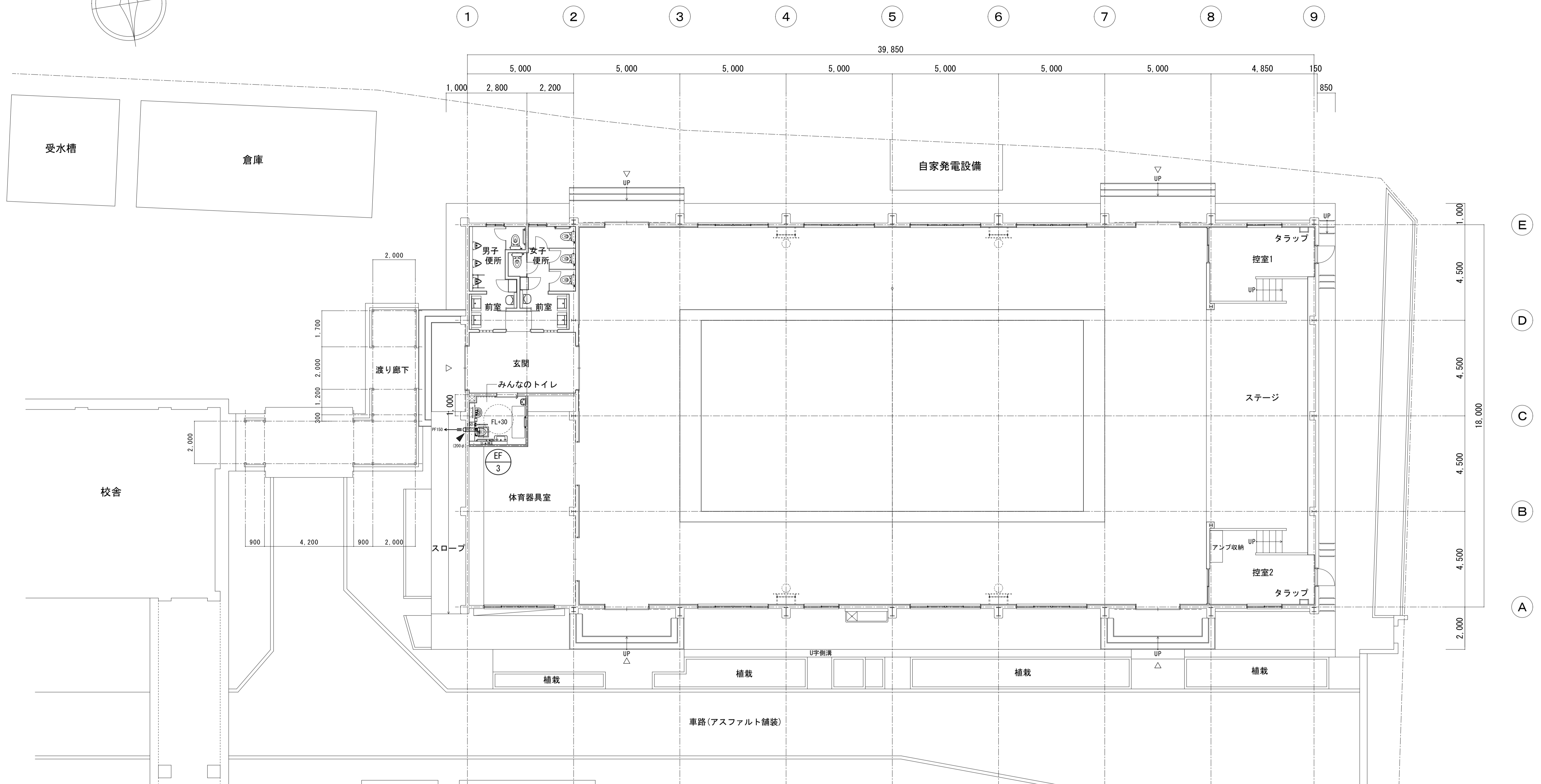
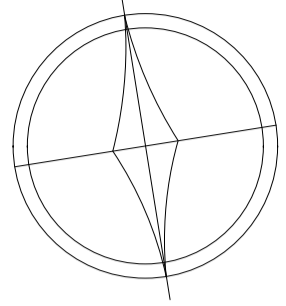
海老名市
Ebina City



図面名称 空調設備 2階平面図 (改修)
縮尺 S=1:100
工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
M-03

真北



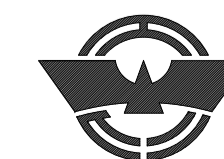
機器表

記号	機器名称	仕様	電気容量			台数	設置場所		備考
			相	電圧(V)	出力(W)		階	室名	
EF-1	排風機	形式：鋼板製有圧換気扇（低騒音形） 能力：40cm × 2320m ³ /h × 50Pa 付属品：SUS製電動シャッターFD付ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形式：鋼板製有圧換気扇（低騒音形） 能力：30cm × 1300m ³ /h × 40Pa （24時間換気 1300m ³ /h） 付属品：SUS製電動シャッターFD付ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
EF-3	排風機	形式：天井扇 能力：150φ × 170m ³ /h × 80Pa 付属品：天吊金具 その他標準付属品共	1	100	44	1	1	みんなのトイレ	

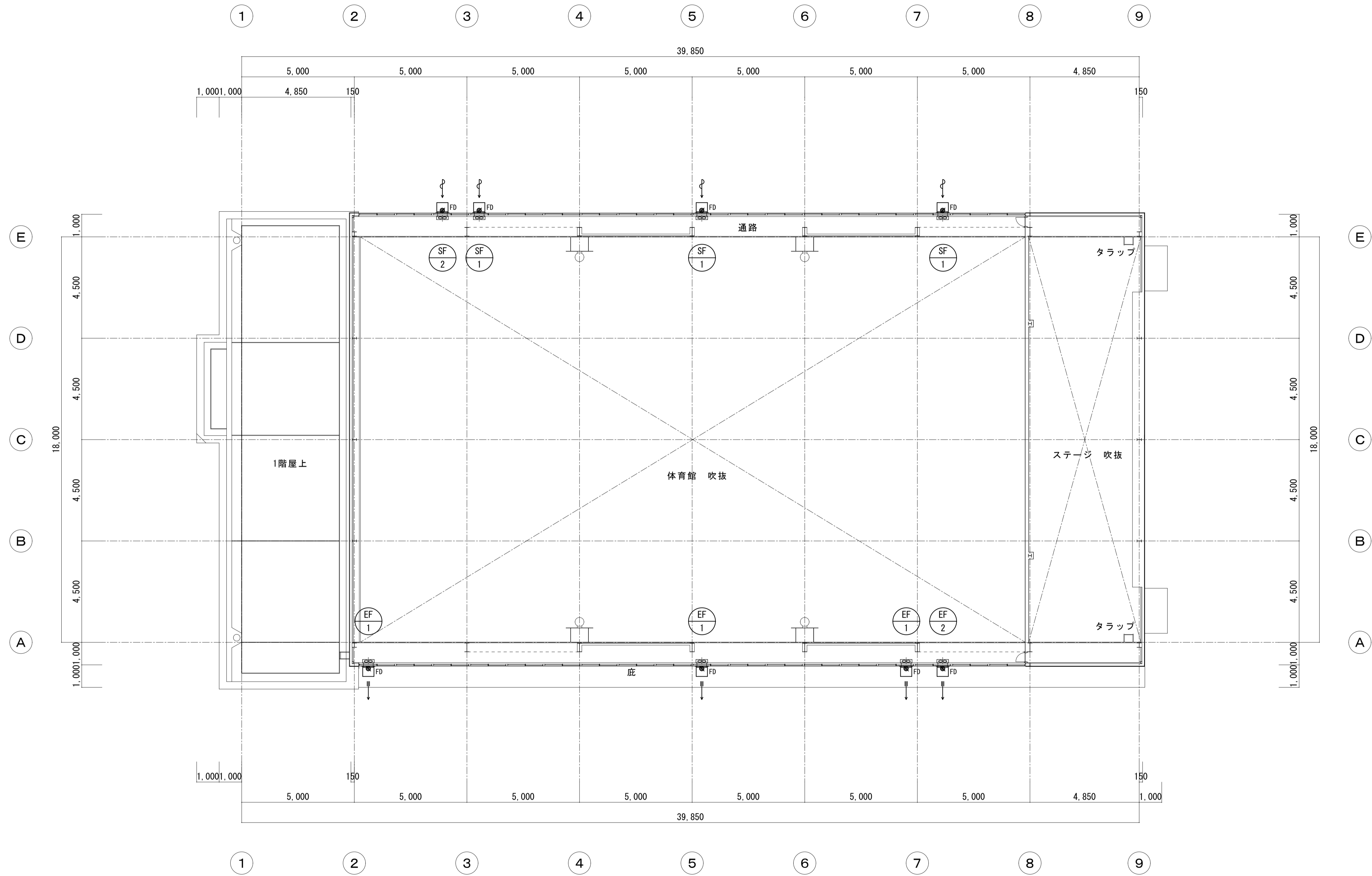
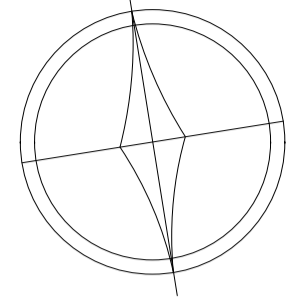
機器表

記号	機器名称	仕様	電気容量			台数	設置場所		備考
			相	電圧(V)	出力(W)		階	室名	
SF-1	排風機	形式：鋼板製有圧換気扇（低騒音形） 能力：40cm × 2320m ³ /h × 50Pa 付属品：SUS製電動シャッターFD付ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形式：鋼板製有圧換気扇（低騒音形） 能力：30cm × 1300m ³ /h × 40Pa （24時間換気 1300m ³ /h） 付属品：SUS製電動シャッターFD付ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電甲金網 巻き込み防止を施す。）

注記
1. ◀部分をはつり補修部分とする。



真北

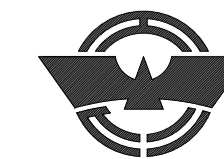


2階平面図 1/100

注記

- 1. 本図中の実線部分は改修範囲を示す。
- 2. 本図中の破線部分は既存設備を示す。

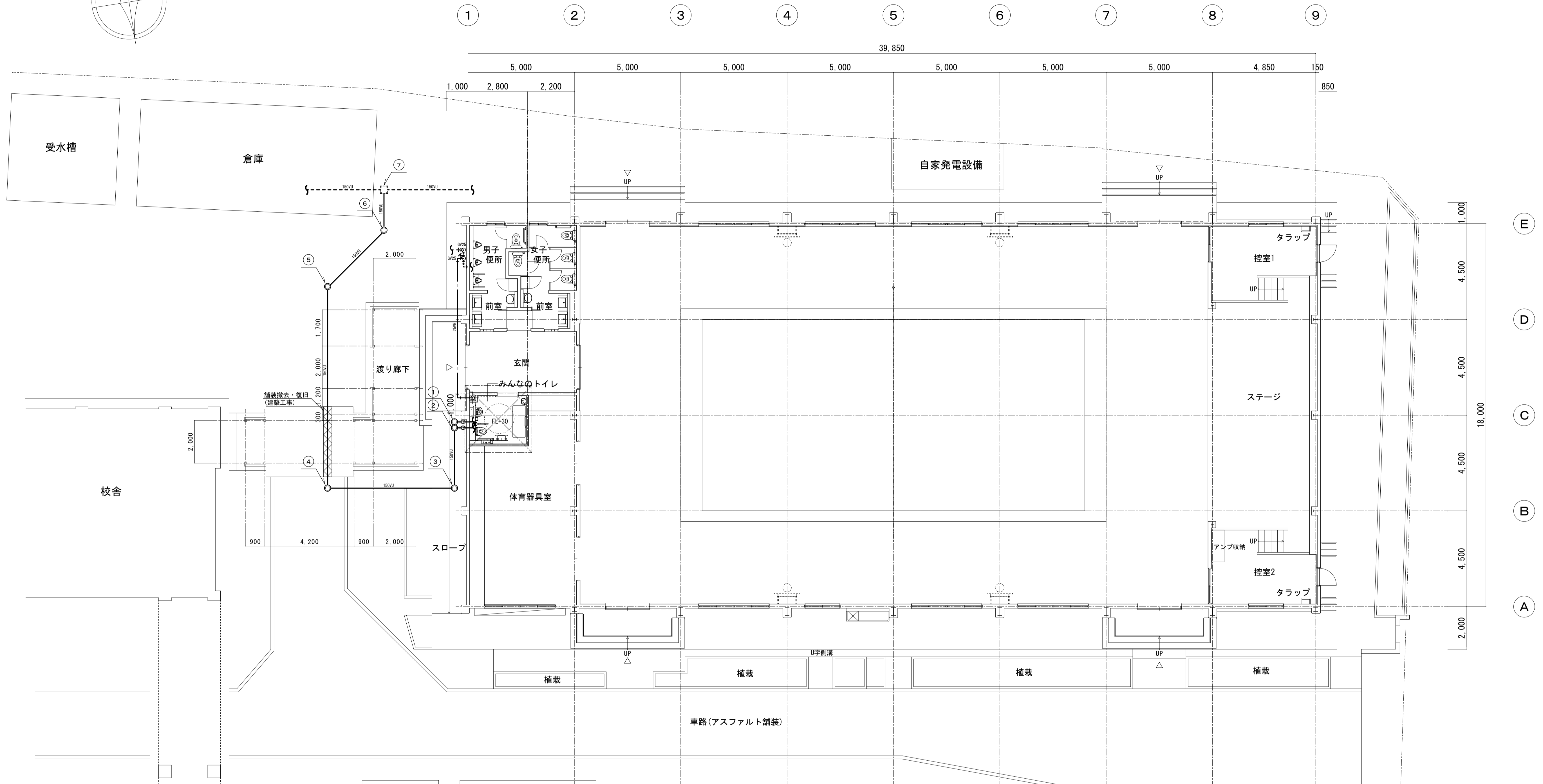
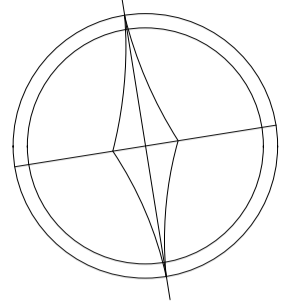
海老名市
Ebina City



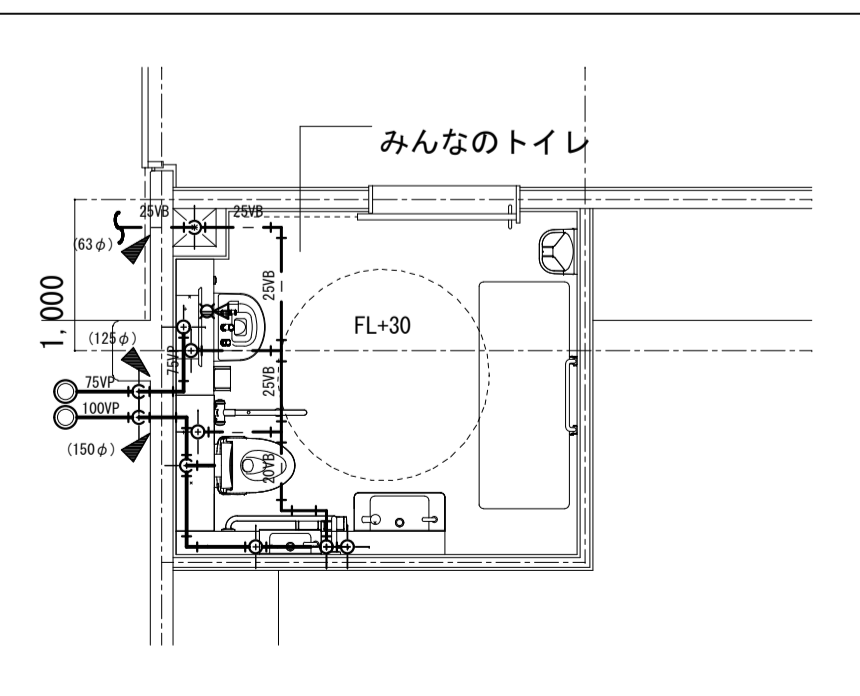
図面名称 換気設備 2階平面図 (改修)
 縮尺 S=1:100
 工事件名 海老名市立大谷小学校屋内運動場内部等大規模改修工事

図面番号
M-05

真北



みんなのトイレ詳細図 S=1:50



- 注記
- ▲部分をはつり補修部分とする。
 - 本図中の実線部分は改修範囲を示す。
 - 本図中の破線部分は既存設備を示す。

樹リスト

番号	樹名称	寸法 (内径mm)	深さ (mm)	地盤高 (mm)	管底高 (mm)	備 考
①	汚水コグリト樹(インバート)	450□	400	±0	-400	鉄鉄蓋(T-2)
②	汚水コグリト樹(インバート)	450□	410	±0	-410	鉄鉄蓋(T-2)
③	汚水コグリト樹(インバート)	450□	450	±0	-450	鉄鉄蓋(T-2)
④	汚水コグリト樹(インバート)	450□	520	±0	-520	鉄鉄蓋(T-6)
⑤	汚水コグリト樹(インバート)	450□	630	±0	-630	鉄鉄蓋(T-6)
⑥	汚水コグリト樹(インバート)	450□	680	±0	-680	鉄鉄蓋(T-6)
⑦	既存排水樹	450□	700	±0	-700	鉄鉄防臭蓋

※汚水樹はインバート加工とする。
 ※屋外排水管勾配は、以下を基準とする。
 100φ-2.0/100 150φ-1.5/100
 200φ-1.2/100 250φ-1.0/100

器具表

名称	仕様及び付属品	品番 (A社)	品番 (B社)	みんなの トイレ	合計	備考
多機能トイレバック	洋風便器 洗面器(1φ100V0.6W)手洗器(1φ100V0.6W)	UADAZO1L1C1ANN2A	PTWC-HC103L1A1ANN	1	1	
	温水洗浄便座(1φ100V409W) 紙巻器					
コンパクトオストメイトバック	踏み上げ手すり L型手すり 化粧鏡	YM6090A	KF-5010AG			
	オストメイト(1φ100V30W)電気温水器(1φ100V600W)	UAS81LDB2N	PTOM-B210W	1	1	
紙巻器						
ベビーチェア	建築工事			1	1	
多目的シート	建築工事			1	1	

